



令和7年度 生活習慣病検診管理指導協議会
子宮がん部会

子宮がん検診の精度管理結果について



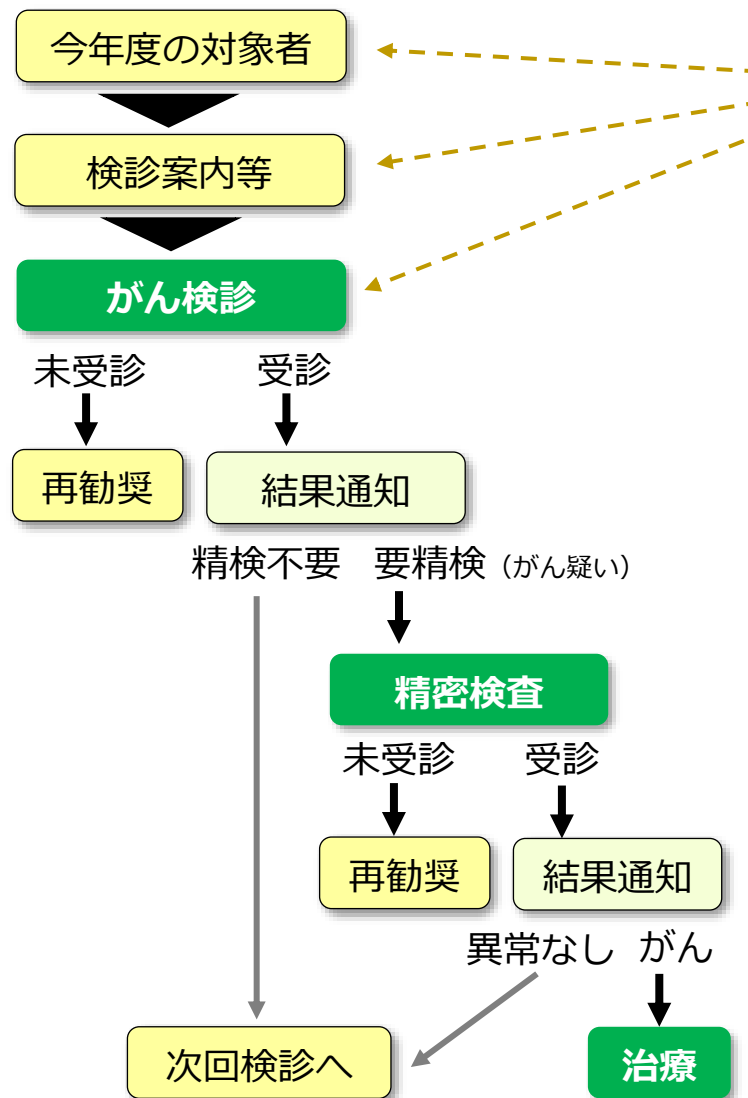
宮城県保健福祉部健康推進課



- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

概要調査の内容

がん検診の流れ



①概要調査

国の指針で定める検診内容



「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」
(厚生労働省)

- (1) 検診の対象年齢（下限）
- (2) 検診項目
- (3) 検診の委託を契約している
検診実施機関

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
	○			精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○				



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 概要調査については、本年度の県独自の調査結果から評価

国の指針で定めるがん検診の内容

検診種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん	問診に加え、 胃部エックス線検査 又は 胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※ 当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※ 当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	30歳以上	2年に1回
	問診、視診及びHPV検査単独法 ※ 実施体制が整った自治体で選択可能		5年に1回 ※ 罹患リスクが高い者については1年後に受診
肺がん	質問(問診)、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※ 喀痰細胞診については原則として50歳以上の重喫煙者(喫煙指数600以上の者)のみ	年1回
乳がん	質問(問診)及び 乳房エックス線検査(マンモグラフィ) ※ 視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

概要調査結果（2025（R7）年度 子宮がん検診）

1 子宮頸がん検診の対象年齢 20歳以上

指針に基づく対象年齢で検診を実施したか

	実施したと回答した市区町村割合
宮城県（2025（R7））	100 %
全 国（2024（R6））	96.1 %



宮 城 県	下限年齢	市町村数	備考
	20歳以上	35	国の指針どおり（20歳以上）
	30歳以上	0	
	40歳以上	0	

（令和6年度も同じ）

概要調査結果（2025（R7）年度 子宮がん検診）

2 検診項目

宮城県	項 目	市町村数
	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	35


3 検診の委託を契約している検診実施機関

宮城県	項 目	市町村数	委託検診機関
	集団検診のみ	8	宮城県対がん協会（100%） （七ヶ宿町、川崎町、丸森町、色麻町、加美町、涌谷町、美里町、南三陸町）
	集団検診と個別検診併用	15	宮城県対がん協会と各郡市医師会など （石巻市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、亘理町、山元町、大郷町、大衡村、女川町）
	個別検診のみ	12	各郡市医師会など （仙台市、塩竈市、多賀城市、岩沼市、東松島市、富谷市、大河原町、柴田町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町）

（令和6年度も同じ）

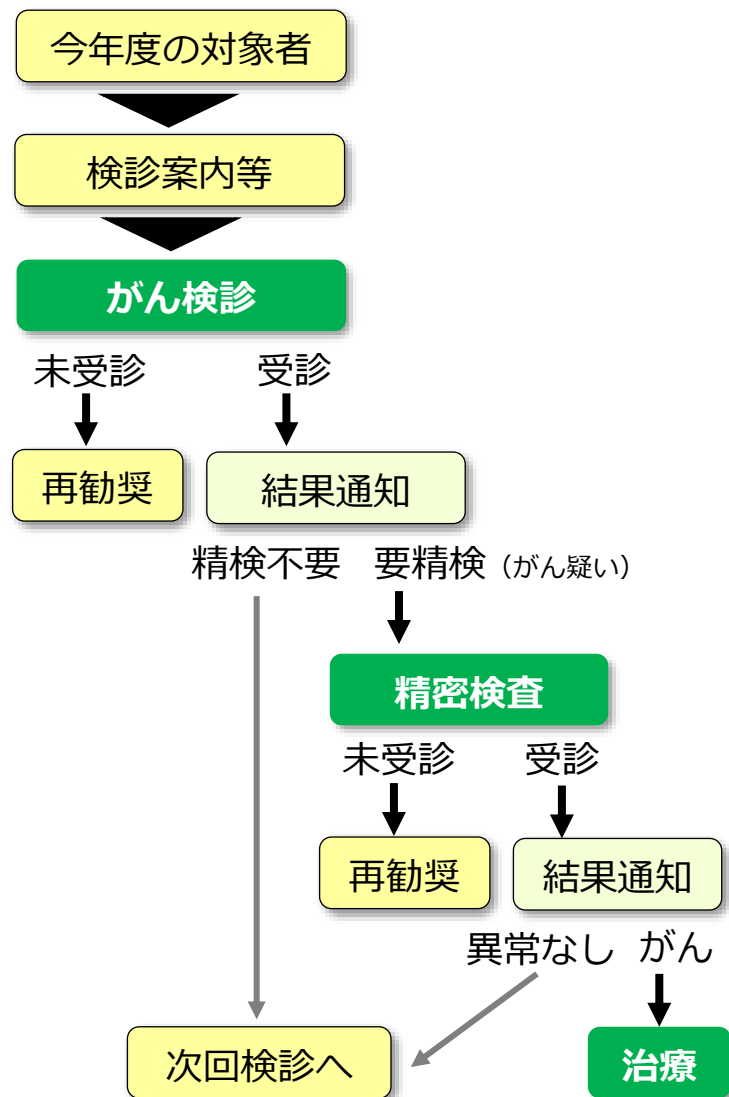
概要調査のまとめ

- 子宮頸がん検診の実施年齢の遵守率は100%。
 - 指針に基づく検査項目を逸脱して実施している市町村はなし。
- 昨年同様に概要調査については市町村への指導はなし。

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
-  2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

チェックリスト遵守状況調査

がん検診の流れ



一連の流れ

技術・体制指標

②チェックリスト遵守状況調査

市町村用

事業評価のためのチェックリスト

集団検診用

個別検診用

実施体制の評価

- ・国が作成（全国一律）
- ・推奨する最低限の検診体制を実施しているか

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
	○			精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○				



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

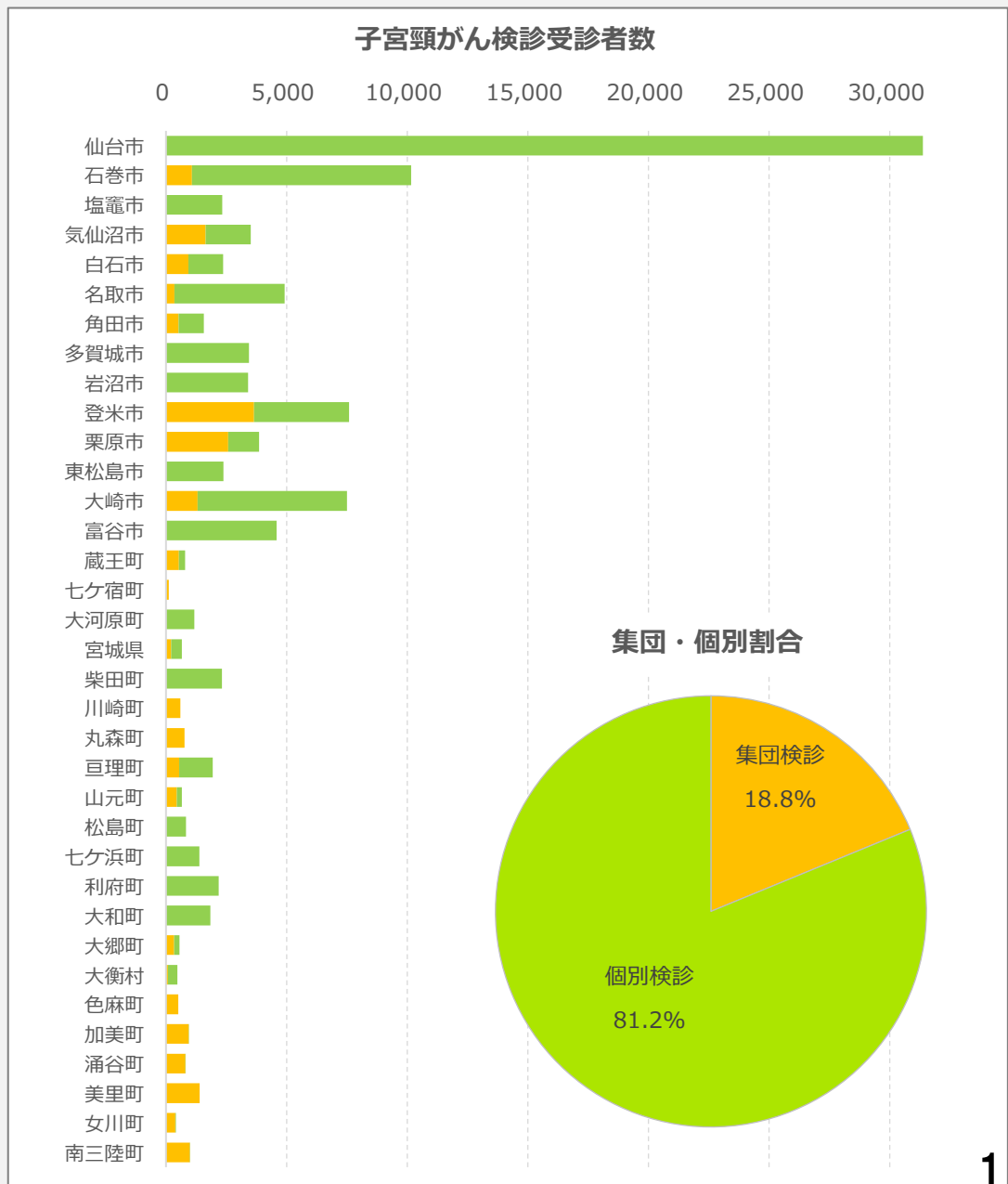


全国比較できる年度データを使用（2024（R6）年度）

△：本年度（2025（R7）年度）の状況は、現在、市町村で入力中

市町村の検診受診者 集団・個別割合 2024（R6）

子宮頸がん 検診	2024（R6）年度 受診者数		
	20-74歳 総計	集団検診	個別検診
仙台市	31,374	0	31,374
石巻市	10,168	1,073	9,095
塩竈市	2,329	0	2,329
気仙沼市	3,519	1,646	1,873
白石市	2,370	926	1,444
名取市	4,922	348	4,574
角田市	1,573	527	1,046
多賀城市	3,446	0	3,446
岩沼市	3,407	0	3,407
登米市	7,588	3,655	3,933
栗原市	3,864	2,582	1,282
東松島市	2,382	0	2,382
大崎市	7,503	1,305	6,198
富谷市	4,591	0	4,591
蔵王町	798	540	258
七ヶ宿町	122	122	0
大河原町	1,172	0	1,172
村田町	660	211	449
柴田町	2,325	0	2,325
川崎町	592	592	0
丸森町	764	764	0
亘理町	1,936	547	1,389
山元町	656	446	210
松島町	826	0	826
七ヶ浜町	1,385	0	1,385
利府町	2,188	0	2,188
大和町	1,844	0	1,844
大郷町	555	333	222
大衡村	472	76	396
色麻町	514	514	0
加美町	951	947	4
涌谷町	814	811	3
美里町	1,400	1,400	0
女川町	412	389	23
南三陸町	993	991	2
県総計	110,415	20,745	89,670



チェックリストの項目

市区町村用

がん検診のためのチェックリスト 集団検診・個別検診 (全がん共通、一部異なる項目あり)

項目	項目数
1. 検診対象者の情報管理	4
2. 受診者の情報管理	2
3. 対象者への説明、及び要精検者への説明	3
4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	6
5. 地域保健・健康増進事業報告	5
6. 検診機関（医療機関）の質の担保	7
7. 受診率(受診者数)の集計	4
8. 【肺がん】肺がん検診受診者中の高危険群割合ほか（肺がんのみ）	(4)
9. 要精検率の集計	4
10. 精検受診率・精検未受診率の集計	5
11. がん発見率の集計	4
12. 陽性反応適中度の集計	4
13. 早期がん割合（肺がん：臨床病期 0～I 期の割合）の集計	4
14. 【胃がん、大腸がん、乳がん】 粘膜内がん、非浸潤がんの集計	(1)
15. 【子宮頸がん】 上皮内病変（CIN・AISなど）数の区分毎の集計、進行度がIA期のがん割合の集計	(8)

(チェックリスト項目数 計52～65問)

(参考) チェックリスト内容

令和6年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

調査1	検診実施体制整備に関する調査(令和6年度実施体制)②
<p>【回答方法】</p> <p>■ 令和6年度の検診実施体制について、下記の基準にそってご回答ください。</p> <p>別ワークシート『調査1①』の質問1で「未実施」を選択した検診については回答入力には不要です。</p> <p>○:今年度は既に実施済みである</p> <p>×:今年度は実施しない</p> <p>△:今年度に実施する予定だが、現時点(回答入力時)ではまだ実施していない</p> <p>実際に実施したものに○と回答してください。また、実施予定があってもまだ実施していないものについては実施後に回答してください。調査期間中にはまだ実施しない項目については「△(実施予定)」と回答してください。</p> <p>【回答前にお読みください】</p> <p>■ 貴自治体が単独で把握できない項目については、外部機関(委託先検診機関、医師会、都道府県、都道府県生活習慣病検診等管理指導協議会等)に確認して回答してください。</p> <p>■ 本調査での「検診機関」とは、実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)を指します(例.○○クリニック、○○病院など)。</p> <p>・検診機関(医療機関)に関する質問では、すべての検診機関(医療機関)で実施できている場合に○と回答してください。</p> <p>・医師会等が地域の体制を完全に統一している場合は医師会等を1医療機関とみなし、医師会等に確認して回答してください。</p> <p>ただし、医療機関によっては医師会の方針に準じていない場合も考えられますので、医師会への確認だけでなく、別途検診機関チェックリスト調査を行い、直接個々の医療機関の体制を把握することが重要です。</p>	

問1. 検診対象者の情報管理

- ・貴自治体以外が実施している場合は、その内容を確認して回答してください。
- ・検診を複数の施設に委託している場合は、すべての施設で行われている場合のみ○と回答してください。

【問1-1】 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか

胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
										○	○

下記①②③のいずれかに該当する場合のみ○です。
それ以外(例えば、貴自治体で設定する対象者のうち、前年度受診者や希望者のみを名簿化している場合など)はすべて×と回答してください。

- ① 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者名簿(電子ファイルや紙)を作成している
- ② 住民基本台帳に基づいた当該年度の対象者を保健(健康)管理システム等で管理している(抽出が可能である)
- ③ 国民健康保険加入者を全員名簿化している

【問1-2】 対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか

胃がん検診 (エックス線検査)		胃がん検診 (内視鏡検査)		大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
										○	×

貴自治体で設定する対象者全員に対し、個人毎に手紙・電話・訪問等で、検診の通知(希望調査も可)等の受診勧奨を行っている場合のみ○です。

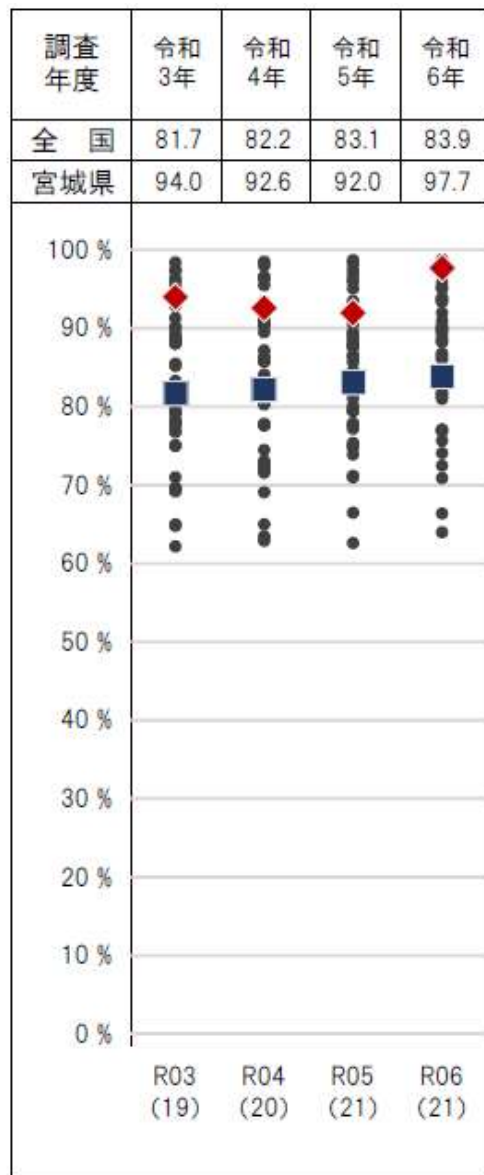
- ・世帯宛に検診の通知や希望調査等を送付している場合でも、世帯の中の対象者全員の名前が記載されていなければ×です。
- ・対象者のうち例えばクーポン事業対象者など、一部を限定して受診勧奨を行っている場合は×です。
(ただし、高齢者への検診の不利益を考慮し受診勧奨の年齢上限を設定している場合においては、厚労省の受診率算定年齢に基づき年齢上限を69歳とすれば○でかまいません。)
- ・広報、チラシ、ポスター、イベント等による周知は×です。

市町村が回答する
チェックリスト例

○・×で回答
(オンライン入力)

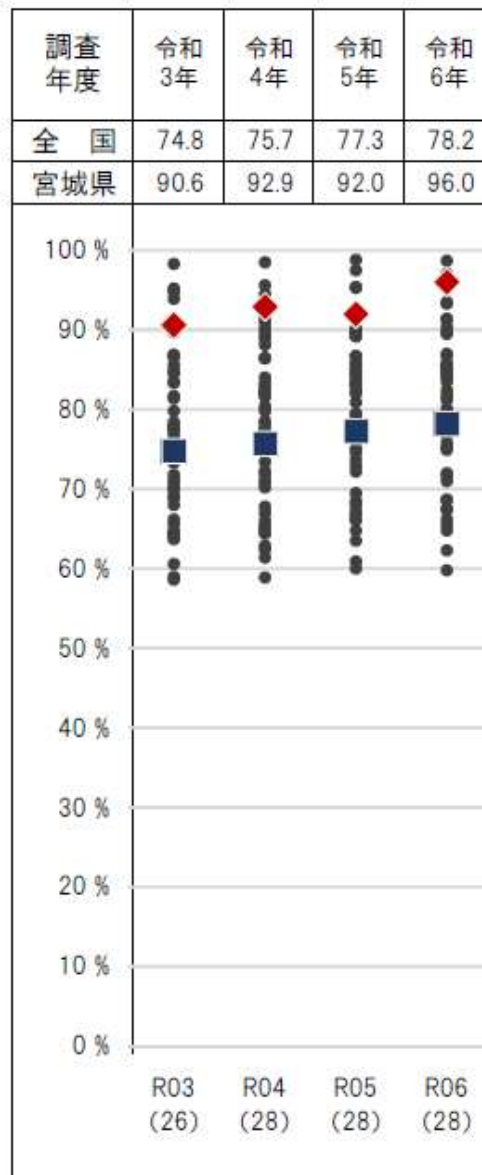
チェックリスト市町村遵守率の推移 年次推移

集団検診



集計対象市区町村: () 内記載

個別検診



集計対象市区町村: () 内記載

チェックリスト 遵守状況調査

子宮頸がん55項目 全項目実施率(%)推移

凡例:

- ◆ 宮城県
- 全国
- その他の都道府県

【チェックリスト実施率の算出方法】

「○」※の合計数／集計対象市区町村数×
質問項目数×100(%)

※ 回答は「○(実施した)」「×(実施していない)」「△(実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない)」から選択。

当調査結果のチェックリスト実施率には「○」のみ集計し「△」は含みません。未回答は「×」とみなします。

【出典】

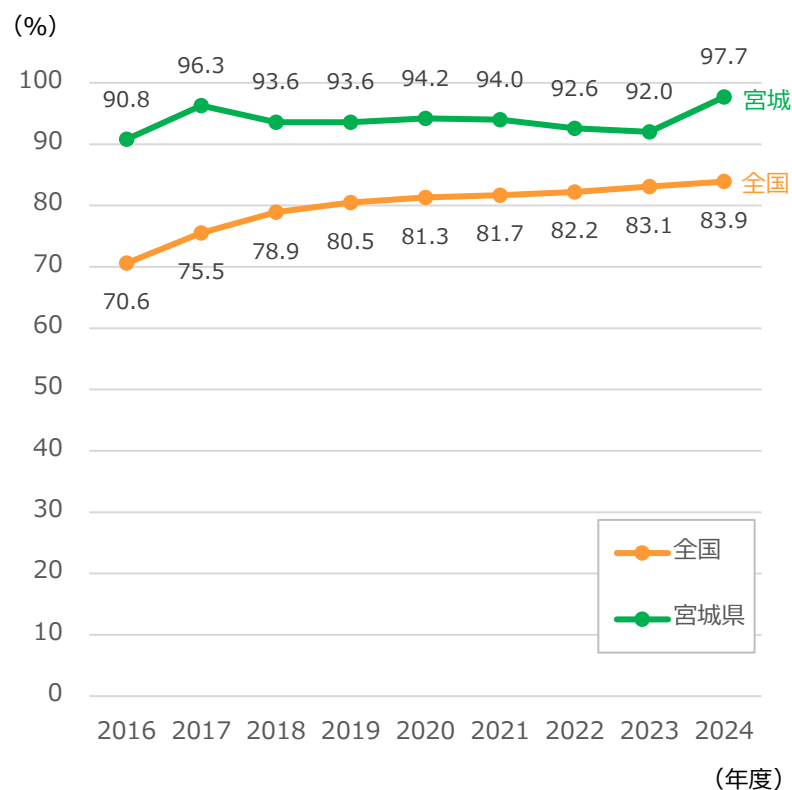
令和6年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」結果報告
(国立がん研究センター がん対策研究所検診研究部 検診実施管理研究室)

チェックリスト遵守率の年次推移（全国・宮城県）

子宮頸がん検診

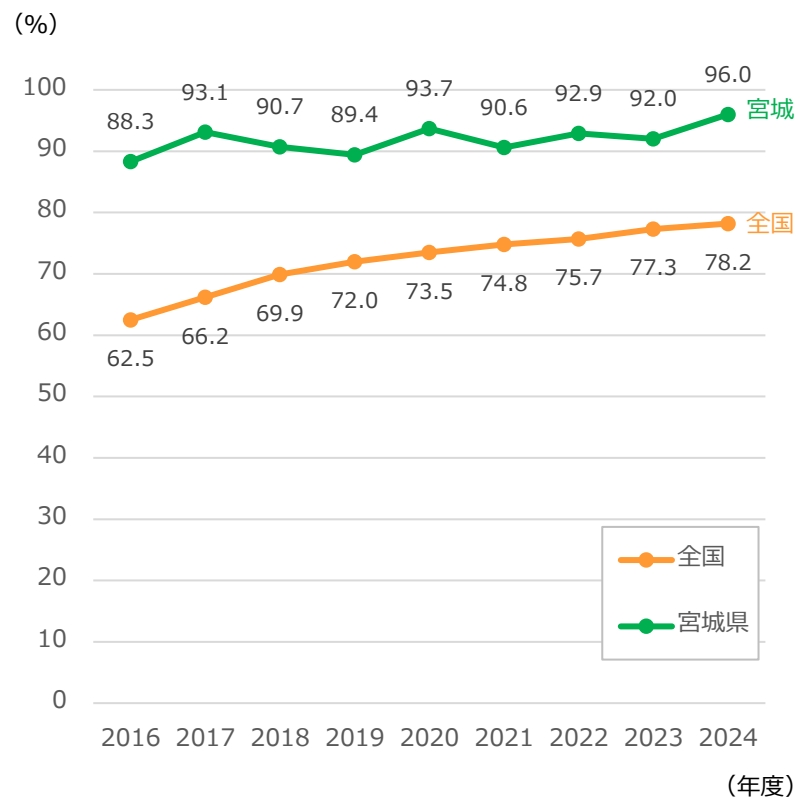
集団検診

チェックリスト遵守率の推移（集団）



個別検診

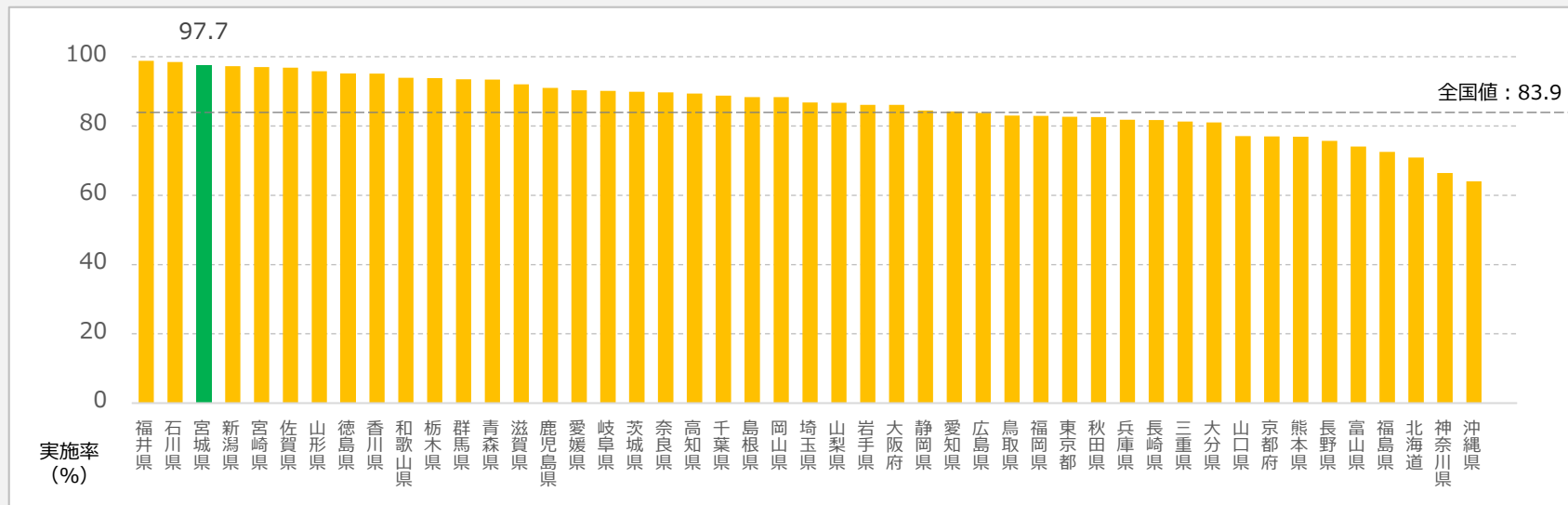
チェックリスト遵守率の推移（個別）



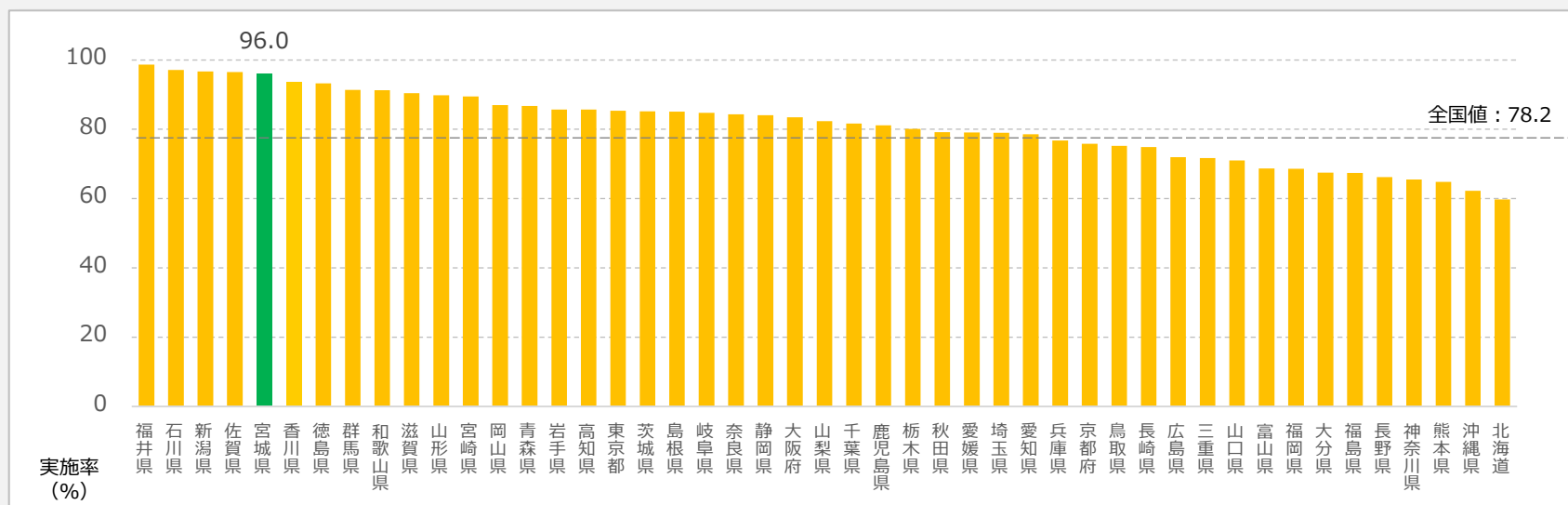
チェックリスト市町村遵守率（都道府県別）

子宮頸がん検診（全国順位）2024（R6）年度 全項目

集団検診



個別検診



(余 白)

チェックリスト集計結果（集団①）

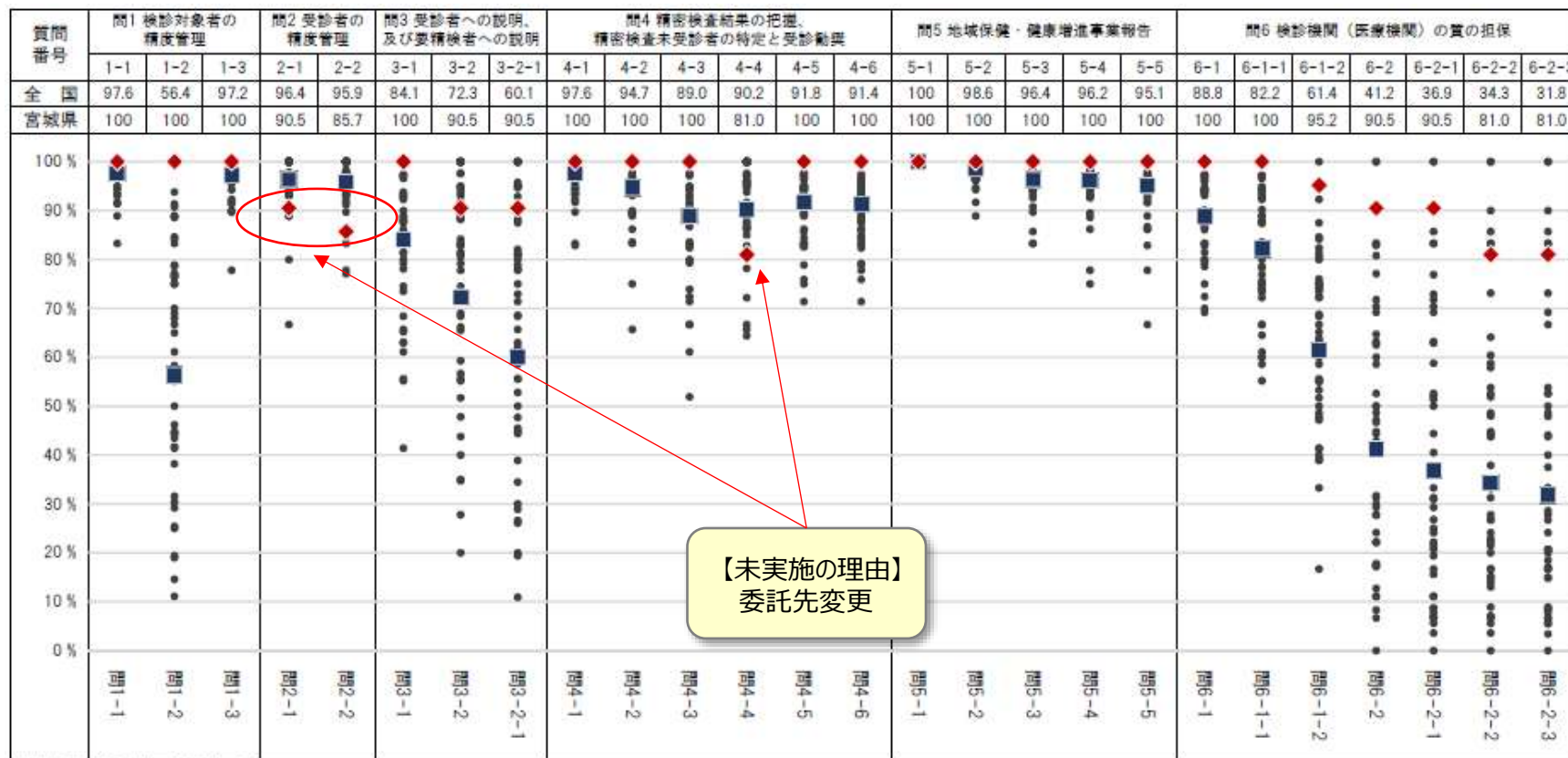
集団検診（2024（R6）年度）

子宮頸がん（全国比較）

調査1 項目別遵守率(%)

凡例：

- ◆ 宮城県
- 全国
- その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査1）：21

問1-2-1は、事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）の項目ではなく、本調査で独自に追加した設問です。
また、全体的に実施率が低かったことなどもあり、「都道府県別がん検診事業評価結果」のグラフには掲載しておりません。

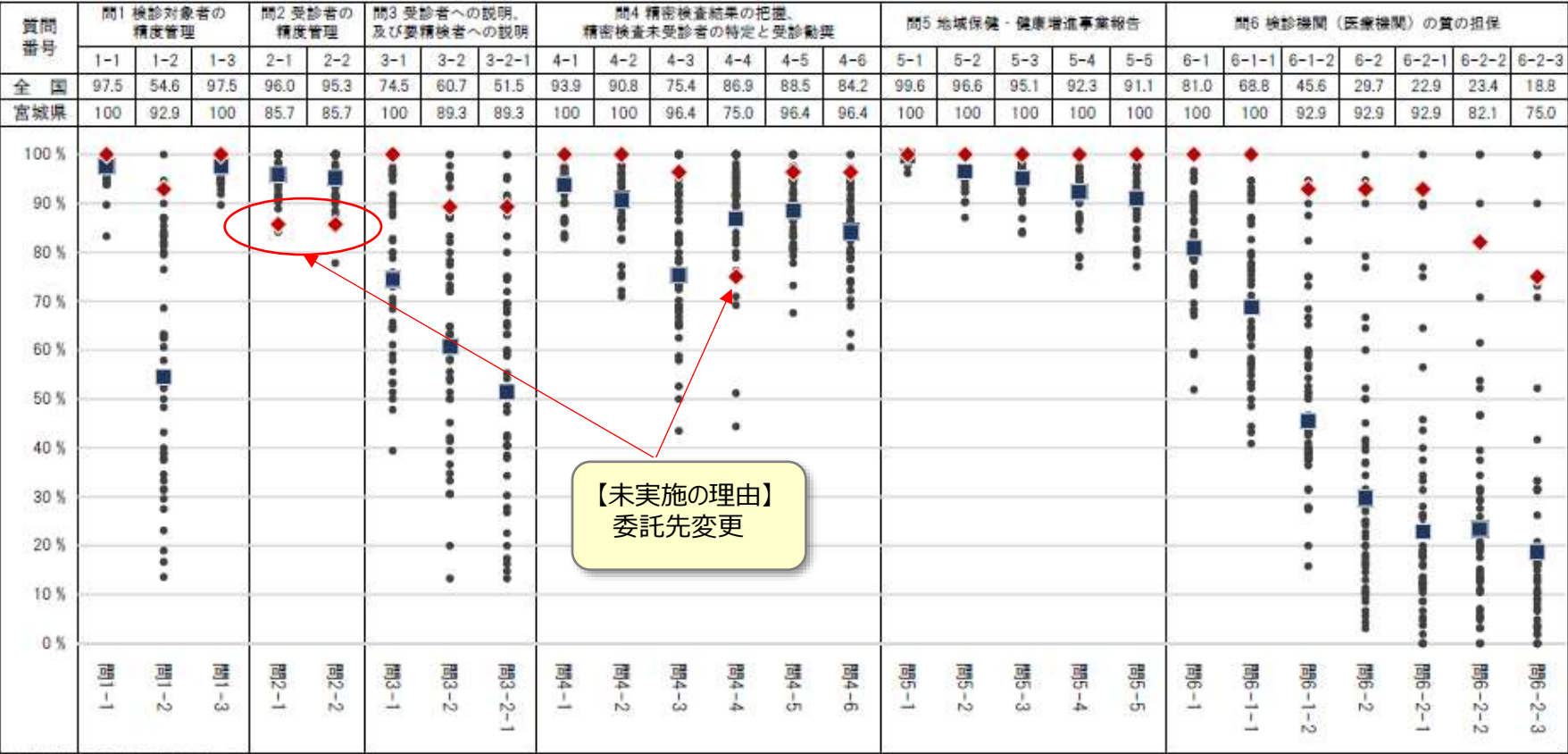
チェックリスト集計結果（個別①）

個別検診（2024（R6）年度）

子宮頸がん（全国比較）

調査1 項目別遵守率(%)

- 凡例：
◆ 宮城県
■ 全国
● その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査1）：28

問1-2-1は、事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）の項目ではなく、本調査で独自に追加した設問です。
また、全体的に実施率が低かったことなどもあり、「都道府県別がん検診事業評価結果」のグラフには掲載しておりません。

チェックリストの内容（①ー1）

【1】 検診対象者	
問 1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成したか
問 1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行ったか
問 1-3	対象者数（推計でも可）を把握したか
【2】 受診者の情報管理	
問 2-1	個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成したか
問 2-2	過去5年間の受診歴を記録しているか
【3】 受診者への説明、及び要精検者への説明	
問 3-1	受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布したか
問 3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示したか
問 3-2-1	上記（3-2）の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼したか
【4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	
問 4-1	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握したか
問 4-2	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認したか
問 4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有したか
問 4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録しているか
問 4-5	精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定したか
問 4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行ったか

チェックリストの内容（①ー2）

【5】地域保健・健康増進事業報告	
問 5-1	がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和5年度地域保健・健康増進事業報告）を行ったか
問 5-2	がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めたか
問 5-3	がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
問 5-4	精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めたか
問 5-5	精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
【6】検診機関（医療機関）の質の担保	
問 6-1	委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定したか
問 6-1-1	仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしたか
問 6-1-2	検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認したか
問 6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしたか
問 6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしたか
問 6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしたか
問 6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしたか

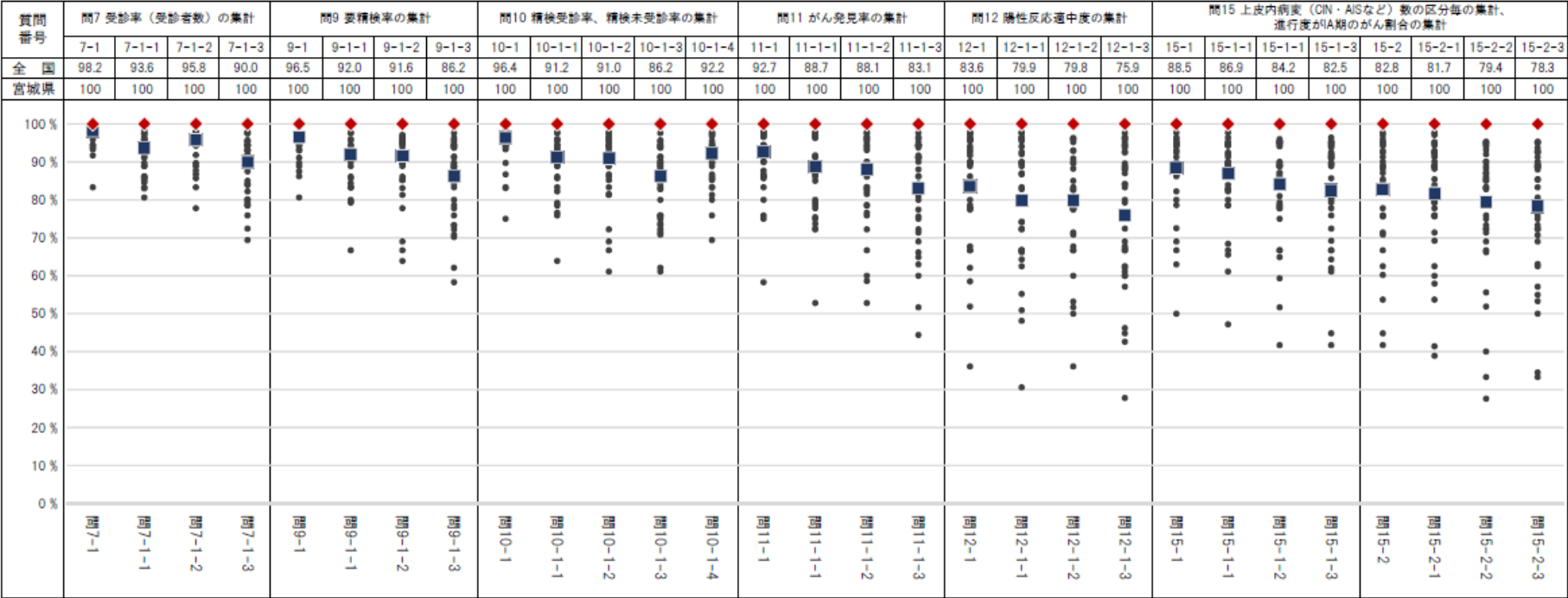
チェックリスト集計結果（集団②）

集団検診（2024（R6）年度）

子宮頸がん（全国比較）

調査2 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査2）：23

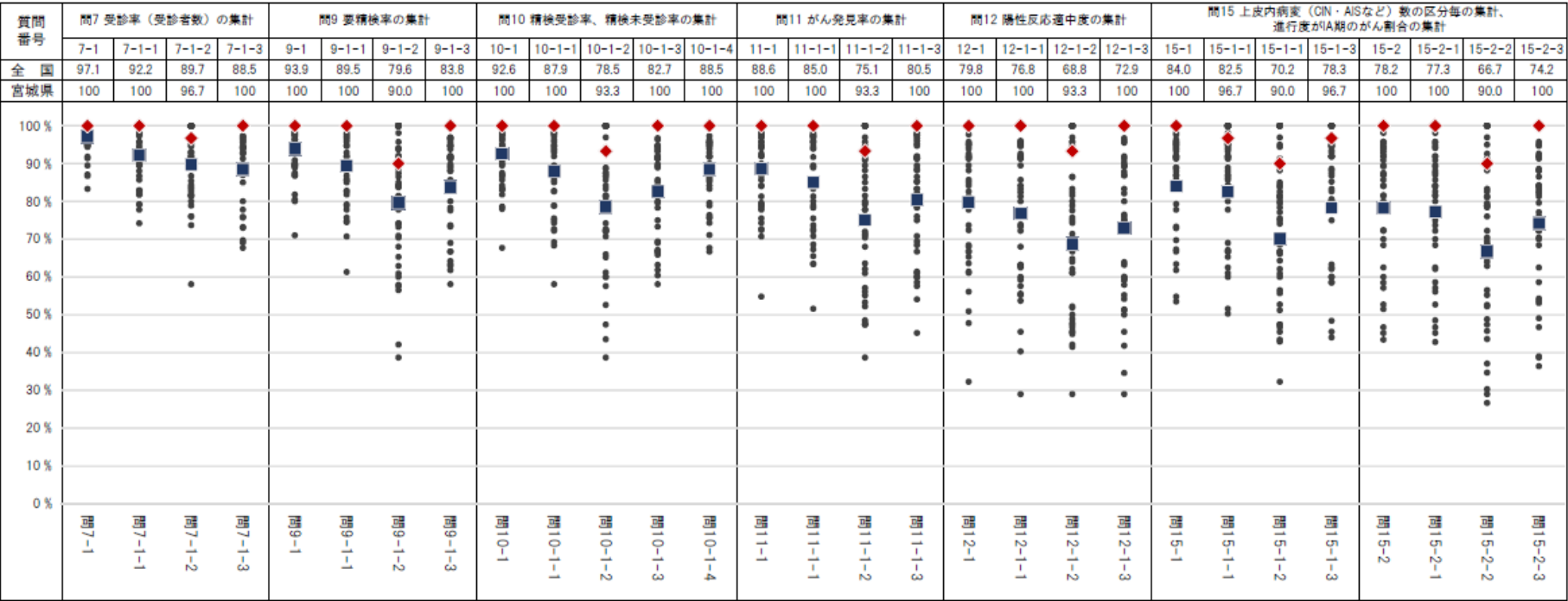
チェックリスト集計結果（個別②）

個別検診（2024（R6）年度）

子宮頸がん（全国比較）

調査2 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査2）：30

チェックリストの内容（②ー1）

【7】 受診率（受診者数）の集計	
問 7-1	受診率を集計したか
問 7-1-1	受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 7-1-2	受診者数を検診機関別に集計したか
問 7-1-3	受診者数を検診受診歴別に集計したか
【9】 要精検率の集計	
問 9-1	要精検率を集計したか
問 9-1-1	要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 9-1-2	要精検率を検診機関別に集計したか
問 9-1-3	要精検率を検診受診歴別に集計したか
【問10】 精検受診率・未受診率の集計	
問 10-1	精検受診率を集計したか
問 10-1-1	精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 10-1-2	精検受診率を検診機関別に集計したか
問 10-1-3	精検受診率を検診受診歴別に集計したか
問 10-1-4	精検未受診率を集計したか

チェックリストの内容（②ー2）

【11】がん発見率の集計	
問 11-1	がん発見率を集計したか
問 11-1-1	がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 11-1-2	がん発見率を検診機関別に集計したか
問 11-1-3	がん発見率を検診受診歴別に集計したか
【12】陽性反応適中度の集計	
問 12-1	陽性反応適中度を集計したか
問 12-1-1	陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 12-1-2	陽性反応適中度を検診機関別に集計したか
問 12-1-3	陽性反応適中度を検診受診歴別に集計したか
【13】早期がん割合の集計	
問 13-1	早期がん割合を集計したか
問 13-1-1	早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 13-1-2	早期がん割合を検診機関別に集計したか
問 13-1-3	早期がん割合を検診受診歴別に集計したか
【14】粘膜内がん、非浸潤がんの集計	
問14-1	粘膜内がんを集計したか

市町村チェックリスト集計結果（集団検診その1）

×（未実施）の市町村（問1～問3-2-1）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
 R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの
 R5年度も×でR6年度×であったもの

子宮頸がん （集団検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	仙 台 市	石 巻 市	塩 竈 市	気 仙 沼 市	白 石 市	名 取 市	角 田 市	多 賀 市	岩 沼 市	富 谷 市	登 米 市	栗 原 市	東 松 島 市	大 崎 市	蔵 王 町	七 ヶ 宿 町	大 河 原 町	村 田 町	柴 田 町	川 崎 町	丸 森 町	亘 理 町	山 元 町	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町	大 和 町	大 郷 町	大 衡 村	色 麻 町	加 美 町	涌 谷 町	美 里 町	女 川 町	南 三 陸 町	
問1. 検診対 象者の 情報管 理	問1-2-1	受診勧奨を行った住民の うち未受診者全員に対し、 再度の受診勧奨を個人毎 （手紙・電話・訪問等） に行いましたか	-	○	-	X	X	○	○	-	-	-	X	○	-	X	X	○	-	X	-	X	○	○	X	-	-	-	-	○	X	○	○	X	X	X	X	X
	問2-1	個人別の受診（記録）台 帳またはデータベースを 作成しましたか	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	X	○	○	○
問2. 受診者 の情報 管理	問2-2	過去5年間の受診歴を記 録していますか	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	X	○	○	X	○	○	○
	問3-2	要精検者全員に対し、受 診可能な精密検査機関名 （医療機関名）の一覧を 提示しましたか	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	X	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	X	○	X
問3. 受 診者へ の説明、 及び要 精検者 への説 明	問3-2-1	上記【問3-2】の一覧に 掲載したすべての精密検 査機関には、あらかじめ 精密検査結果の報告を依 頼しましたか	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	X	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	X	○	X

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（集団検診その2）

×（未実施）の市町村（問4-4～問6-2-3）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの

R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの

子宮頸がん （集団検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	仙台市	石巻市	塩竈市	気仙沼市	白石市	名取市	角田市	多賀城市	岩沼市	富谷市	登米市	栗原市	東松島市	大崎市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	女川町	南三陸町
問4. 精密検査結果 の把握、精密 検査未受診者 の特定と受診 勧奨	問4-4	過去5年間の精密検査 方法及び、精密検査 （治療）結果を記録し ていますか	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	×	○	○	×	○	○	○
問6. 検診機 関（医療機 関）の質の担 保	問6-1-2	検診終了後に、委託先 検診機関（医療機関） で仕様書（もしくは実 施要綱）の内容が遵守 されたことを確認しま したか	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○
	問6-2	検診機関（医療機関） に精度管理評価を個別 にフィードバックしま したか	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	×	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	問6-2-1	「検診機関用チェック リスト」の遵守状況を フィードバックしまし たか	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	×	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	問6-2-2	検診機関（医療機関） 毎のプロセス指標値を 集計してフィードバッ クしましたか	-	○	-	○	○	×	○	-	-	-	○	○	-	○	×	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○
	問6-2-3	上記の結果をふまえ、 課題のある検診機関 （医療機関）に改善策 をフィードバックしま したか	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	○	×	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（個別検診その1）

×（未実施）の市町村（問1～問3-2-1）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
 R5年度も×でR6年度×であったもの

R5年度は○だったが
 R6年度△ or ×になったもの

子宮頸がん （個別検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	仙 台 市	石 巻 市	塩 竈 市	気 仙 沼 市	白 石 市	名 取 市	角 田 市	多 賀 城 市	岩 沼 市	富 谷 市	登 米 市	栗 原 市	東 松 島 市	大 崎 市	蔵 王 町	七 ヶ 宿 町	大 河 原 町	村 田 町	柴 田 町	川 崎 町	丸 森 町	亘 理 町	山 元 町	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町	大 和 町	大 郷 町	大 衡 村	色 麻 町	加 美 町	涌 谷 町	美 里 町	女 川 町	南 三 陸 町		
問1. 検診対 象者の 情報管 理	問1-2	対象者全員に、個別に受 診勧奨を行いましたか	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	
	問1-2-1	受診勧奨を行った住民の うち未受診者全員に対し、 再度の受診勧奨を個人毎 （手紙・電話・訪問等） に行いましたか	X	○	X	X	○	○	○	X	○	X	X	○	X	X	X	-	X	X	X	-	-	○	X	X	X	X	○	○	X	-	○	○	○	X	X	-	
問2. 受診者 の情報 管理	問2-1	個人別の受診（記録）台 帳またはデータベースを 作成しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	○	X	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	X	○	○	-	
	問2-2	過去5年間の受診歴を記録 していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	X	-	○	X	○	○	-		
問3. 受 診者へ の説明、 及び要 精検者 への説 明	問3-2	要精検者全員に対し、受 診可能な精密検査機関名 （医療機関名）の一覧を 提示しましたか	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	X	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	X	○	-
	問3-2-1	上記【問3-2】の一覧に掲 載したすべての精密検査 機関には、あらかじめ精 密検査結果の報告を依頼 しましたか	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	X	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	X	○	-

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（個別検診その2）

×（未実施）の市町村（問4-3～問6-2-1）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの
R5年度も×でR6年度×であったもの

子宮頸がん （個別検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	仙 台 市	石 巻 市	塩 竈 市	気 仙 沼 市	白 石 市	名 取 市	角 田 市	多 賀 城 市	岩 沼 市	富 谷 市	登 米 市	栗 原 市	東 松 島 市	大 崎 市	蔵 王 町	七 ヶ 宿 町	大 河 原 町	村 田 町	柴 田 町	川 崎 町	丸 森 町	亘 理 町	山 元 町	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町	大 和 町	大 郷 町	大 衡 村	色 麻 町	加 美 町	涌 谷 町	美 里 町	女 川 町	南 三 陸 町	
問4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	問4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	
	問4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	×	○	○	○	×	-	○	×	○	○	-		
	問4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
問6. 検診機関（医療機関）の質の担保	問6-1-2	検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	-
	問6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	問6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（個別検診その3）

×（未実施）の市町村（問6-2-2～問11-1-2）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの
R5年度も×でR6年度×であったもの

子宮頸がん （個別検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	仙台市	石巻市	塩竈市	気仙沼市	白石市	名取市	角田市	多賀城市	岩沼市	富谷市	登米市	栗原市	東松島市	大崎市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	女川町	南三陸町
問6. 検診機関（医療機関）の質の担保	問6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	問6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	-	○	○	○	-	-	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
問9. 要精検率の集計	問9-1-2	要精検率を検診機関別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
問10. 精検受診率・未受診率の集計	問10-1-2	精検受診率を検診機関別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
問11. がん発見率の集計	問11-1-2	がん発見率を検診機関別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（個別検診その4）

×（未実施）の市町村（問12-1-2～問15-2-2）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
 R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの

子宮頸がん （個別検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	仙台市	石巻市	塩竈市	気仙沼市	白石市	名取市	角田市	多賀城市	岩沼市	富谷市	登米市	栗原市	東松島市	大崎市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	女川町	南三陸町	
問12. 陽性反 応適中 度の集 計	問12-1-2	陽性反応適中度を検診 機関別に集計しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
問15. 上皮内 病変 （CIN・ AISな ど）数 の区分 毎の集 計、進 行度が IA期の がん割 合の集 計	問15-1-1	上皮内病変（CIN・AIS など）数を年齢5歳階 級別に集計しましたか （区分毎）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	問15-1-2	上皮内病変（CIN・AIS など）数を検診機関別 に集計しましたか（区 分毎）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	問15-1-3	上皮内病変（CIN・AIS など）数を検診受診歴 別に集計しましたか （区分毎）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	問15-2-2	進行度がIA期のがん割 合を検診機関別に集計 しましたか	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-


×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

チェックリスト遵守状況調査結果のまとめ

- ほぼすべての項目において、全国より遵守率が高いが、一部、全国より低い項目があるため、引き続き改善が必要。

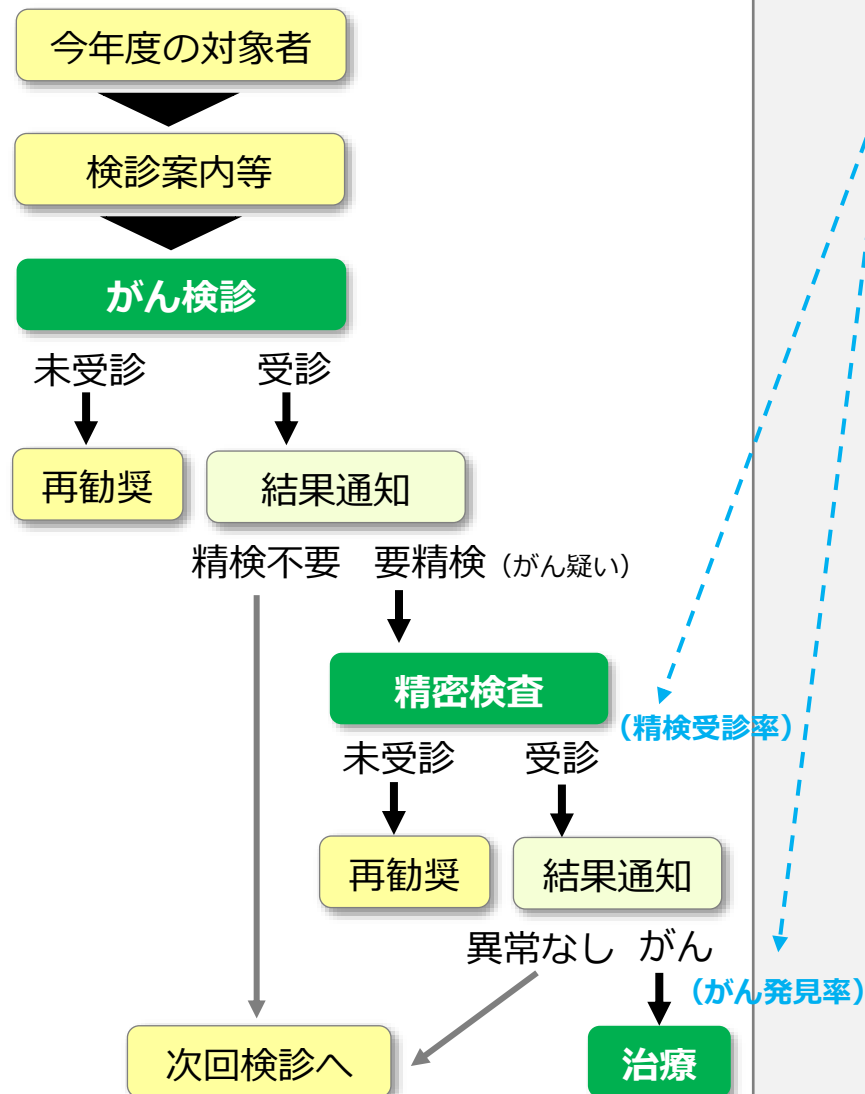
→ **令和6年度から改善された市町村は多いが、改善されていない市町村については、項目ごとに、市町村個別に指導することを検討。**

(余 白)

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
-  3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

プロセス指標（精密検査等の結果）

がん検診の流れ



プロセス指標

がん検診精密検査

事業評価指標

精検受診率

精検未把握率

精検未受診率

要精検率

がん発見率

陽性反応適中度

都道府県ごとに評価

各プロセスが適切に行われているかを評価する指標

各がんの推奨年齢から**74歳まで**の結果
（職域検診や人間ドックなどは含まれない）

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
				精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○	○			

実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 全国比較できる年度データを使用（2022（R4）年度）

△：2023（R5）年度の結果は、現在、市町村で入力中

プロセス指標（事業評価指標）の意味

プロセス指標	各指標の意味【算出方法】	各指標値の評価
①精検受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{精検受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	高いことが望ましい(精検受診率が100%近くなければ、がん発見率を適切に評価できない)
②要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか 【 $\text{要精検者数} / \text{受診者数} \times 100$ 】	対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
③精検未受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{未受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
④精検未把握率	精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか 【 $\text{未把握者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
⑤がん発見率	その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか 【 $\text{がんであった者} / \text{受診者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
⑥陽性反応適中度	その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標） 【 $\text{がんであった者} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：がん検診事業のあり方について（厚生労働省：がん検診のあり方に関する検討会（R6.7）の資料より抜粋）

※ 基準値は、がん種毎、年齢別にあり。

プロセス指標の（新）基準値

「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月） → プロセス指標の変更 注)

【74歳以下】（男女計）

	胃がん		大腸がん	肺がん		乳がん		子宮頸がん*		
	検診間隔 2年	検診間隔 1年		検診以外の 肺に関する 検査の受診 なし	検診以外の 肺に関する 検査の受診 考慮	すべての受 診者の検診 間隔が2年	連続受診者 がいること を考慮	20～74歳	20～39歳	40～74歳
	①	②		①	②	①	②			
① 精検受診率	90% 以上		90% 以上	90% 以上		90% 以上		90% 以上		
② 要精検率	7.7% 以下	7.6% 以下	6.8% 以下	2.4% 以下	2.3% 以下	6.5% 以下	6.4% 以下	2.5% 以下	4.2% 以下	1.9% 以下
⑤ がん発見率	0.19% 以上	0.11% 以上	0.21% 以上	0.10% 以上	0.05% 以上	0.40% 以上	0.31% 以上	0.15% 以上	0.18% 以上	0.14% 以上
⑥ 陽性反応 適中度	2.5% 以上	1.5% 以上	3.0% 以上	4.1% 以上	2.2% 以上	6.1% 以上	4.8% 以上	5.9% 以上	4.4% 以上	7.3% 以上

*子宮頸がんはCIN3以上の発見率または陽性反応的中度

注) 主な変更点

- ・ 許容値が廃止され、精検受診率の基準値は全がん種90%となり、未把握率、未受診率の基準値は廃止。
- ・ 基準値の対象年齢は、従来の上限74歳に加え、上限69歳の区分が追加。
- ・ 要精検率・がん発見率・陽性反応適中度の基準値が細分化され、性別及び受診歴別に示された。
- ・ 胃がん検診、肺がん検診及び乳がん検診のプロセス指標には、受診者の性質に応じた2種類の基準値が設定。
 - ①の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が指針どおりのがん検診以外にない検診対象者を想定
 - ②の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が他にある検診対象者を想定

(参考) 子宮頸がんの種類 (組織型)

子宮頸がんは、顕微鏡下でのがん組織の見え方によって、いくつかの組織型に分類されます。主な組織型としては、扁平上皮がんと腺がんがあげられます。

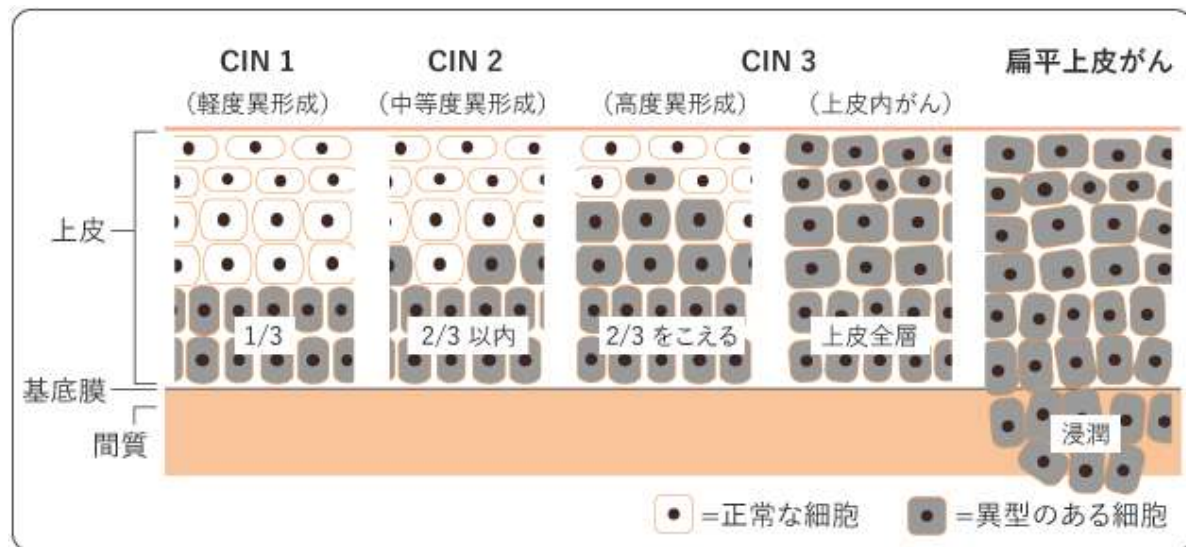
●扁平上皮がん

CIN (子宮頸部けいぶ上皮内腫瘍) と呼ばれるがんになる前の状態が存在します。CINには3つの段階があり、CIN1、CIN2、CIN3と進みます。**CIN3**は以前「上皮内がん (CIS)」とされていた病変を含み、扁平上皮がんの前がん病変とされています。

●腺がん

前がん病変は**AIS** (上皮内腺がん) といいます。

扁平上皮がんの発生・進行



※ () 内の名称を使うこともある。

子宮頸がん検診の
CIN3以上のがん発見率の計算
(2020 (R2) 年度から)

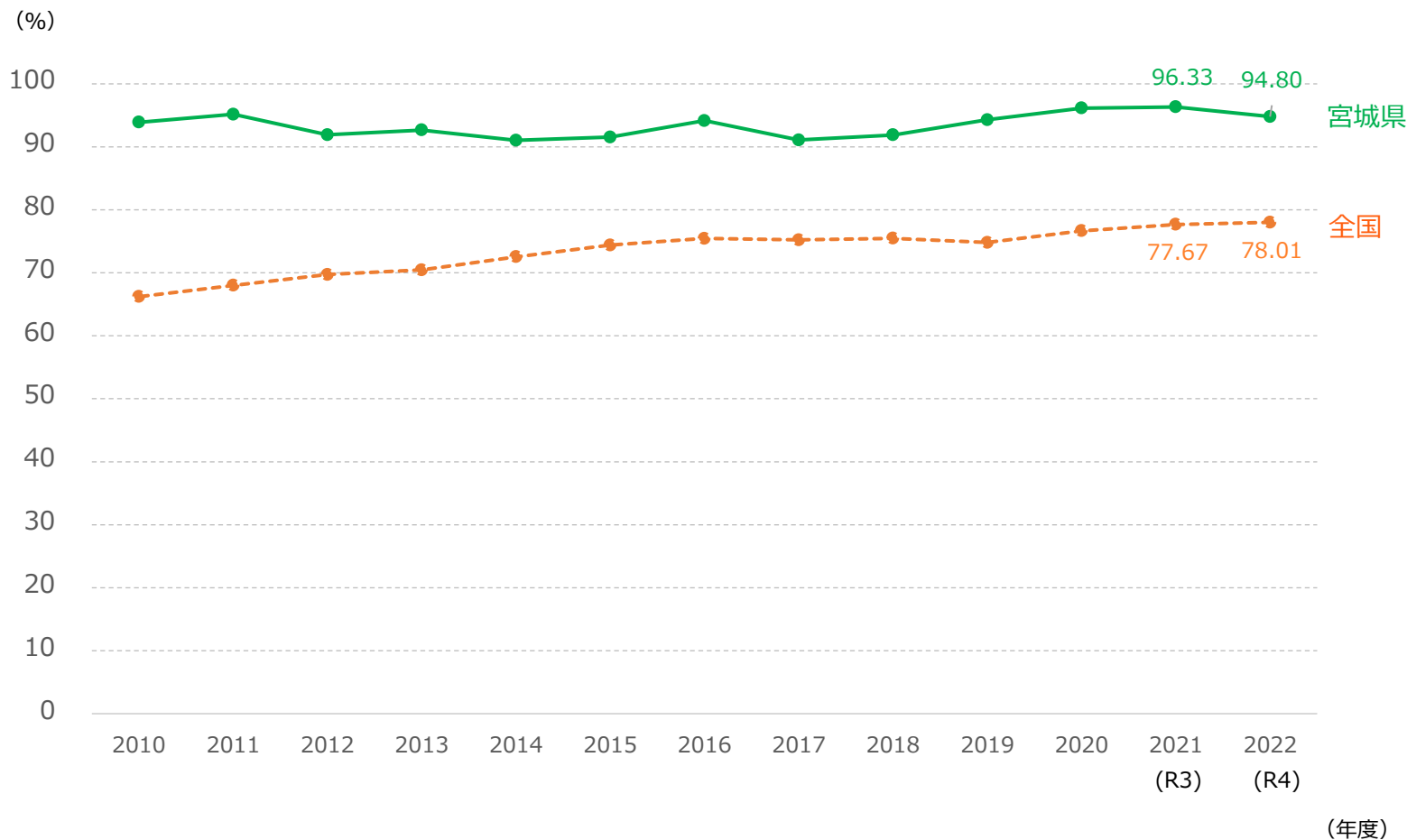
がんに加え、CIN3とAISも含む

プロセス指標①（精検受診率）年次推移

要精検者が実際に精密検査を受診したか【精検受診者数／要精検者数×100】

【注意】
市町村実施の
住民検診のみ

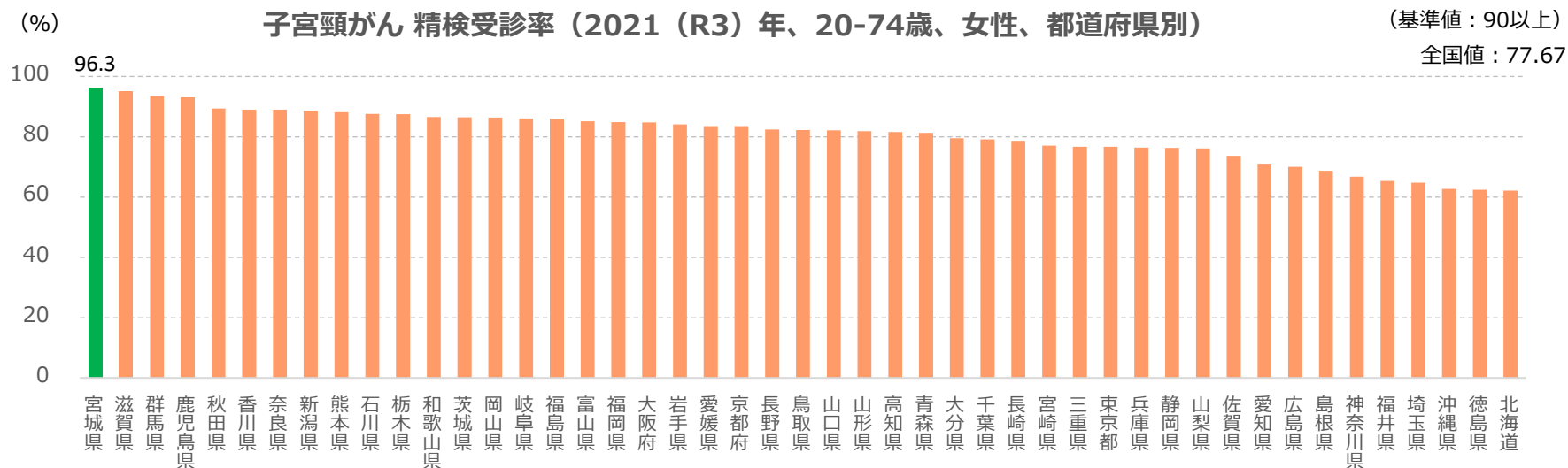
子宮頸がん 精検受診率（2010-2022、20-74歳、女性、全国・宮城県）



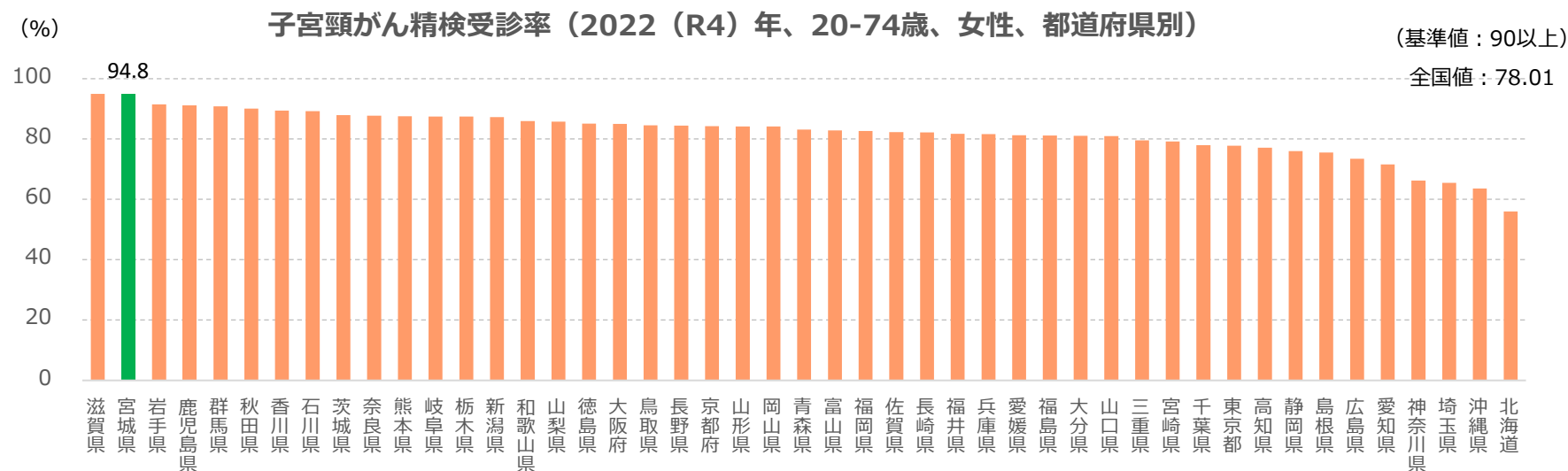
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）

プロセス指標①（精検受診率）全国順位

2021
(R3)



2022
(R4)

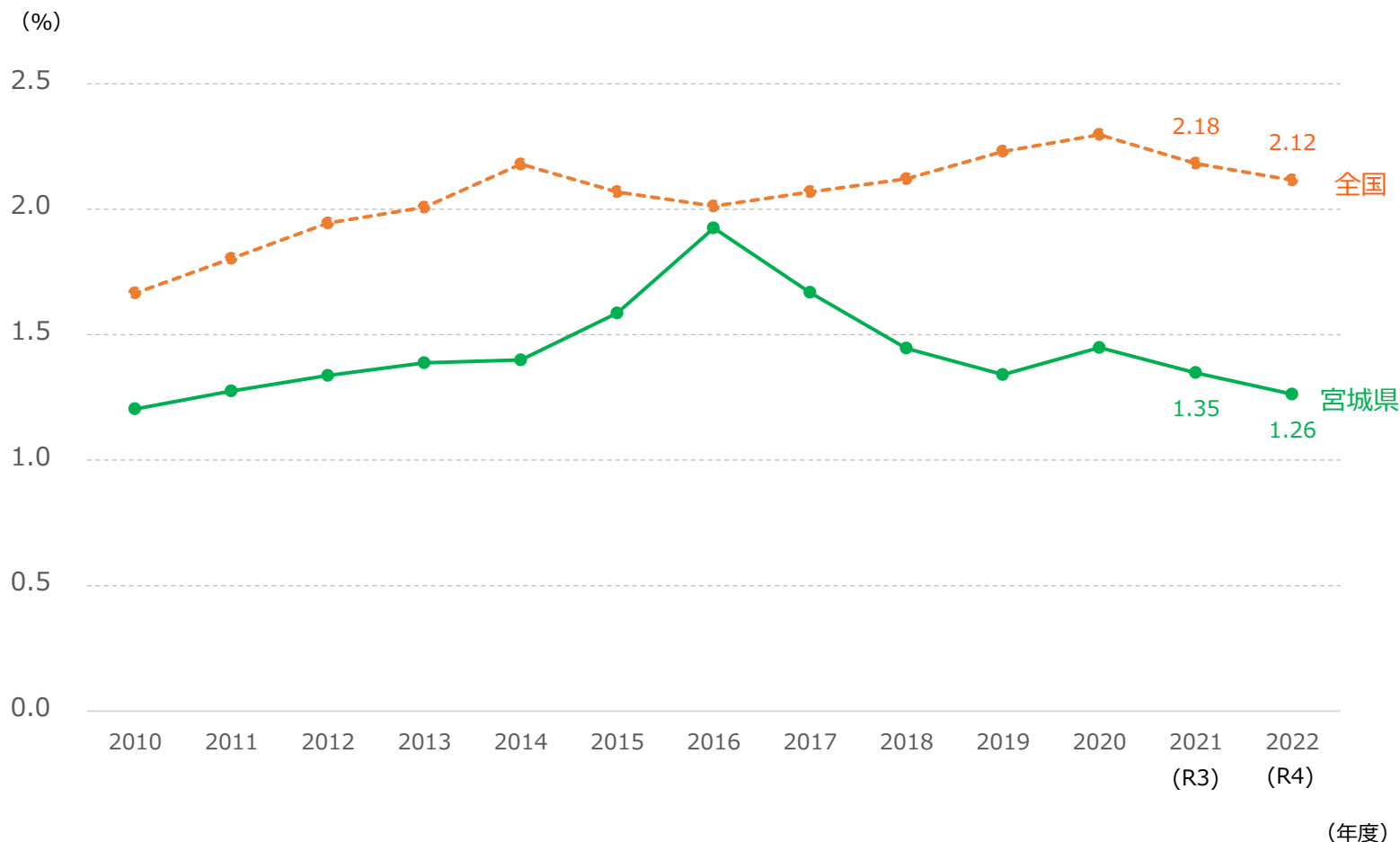


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）

プロセス指標②（要精検率）年次推移

検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか【要精検者数／受診者数×100】

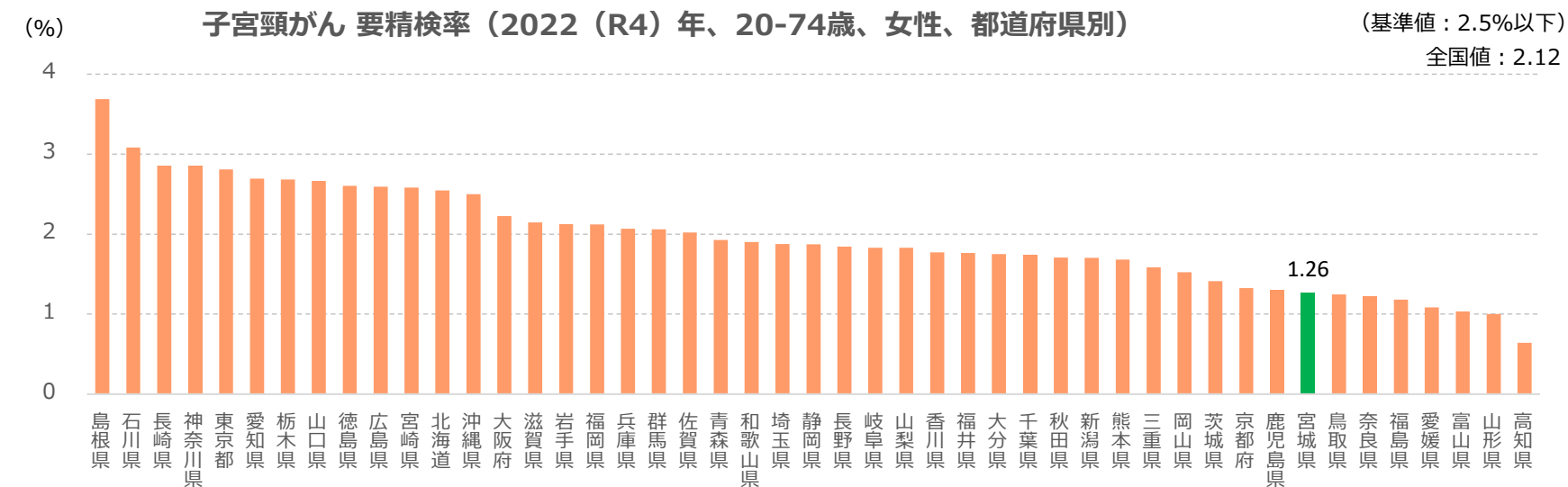
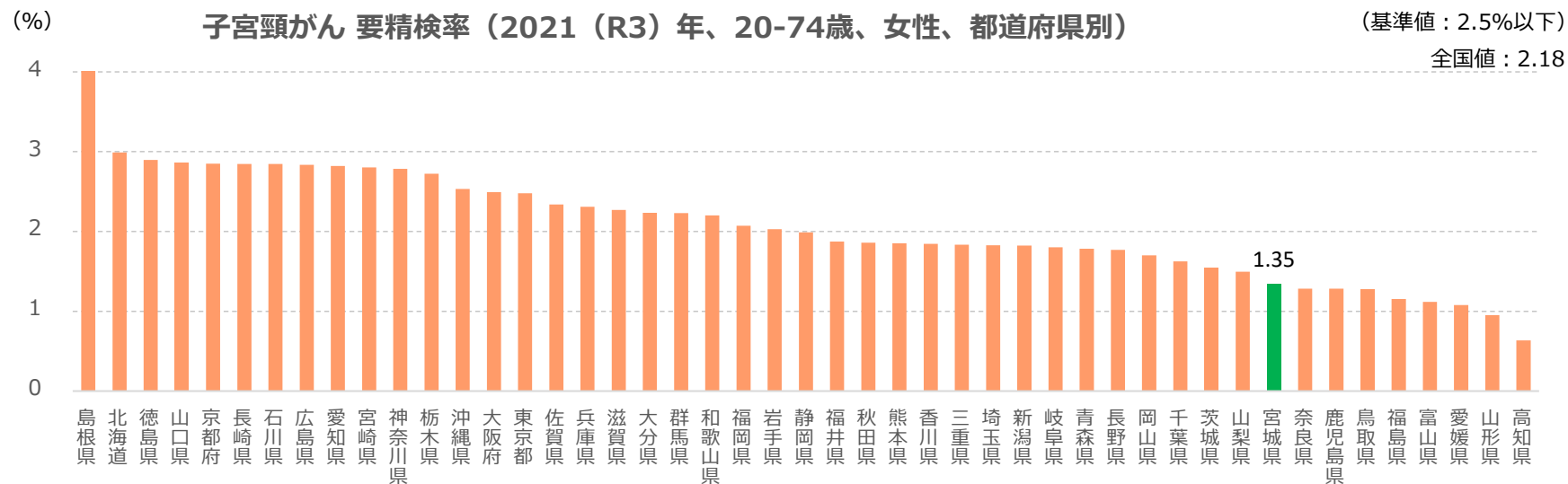
子宮頸がん 要精検率（2010-2022、20-74歳、女性、全国・宮城県）



対象集団に応じて適切な範囲があり、
極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標②（要精検率）全国順位



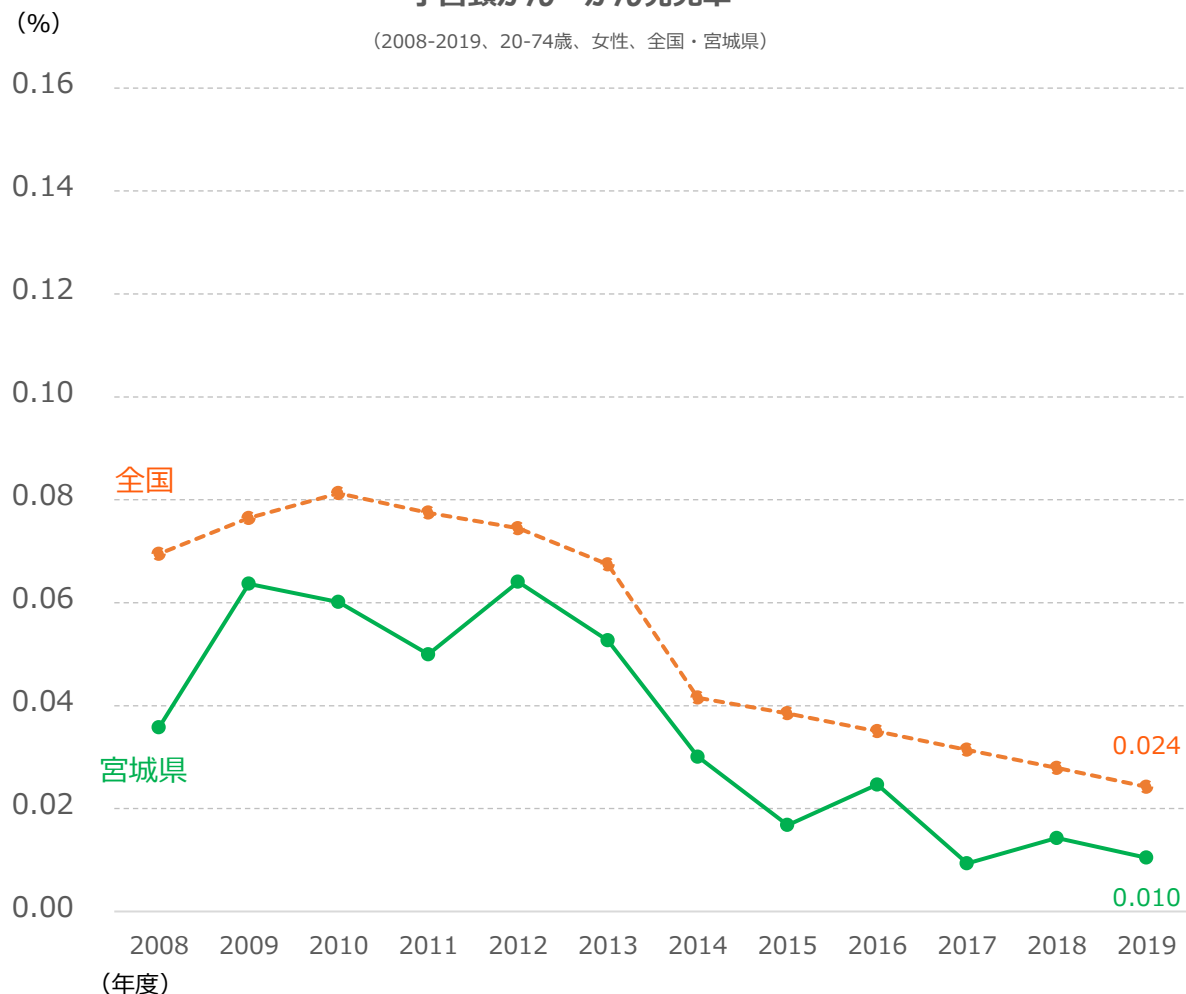
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標③（がん発見率）年次推移

その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか【がんであった者／受診者数×100】

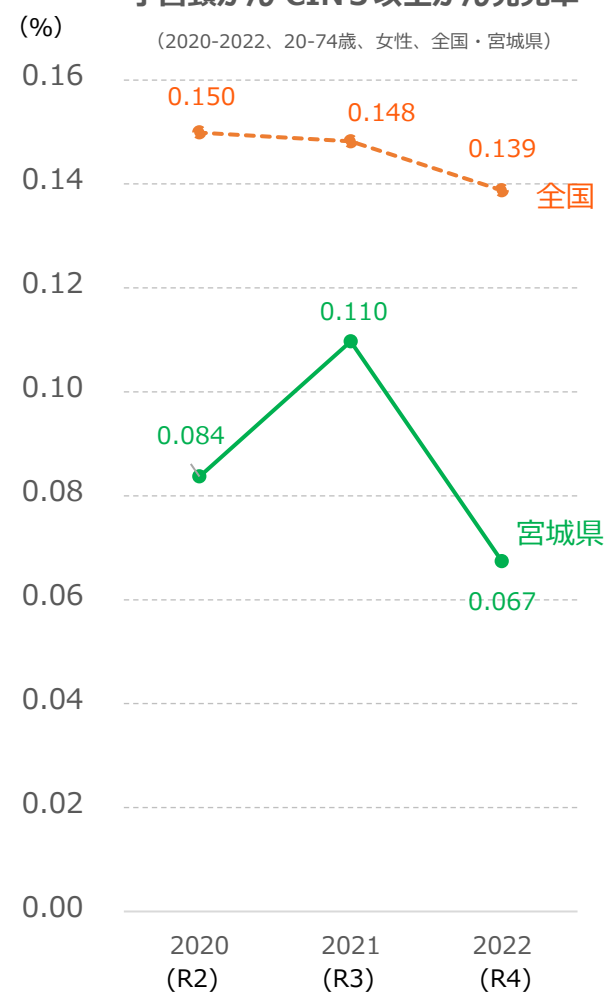
子宮頸がん がん発見率

(2008-2019、20-74歳、女性、全国・宮城県)



子宮頸がん CIN3 以上がん発見率

(2020-2022、20-74歳、女性、全国・宮城県)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

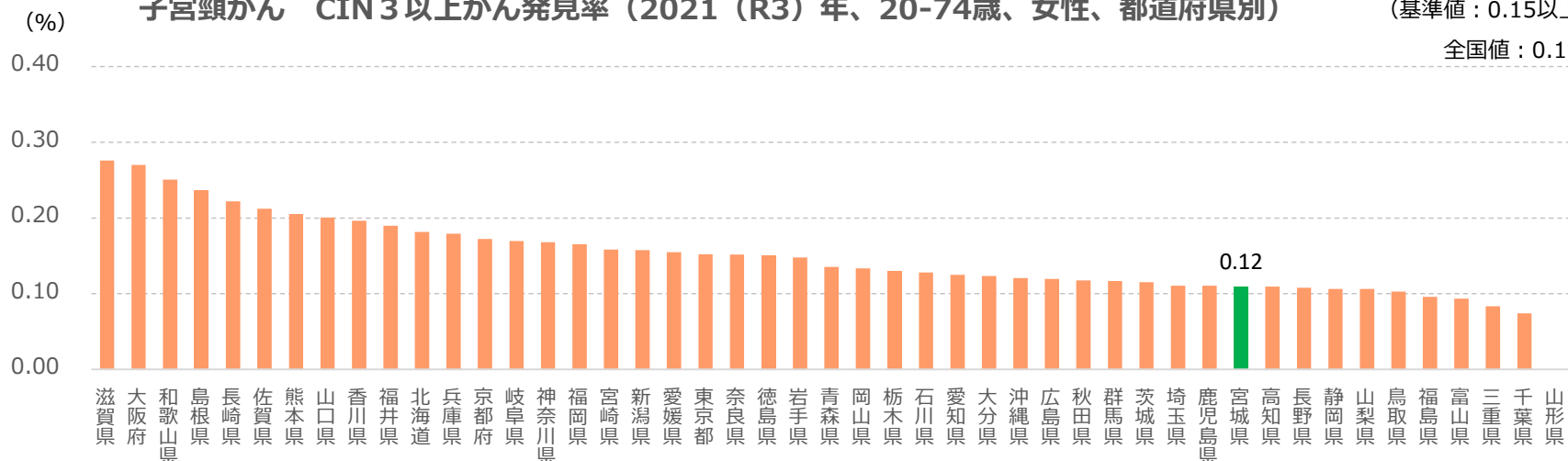
プロセス指標③（がん発見率）全国順位

2021
(R3)

子宮頸がん CIN3以上がん発見率（2021（R3）年、20-74歳、女性、都道府県別）

（基準値：0.15以上）

全国値：0.15

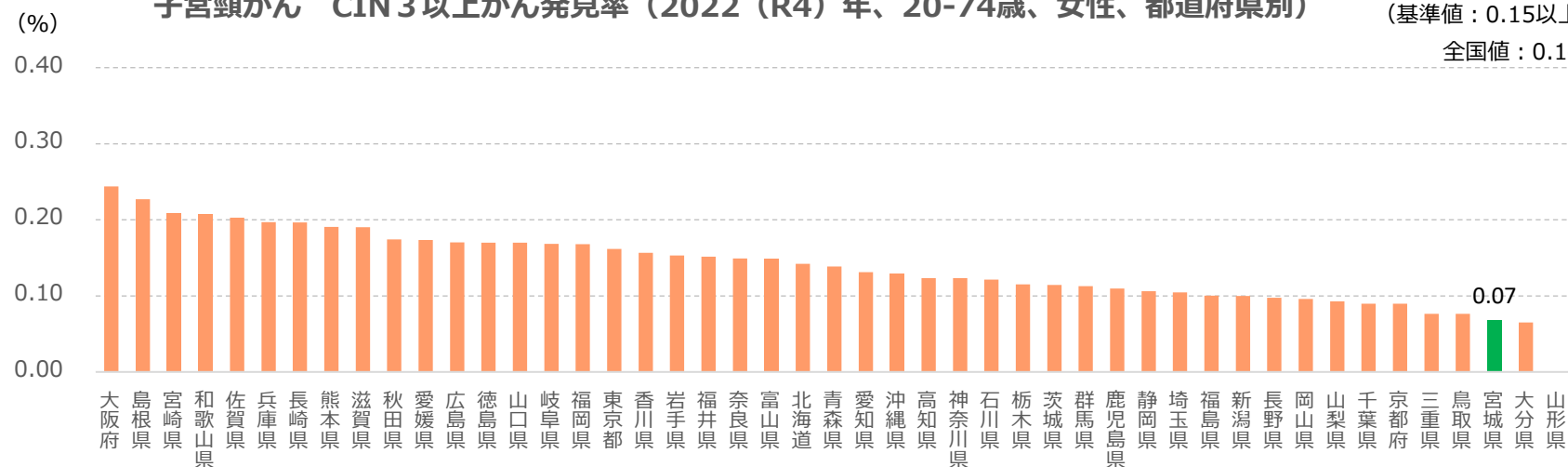


2022
(R4)

子宮頸がん CIN3以上がん発見率（2022（R4）年、20-74歳、女性、都道府県別）

（基準値：0.15以上）

全国値：0.14



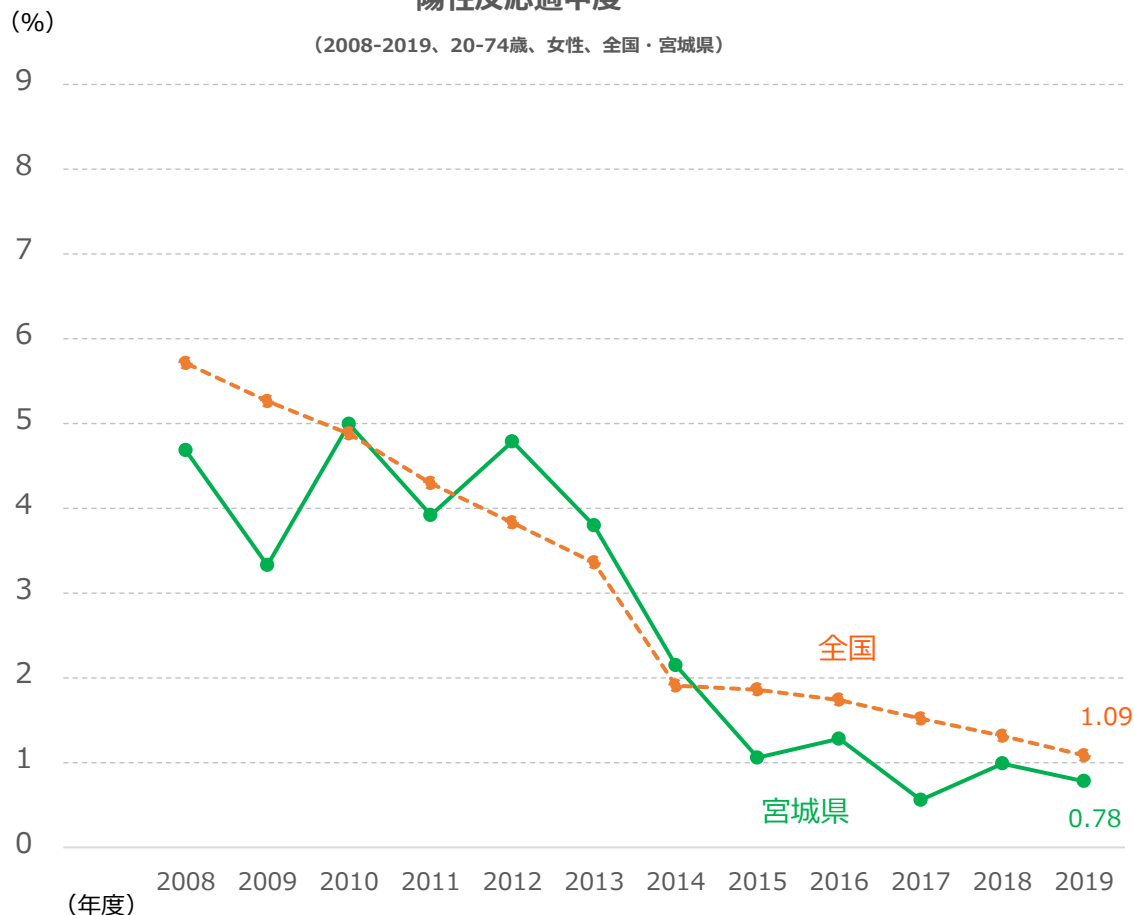
プロセス指標④（陽性反応適中度） 年次推移

その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標）
【がんであった者／要精検者数×100】

子宮頸がん

陽性反応適中度

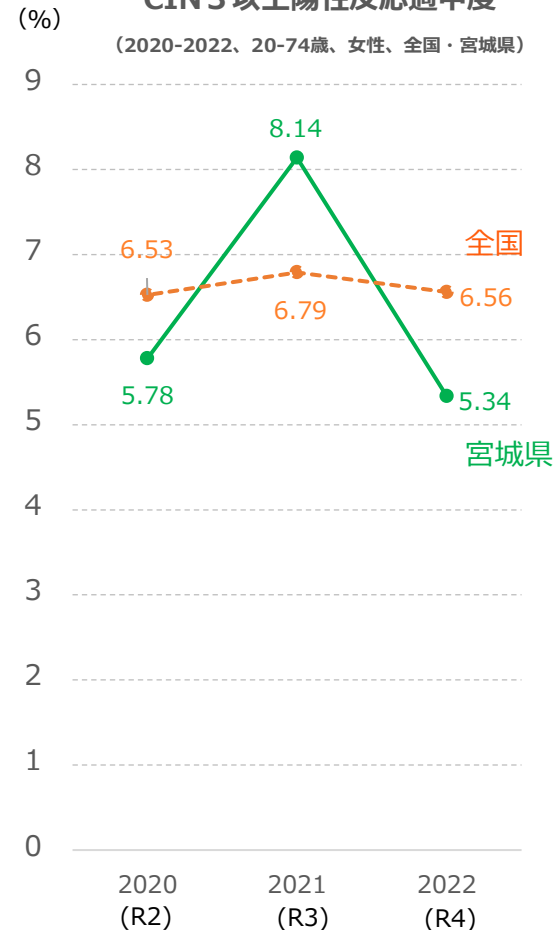
（2008-2019、20-74歳、女性、全国・宮城県）



子宮頸がん

CIN 3 以上陽性反応適中度

（2020-2022、20-74歳、女性、全国・宮城県）



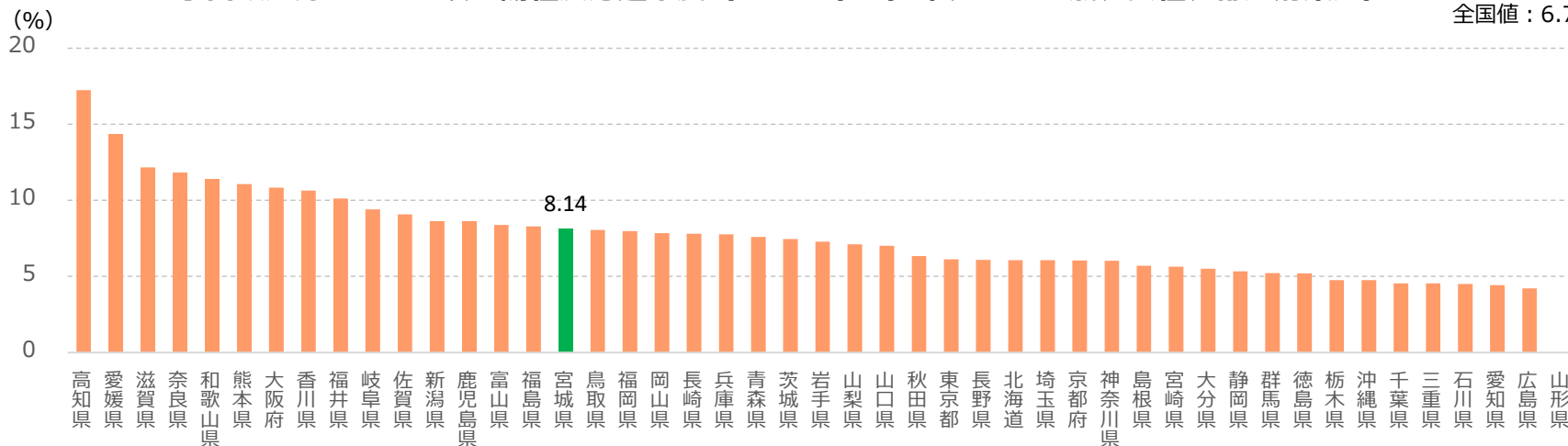
プロセス指標④（陽性反応適中度） 全国順位

子宮頸がん CIN 3 以上陽性反応適中度（2021（R3）年、20-74歳、女性、都道府県別）

（基準値：5.9以上）

全国値：6.79

2021
(R3)

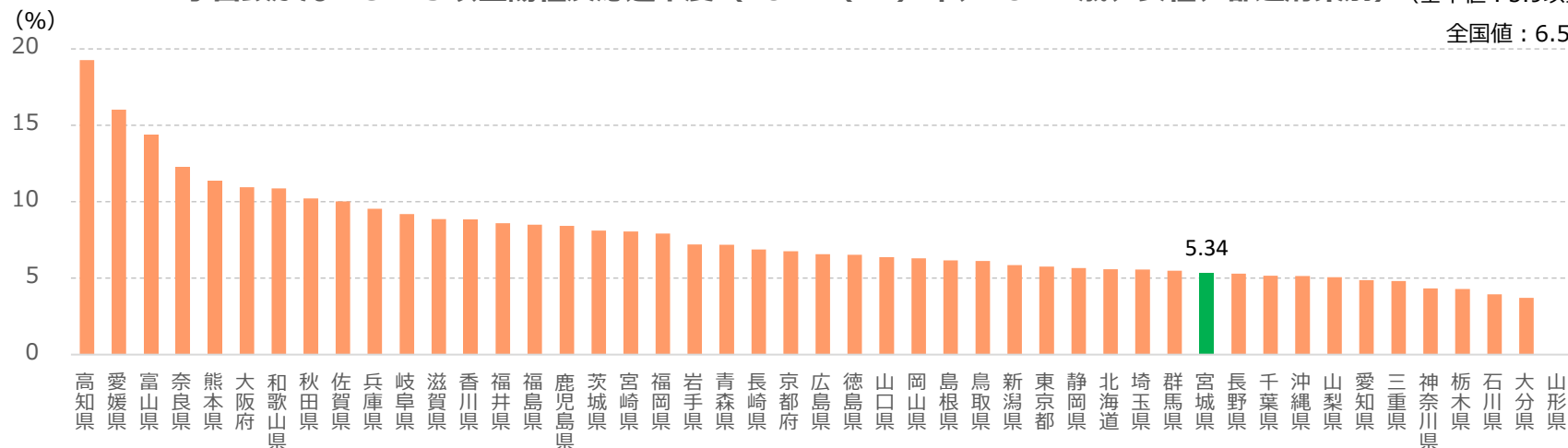


子宮頸がん CIN 3 以上陽性反応適中度（2022（R4）年、20-74歳、女性、都道府県別）

（基準値：5.9以上）

全国値：6.56

2022
(R4)

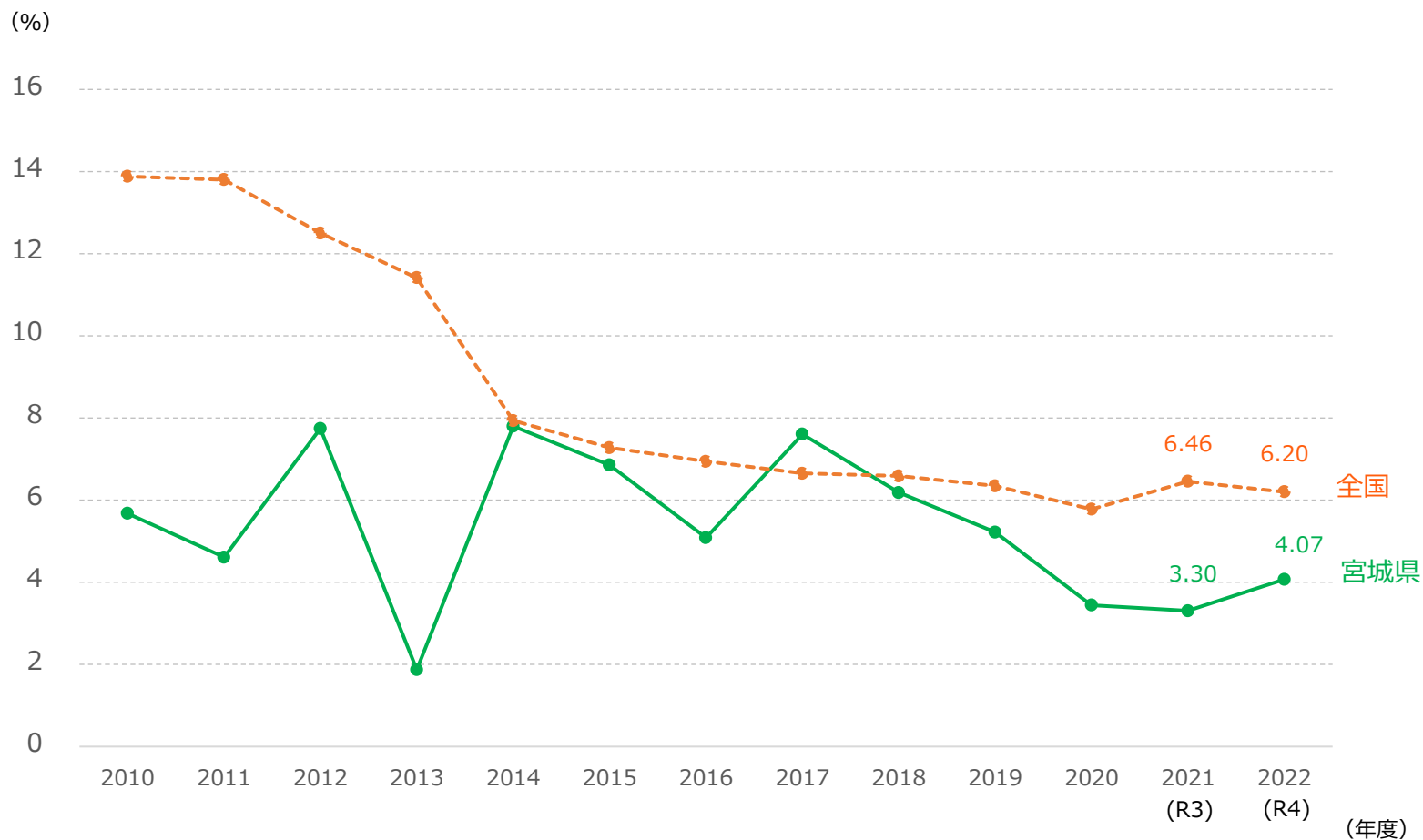


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標⑤（精検未受診率） 年次推移

要精検者が実際に精密検査を受診したか【未受診者数／要精検者数×100】

子宮頸がん 精検未受診率（2010-2022、20-74歳、女性、全国・宮城県）



良い
↓

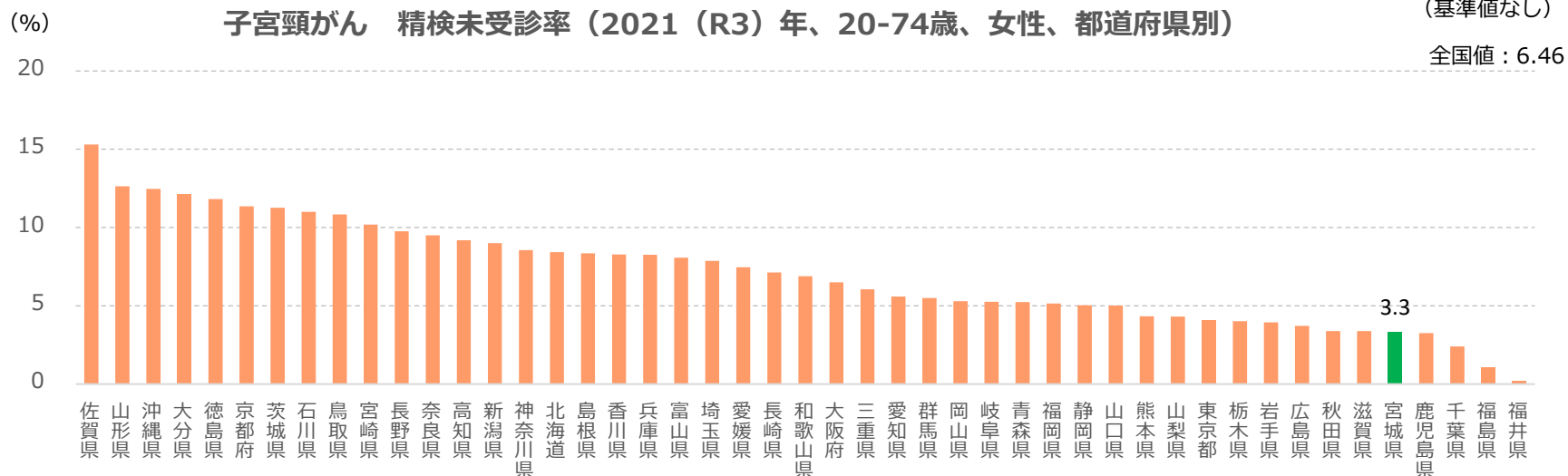
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化

対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

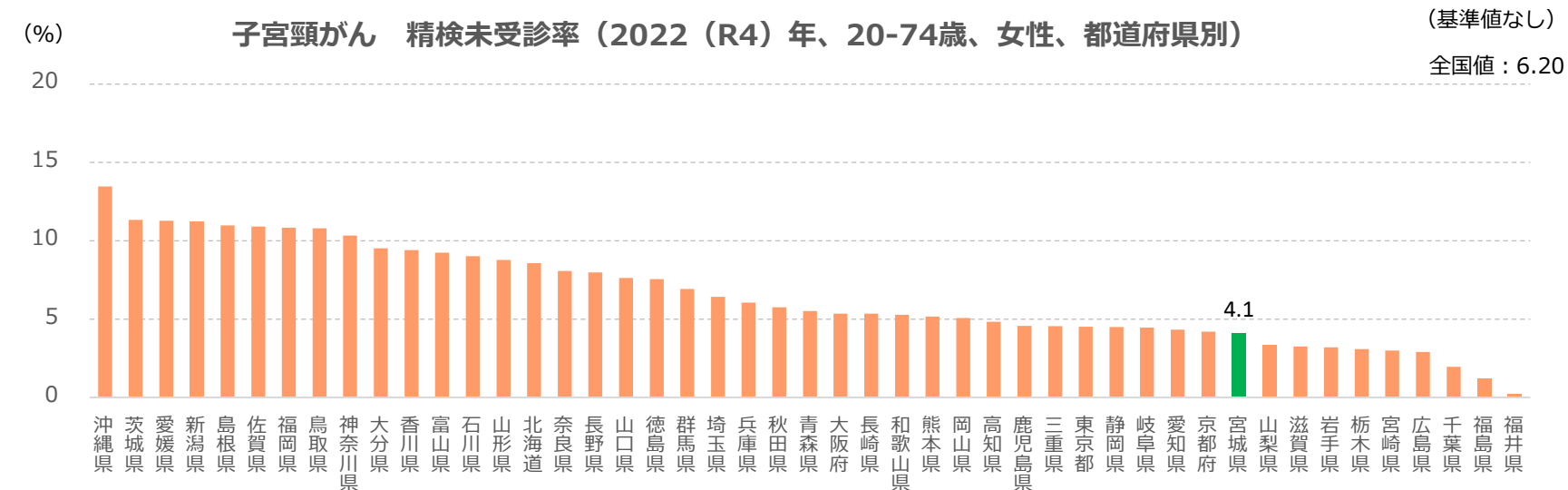
精検未受診：要精検者が精検機関に行かなかったことが判明しているもの（本人自己申告、精検機関で受診の事実が確認されないものなど）

プロセス指標⑤（精検未受診率）全国順位

2021
(R3)



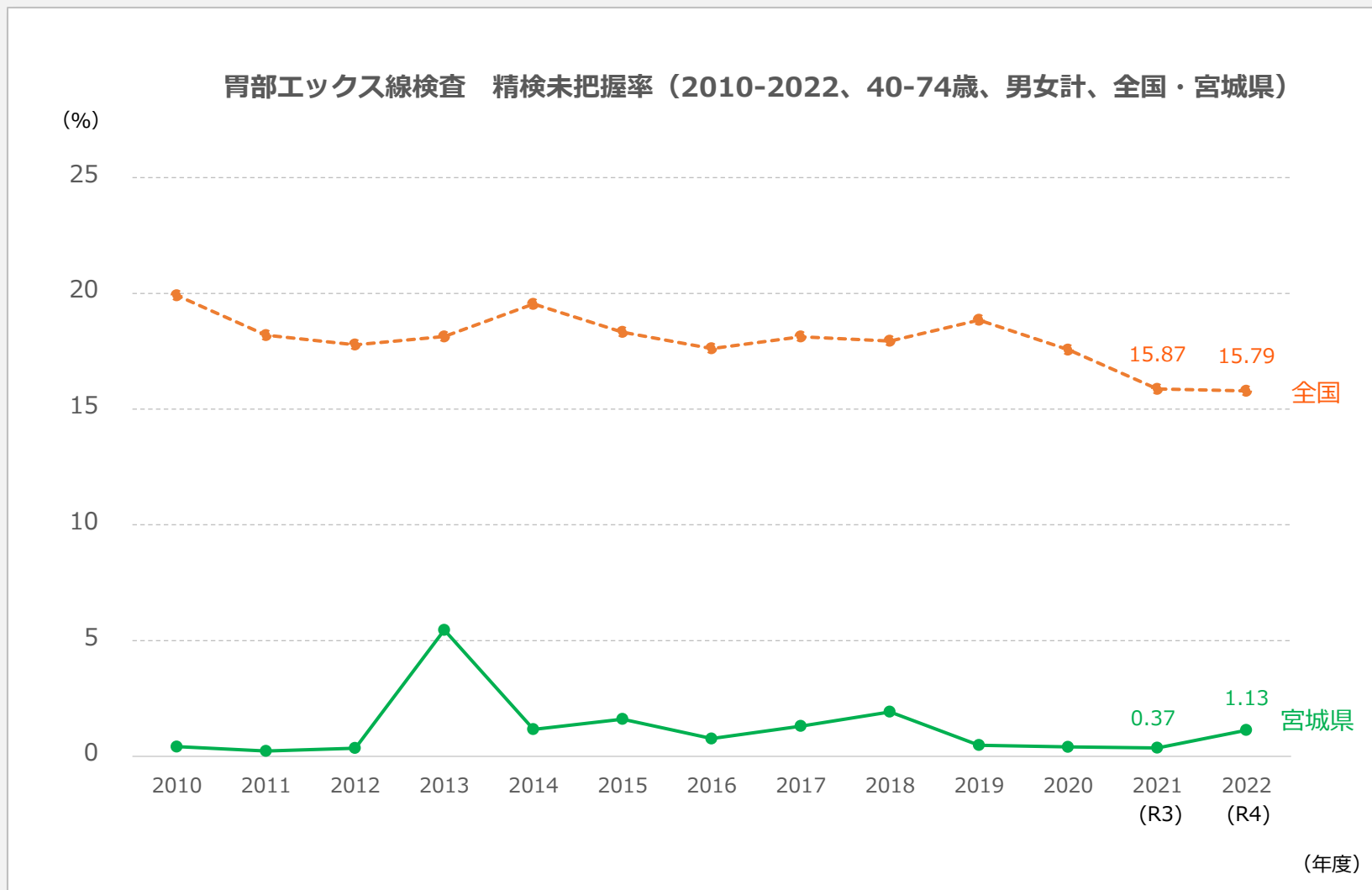
2022
(R4)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標⑥（精検未把握率）年次推移

精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか【未把握者数／要精検者数×100】

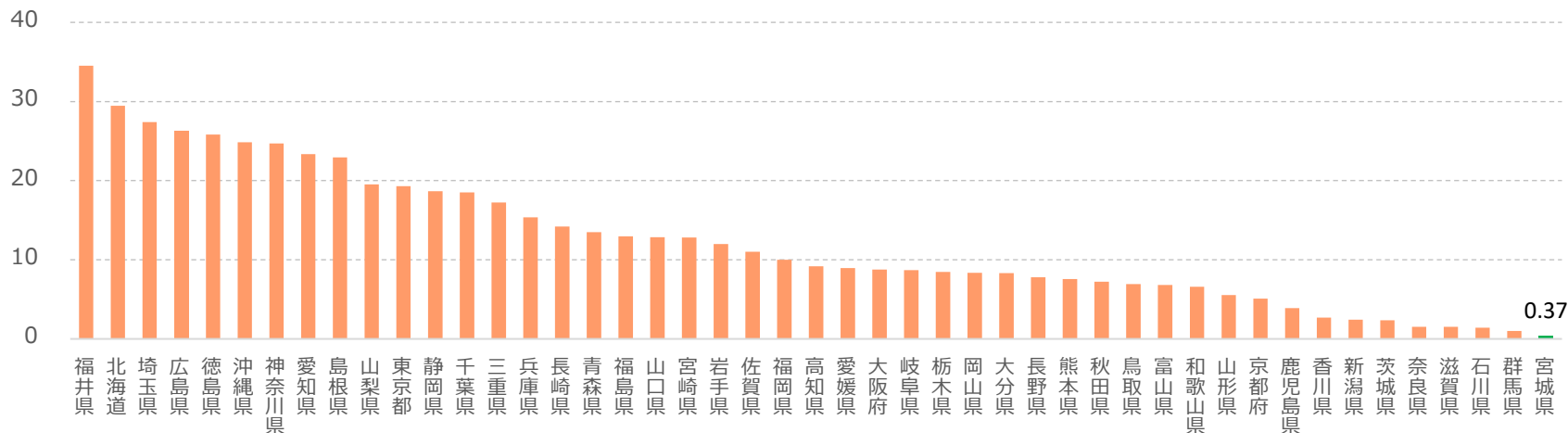


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計
精検未把握：精検受診の有無がわからないもの、精検結果が正確に報告されないもの

プロセス指標⑥（精検未把握率）全国順位

子宮頸がん 精検未把握率（2021（R3）年、20-74歳、女性、都道府県別）

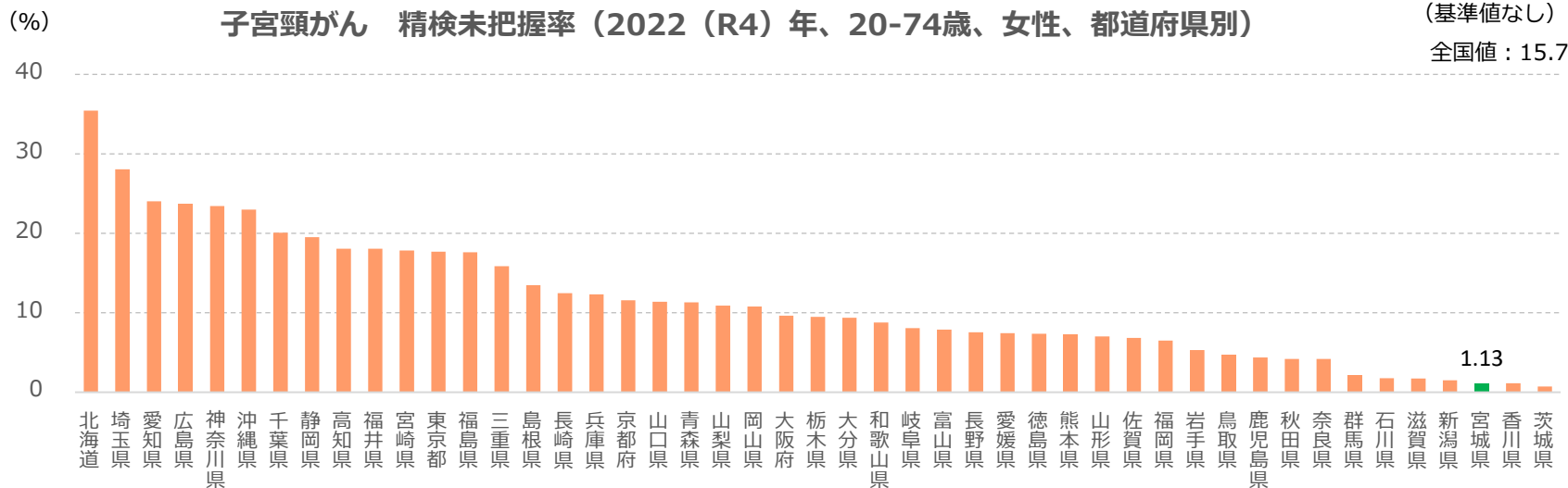
2021
(R3)



子宮頸がん 精検未把握率（2022（R4）年、20-74歳、女性、都道府県別）

（基準値なし）

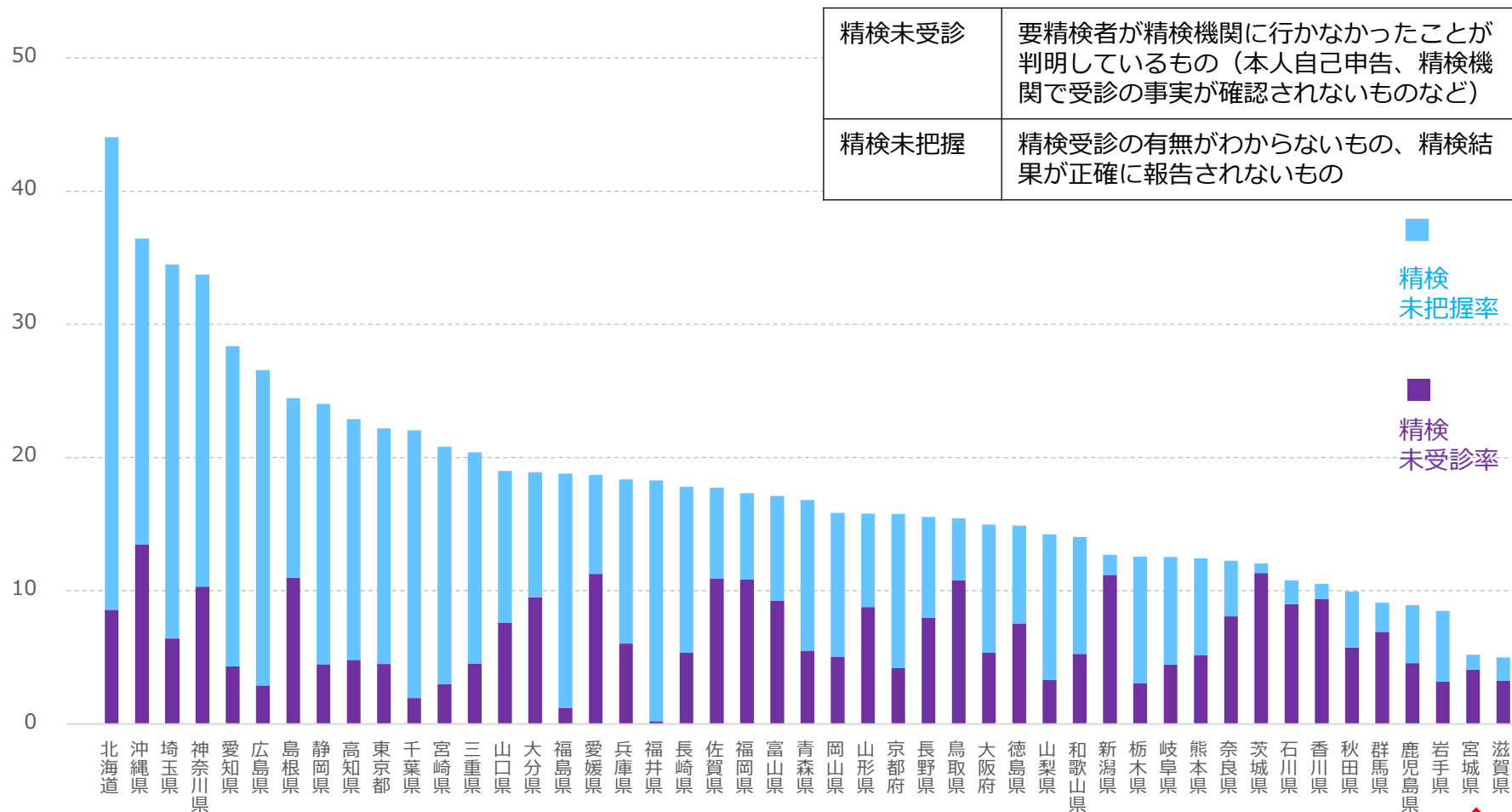
全国値：15.79



(参考) 精検未受診率＋精検未把握率

(%)

子宮頸がん 精検未受診率＋精検未把握率（2022（R4）年、20-74歳、女性、都道府県別）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

(余 白)

プロセス指標の（新）基準値

「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月） → プロセス指標の変更 注)

【74歳以下】（男女計）

	胃がん		大腸がん	肺がん		乳がん		子宮頸がん*		
	検診間隔 2年	検診間隔 1年		検診以外の 肺に関する 検査の受診 なし	検診以外の 肺に関する 検査の受診 考慮	すべての受 診者の検診 間隔が2年	連続受診者 がいること を考慮	20～74歳	20～39歳	40～74歳
	①	②		①	②	①	②			
① 精検受診率	90% 以上		90% 以上	90% 以上		90% 以上			90% 以上	
② 要精検率	7.7% 以下	7.6% 以下	6.8% 以下	2.4% 以下	2.3% 以下	6.5% 以下	6.4% 以下	2.5% 以下	4.2% 以下	1.9% 以下
⑤ がん発見率	0.19% 以上	0.11% 以上	0.21% 以上	0.10% 以上	0.05% 以上	0.40% 以上	0.31% 以上	0.15% 以上	0.18% 以上	0.14% 以上
⑥ 陽性反応 適中度	2.5% 以上	1.5% 以上	3.0% 以上	4.1% 以上	2.2% 以上	6.1% 以上	4.8% 以上	5.9% 以上	4.4% 以上	7.3% 以上

*子宮頸がんはCIN3以上の発見率または陽性反応的中度

注) 主な変更点

- ・ 許容値が廃止され、精検受診率の基準値は全がん種90%となり、未把握率、未受診率の基準値は廃止。
- ・ 基準値の対象年齢は、従来の上限74歳に加え、上限69歳の区分が追加。
- ・ 要精検率・がん発見率・陽性反応適中度の基準値が細分化され、性別及び受診歴別に示された。
- ・ 胃がん検診、肺がん検診及び乳がん検診のプロセス指標には、受診者の性質に応じた2種類の基準値が設定。
 - ①の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が指針どおりのがん検診以外にない検診対象者を想定
 - ②の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が他にある検診対象者を想定

年齢階級別プロセス指標のまとめ

20～74歳	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応適中度
基準値	90%以上	2.5%以下	0.15%以上	5.9%以上
全国	78.01	2.12	0.14	6.56
宮城県	94.80	1.26	0.07	5.34

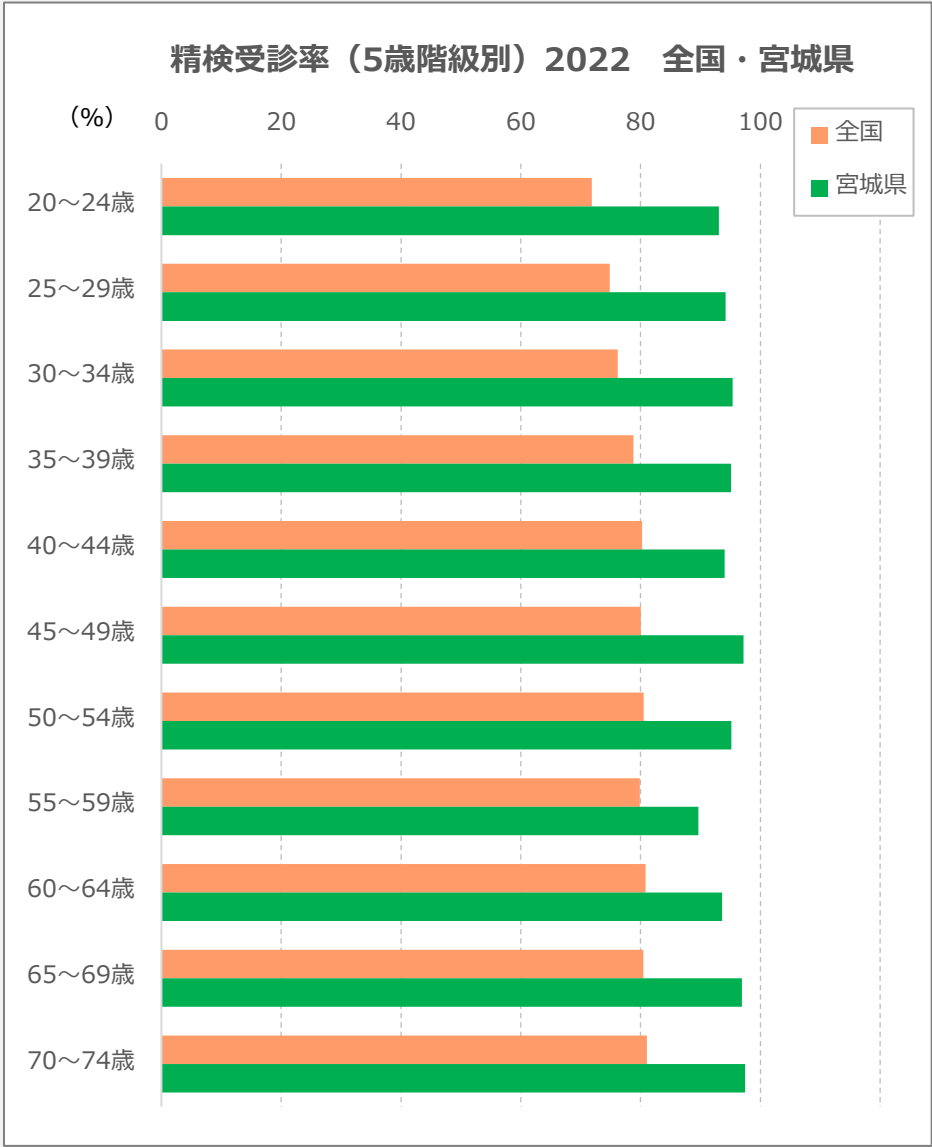
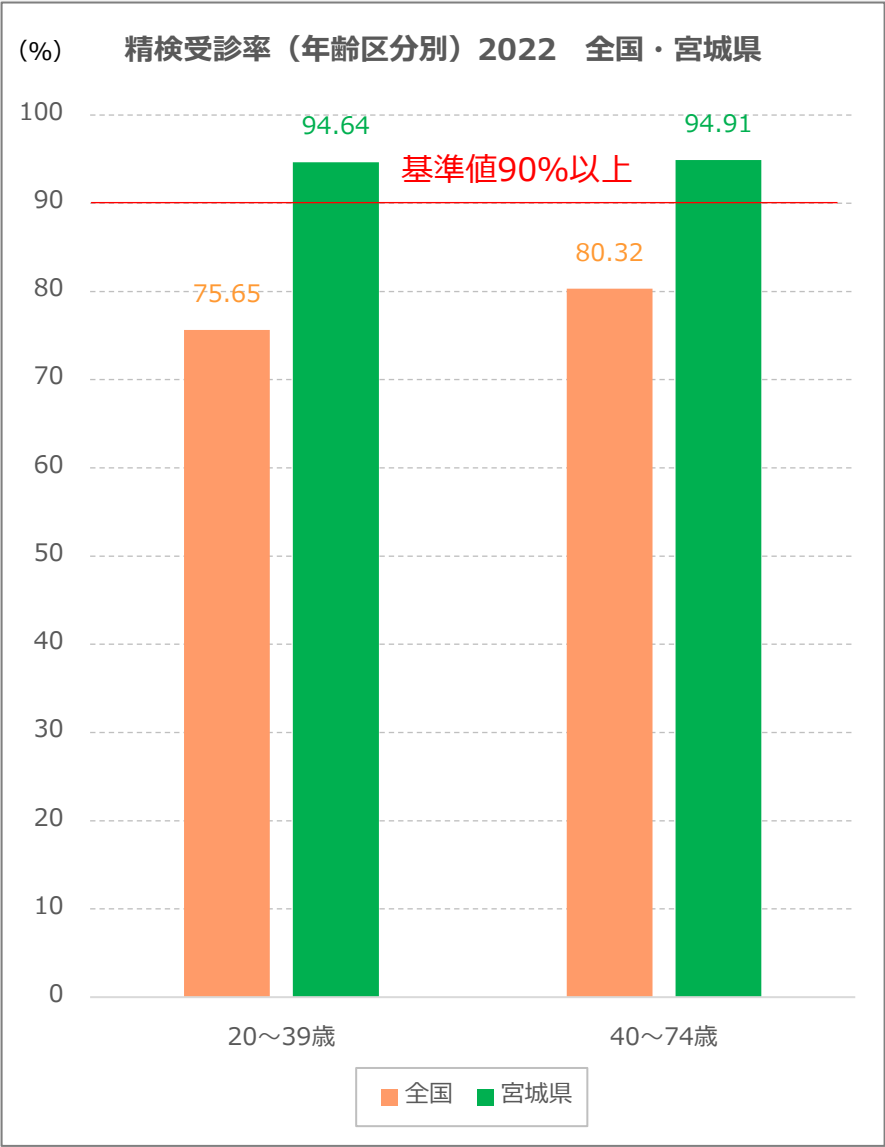


20～39歳	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応適中度
基準値	90%以上	4.2%以下	0.18%以上	4.4%以上
全国	75.65	3.69	0.20	5.33
宮城県	94.64	3.03	0.13	4.26



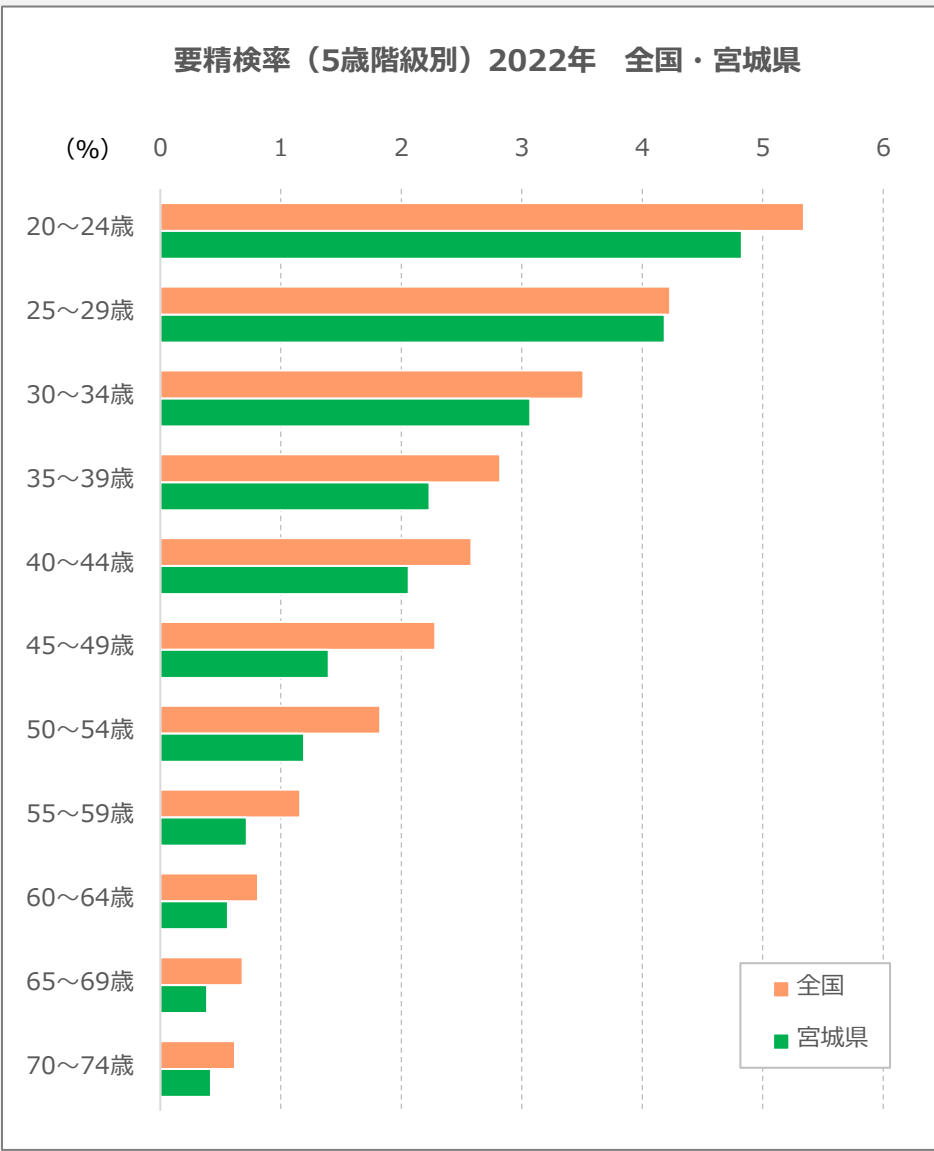
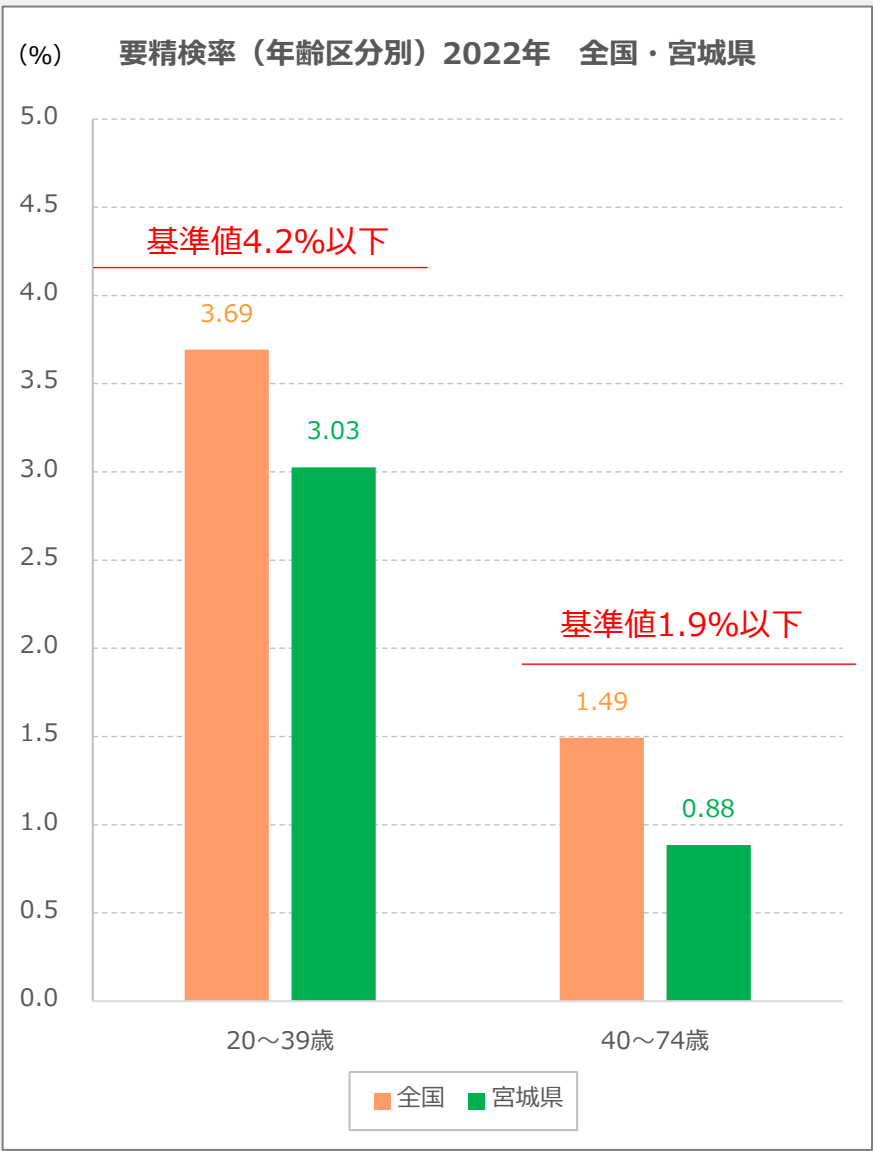
40～74歳	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応適中度
基準値	90%以上	1.9%以下	0.14%以上	7.3%以上
全国	80.32	1.49	0.12	7.76
宮城県	94.91	0.88	0.05	6.13

(参考) 年齢階級別の精検受診率



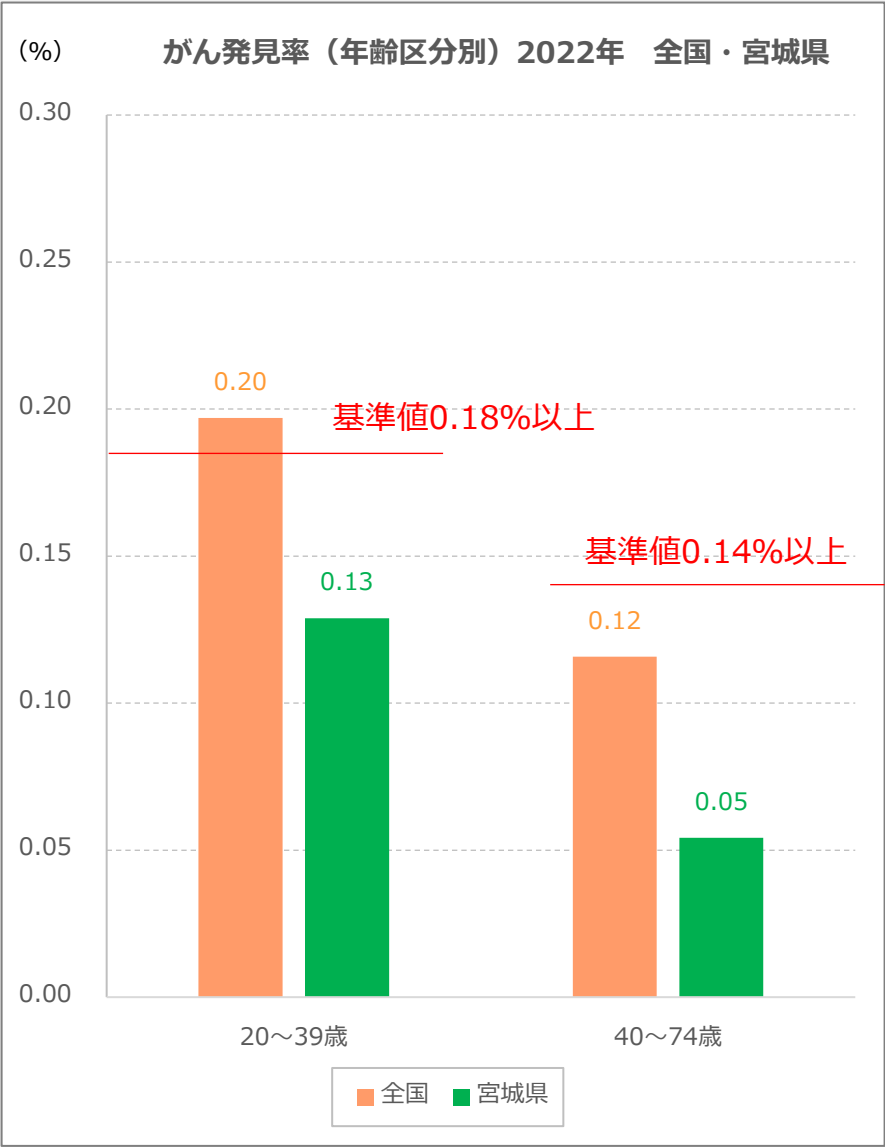
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
 対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

(参考) 年齢階級別の要精検率



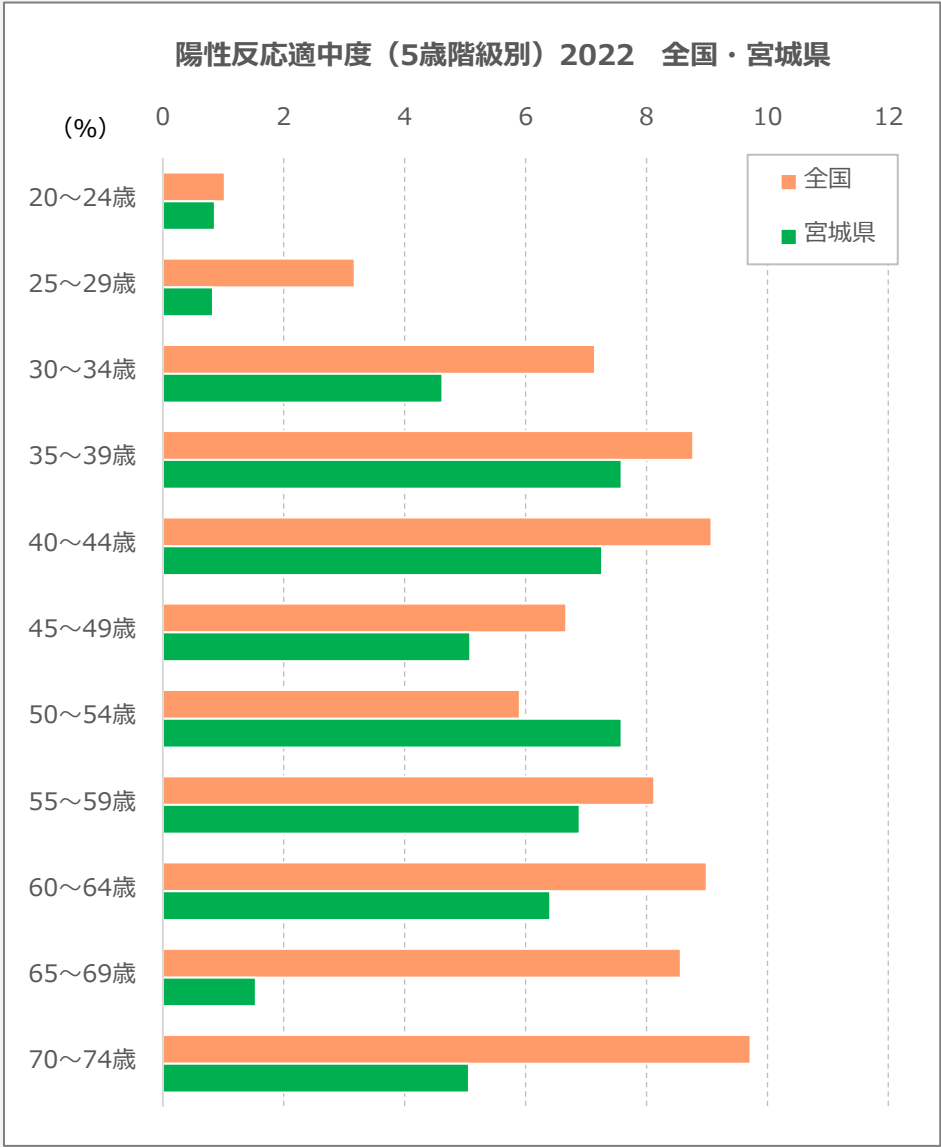
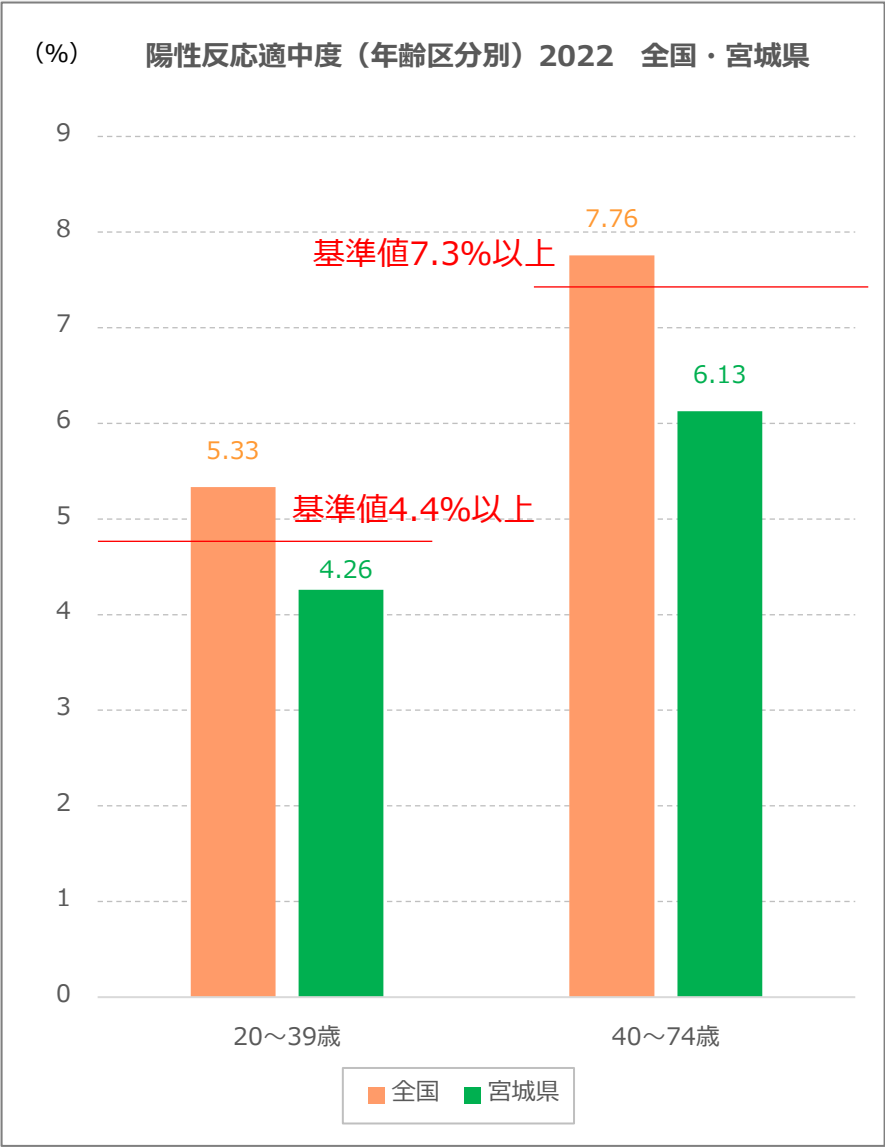
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
 対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

(参考) 年齢階級別のがん発見率 (CIN3以上)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

(参考) 年齢階級別の陽性反応適中度 (CIN3以上)



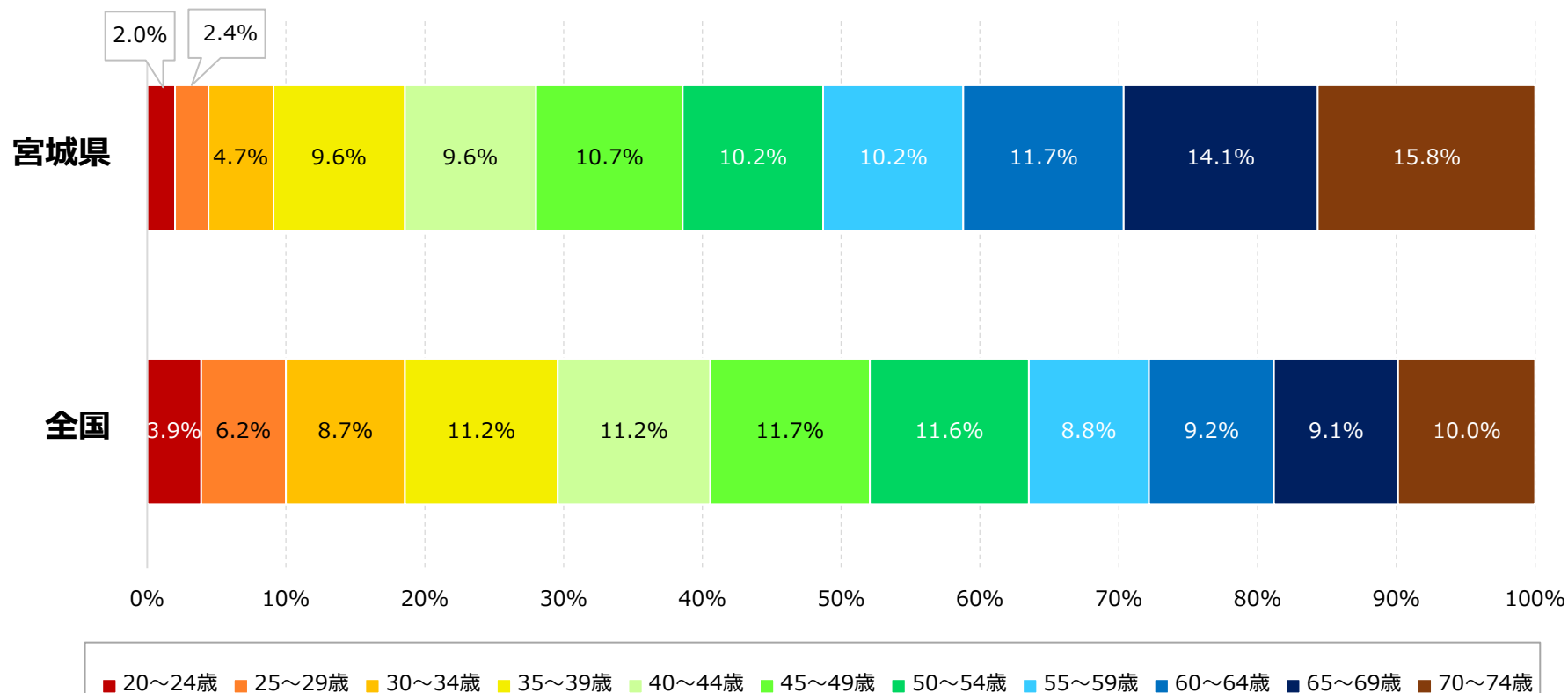
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
 対象：市町村が実施する住民検診（20-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標の意味と活用方法

	各指標値の評価	値が適正でない場合の検討事項		
		指標	予想される原因	検討内容
精検未受診率	低いことが望ましい	高値	①精検の受診勧奨が適切でない ②精検の提供体制が不十分（キャパシティ、アクセス）	①受診者に予め「要精検の場合は必ず精検を受けること」を伝え、かつ、全ての要精検者に精検の重要性を十分に伝えているか ②精検受診者の利便性
		低値	0%に近いことが理想	
要精検率	対象集団に応じた適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	高値	① 受診者が有病率の高い集団に偏っている ② 偽陽性が多い	① 有症状者が検診を受けていないか（有症状者は診療を受けるよう指導する）、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか ② 各検診機関の要精検の判定基準は適切か
		低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① <u>有病率の低い年齢層に偏っていないか（年齢層、受診歴等）</u> ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か
陽性がん発見率 反応適中度	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	極端に高値	受診者が有病率の高い集団に偏っている	有症状者が検診を受けていないか（有症状者は診療を受けるよう指導する）、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか
		低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか（年齢層、受診歴等） ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か

検診受診者の年齢構成割合 全国・県

子宮頸がん検診受診者の年齢構成割合（2022（R4）年、女性）



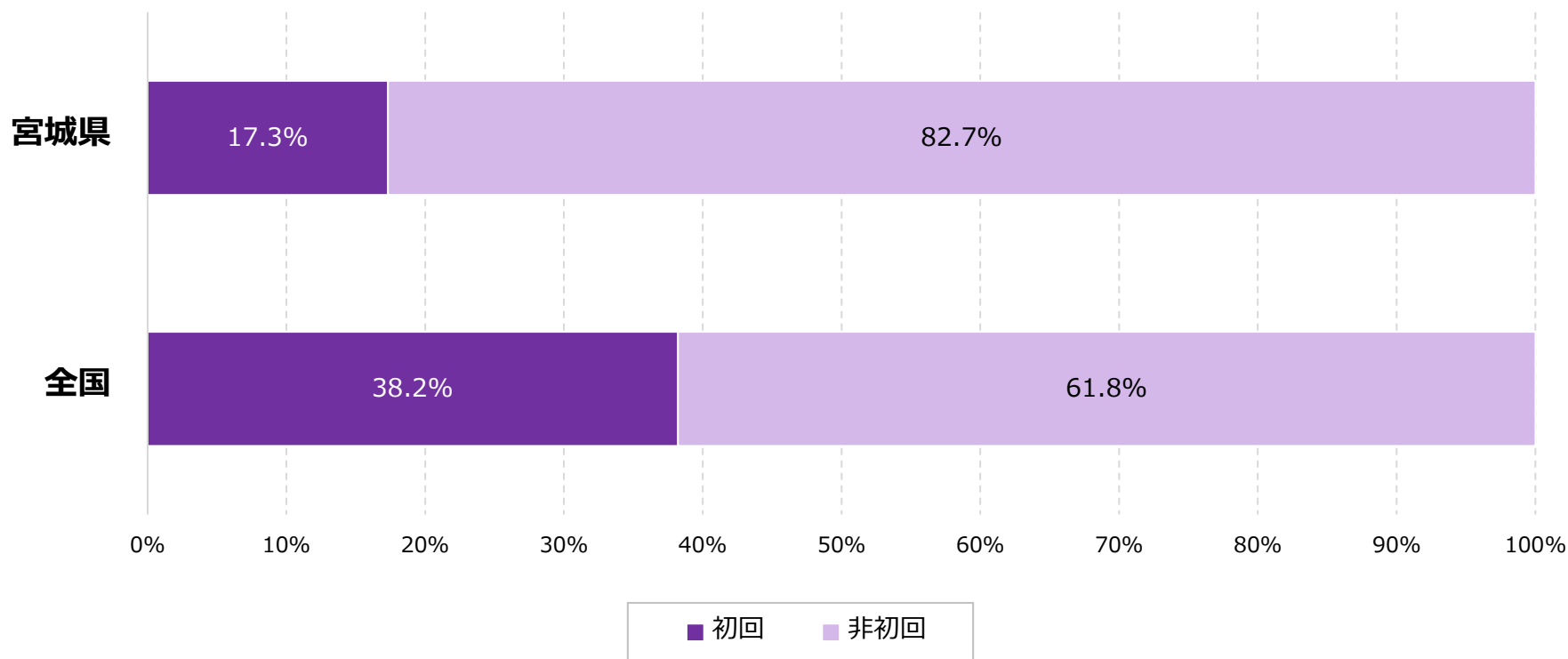
出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第18－1表 子宮頸がん検診受診者数

注意：この集計では、74歳以下を抽出してグラフ化

→ 宮城県は、全国と比べて20歳から39歳の受診割合が小さく、60歳から74歳の受診割合が大きい

検診受診者の初回・非初回割合 全国・県

子宮頸がん検診受診者の初回・非初回割合（2022（R4）年、女性）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第15-1表 胃がん検診受診者数

注意：この集計では、74歳以下を抽出してグラフ化

検診回数の初回・非初回については、計数不詳の市区町村があるため、総数と一致しない場合がある。

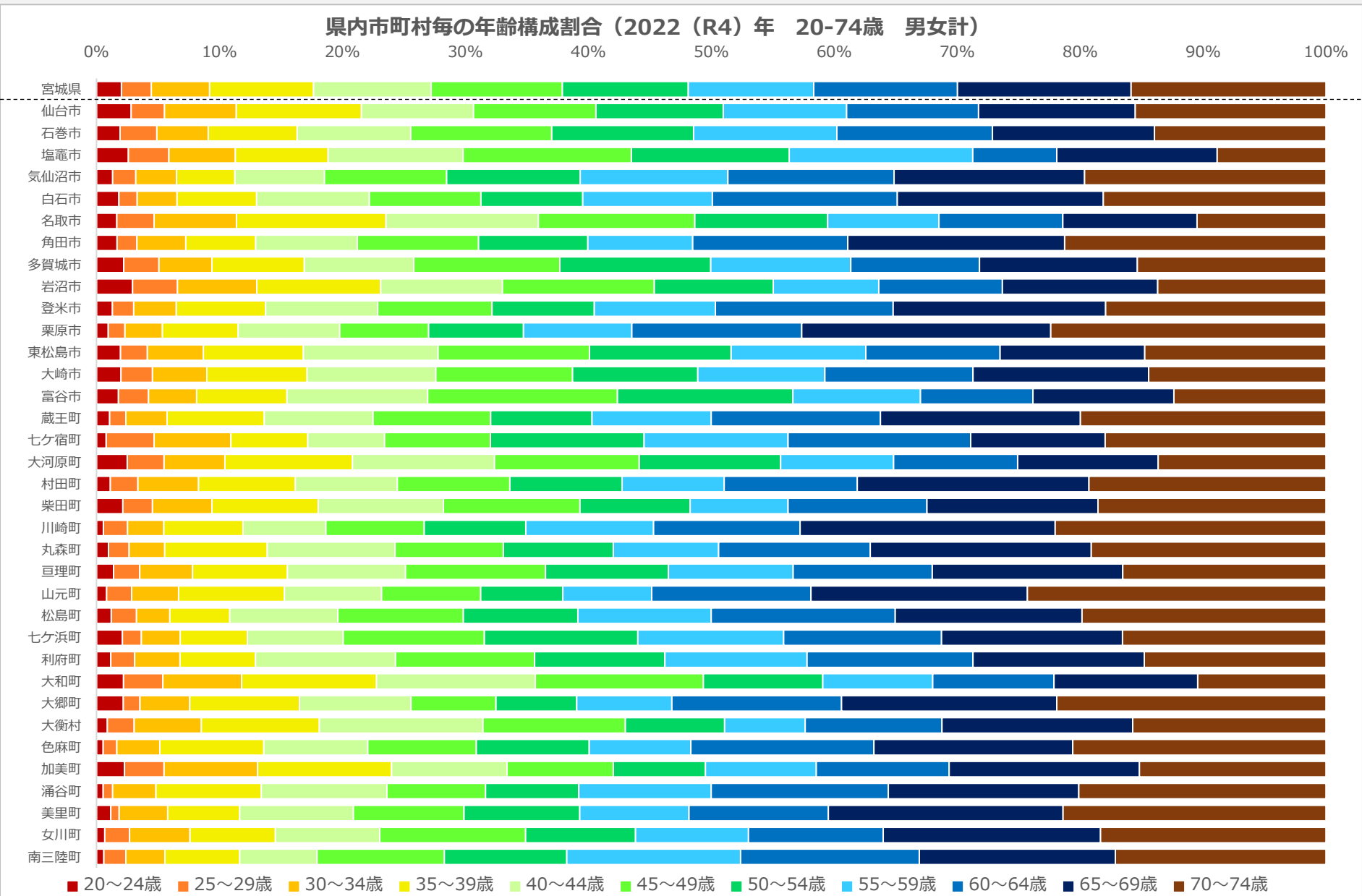
→ 宮城県は全国より初回割合が低い

(余 白)

(参考) 市町村毎の一次検診受診者の年齢構成 2022 (R4) 年

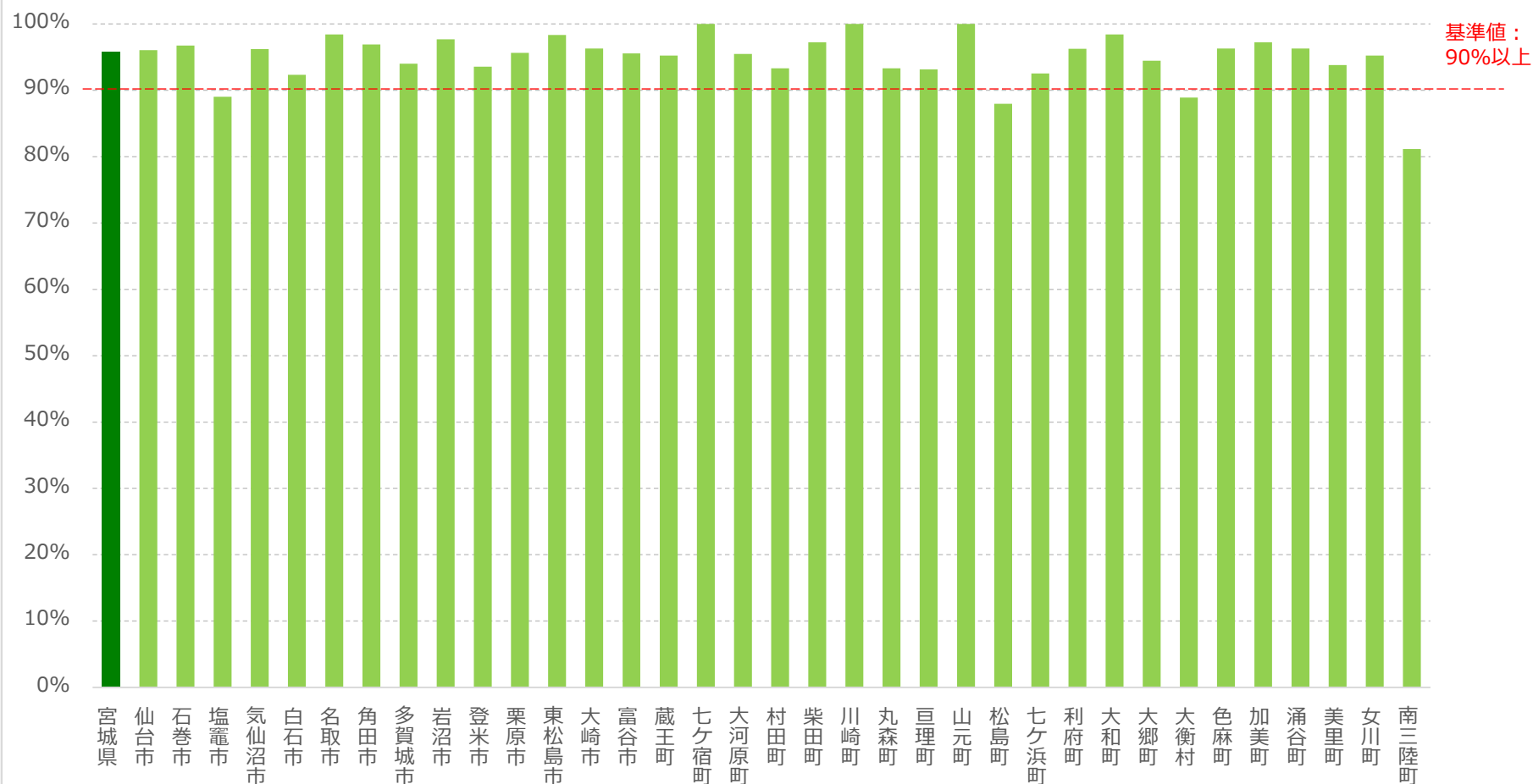
子宮頸がん	20-74歳合計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
仙台市	33,712	953	911	1,965	3,435	3,073	3,360	3,488	3,385	3,617	4,298	5,227
石巻市	10,744	206	322	448	778	993	1,232	1,240	1,252	1,359	1,416	1,498
塩竈市	2,398	62	79	130	181	263	328	308	358	164	313	212
気仙沼市	3,661	48	69	121	174	267	364	397	440	495	567	719
白石市	2,473	45	37	80	160	227	224	205	261	372	414	448
名取市	5,061	84	153	339	616	627	644	547	458	510	552	531
角田市	1,792	30	29	71	102	148	177	159	153	226	316	381
多賀城市	3,332	74	95	144	250	297	396	409	379	349	428	511
岩沼市	3,582	105	131	231	361	355	442	347	307	360	453	490
登米市	8,776	114	151	304	638	800	817	729	864	1,269	1,517	1,573
栗原市	4,682	45	63	143	288	387	339	361	413	647	948	1,048
東松島市	2,509	49	55	114	204	275	309	289	275	274	295	370
大崎市	8,362	167	214	370	682	874	931	851	865	1,007	1,195	1,206
富谷市	4,578	82	112	179	336	524	707	653	475	419	525	566
蔵王町	836	9	11	28	66	74	80	69	81	115	136	167
七ヶ宿町	128	1	5	8	8	8	11	16	15	19	14	23
大河原町	1,436	36	43	71	149	166	169	165	132	145	164	196
村田町	711	8	16	35	56	59	65	65	59	77	134	137
柴田町	2,523	54	61	122	218	257	280	226	201	285	351	468
川崎町	713	4	14	21	46	48	57	59	74	85	148	157
丸森町	828	8	14	24	69	86	73	74	71	102	149	158
亘理町	2,021	28	43	87	156	194	230	202	205	229	313	334
山元町	733	6	15	28	63	58	59	49	53	95	129	178
松島町	922	11	19	25	45	81	94	86	100	138	140	183
七ヶ浜町	1,426	30	22	45	78	111	164	178	169	183	210	236
利府町	2,327	27	45	86	143	265	263	247	269	314	324	344
大和町	1,813	40	58	116	199	234	248	176	162	179	212	189
大郷町	594	13	8	24	53	54	41	39	46	82	104	130
大衡村	458	4	10	25	44	61	53	37	30	51	71	72
色麻町	544	3	6	19	46	46	48	50	45	81	88	112
加美町	1,054	24	34	80	115	99	91	79	95	114	163	160
涌谷町	910	5	7	32	78	93	73	69	98	131	141	183
美里町	1,623	19	11	64	95	150	146	153	144	184	310	347
女川町	447	3	9	22	31	38	53	40	41	49	79	82
南三陸町	1,004	6	18	32	61	63	104	100	142	146	160	172
宮城県総計	118,713	2,403	2,890	5,633	10,024	11,355	12,672	12,162	12,117	13,872	16,777	18,808

(参考) 市町村毎の一次検診受診者の年齢構成割合



市町村のプロセス指標①（精検受診率） 3年平均

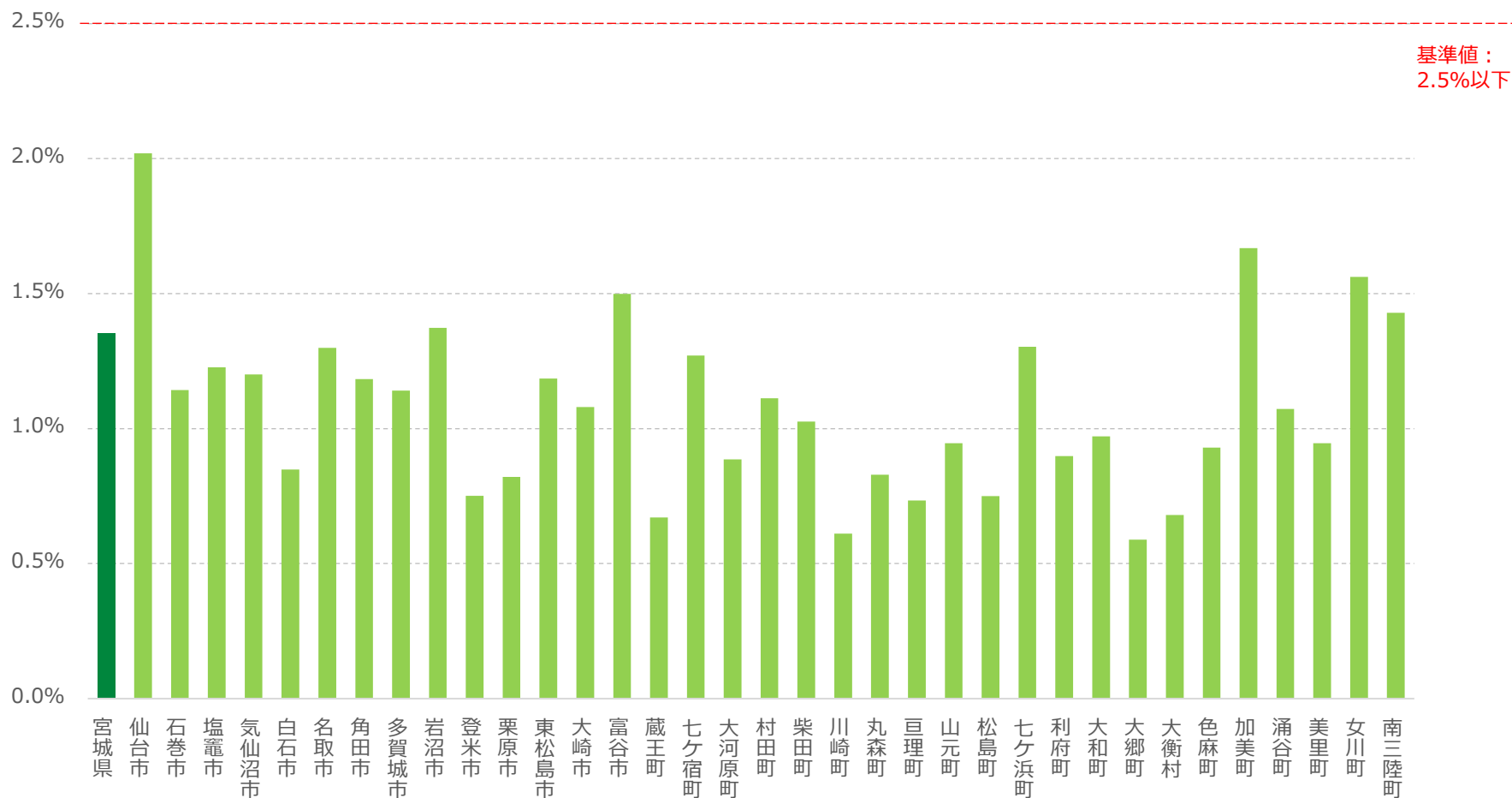
子宮頸がん検診 精密検査受診率（2020-2022（3年平均）、20-74歳、女性、市町村別）



出典：地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）市区町村表 第33-1表 令和2～4年度における子宮頸がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標②（要精検率） 3年平均

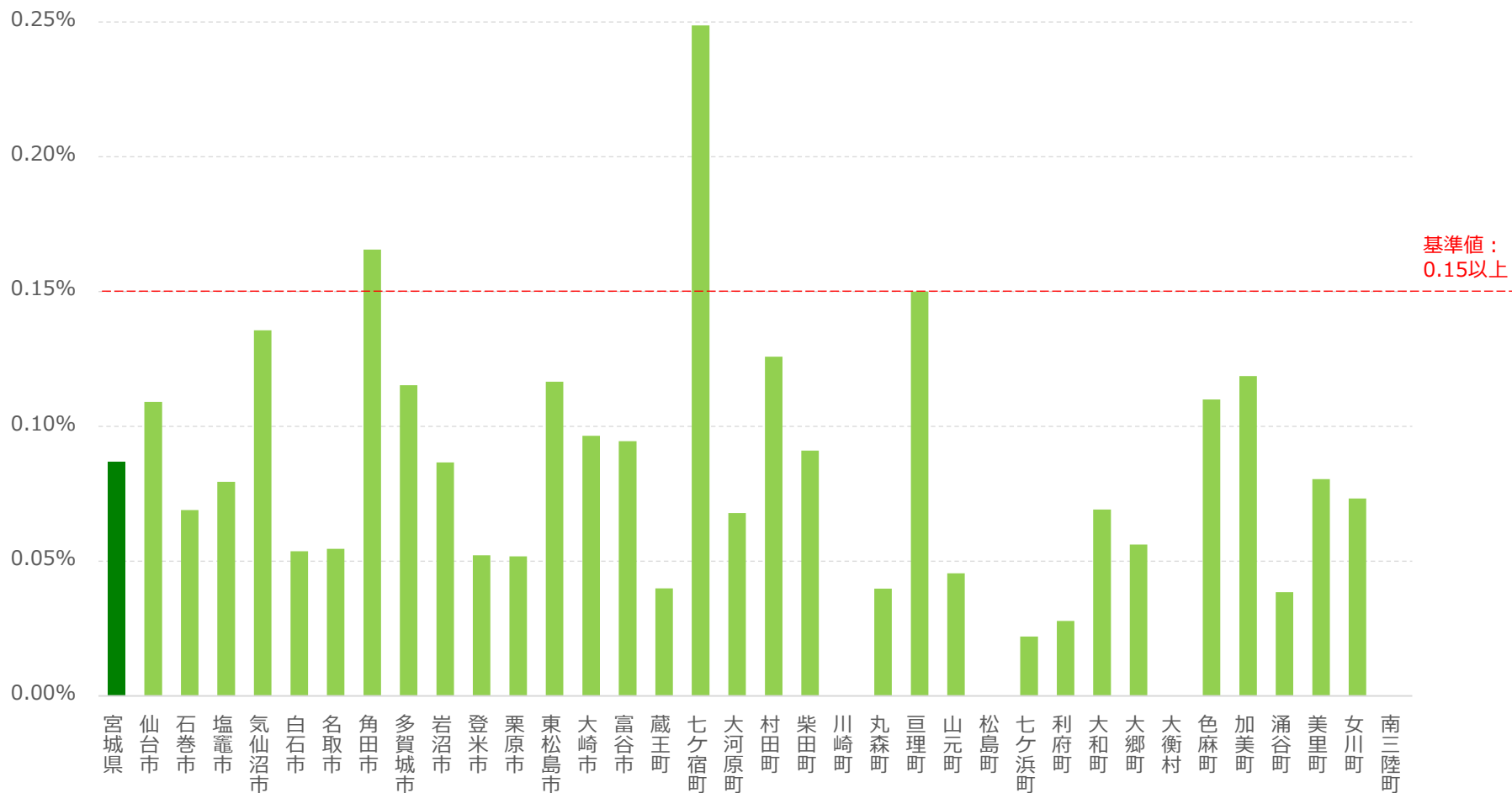
子宮頸がん検診 要精検率（2020-2022（3年平均）、20-74歳、女性、市町村別）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第33-1表 令和2年度～令和4年度における子宮頸がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標③（がん発見率） 3 年平均

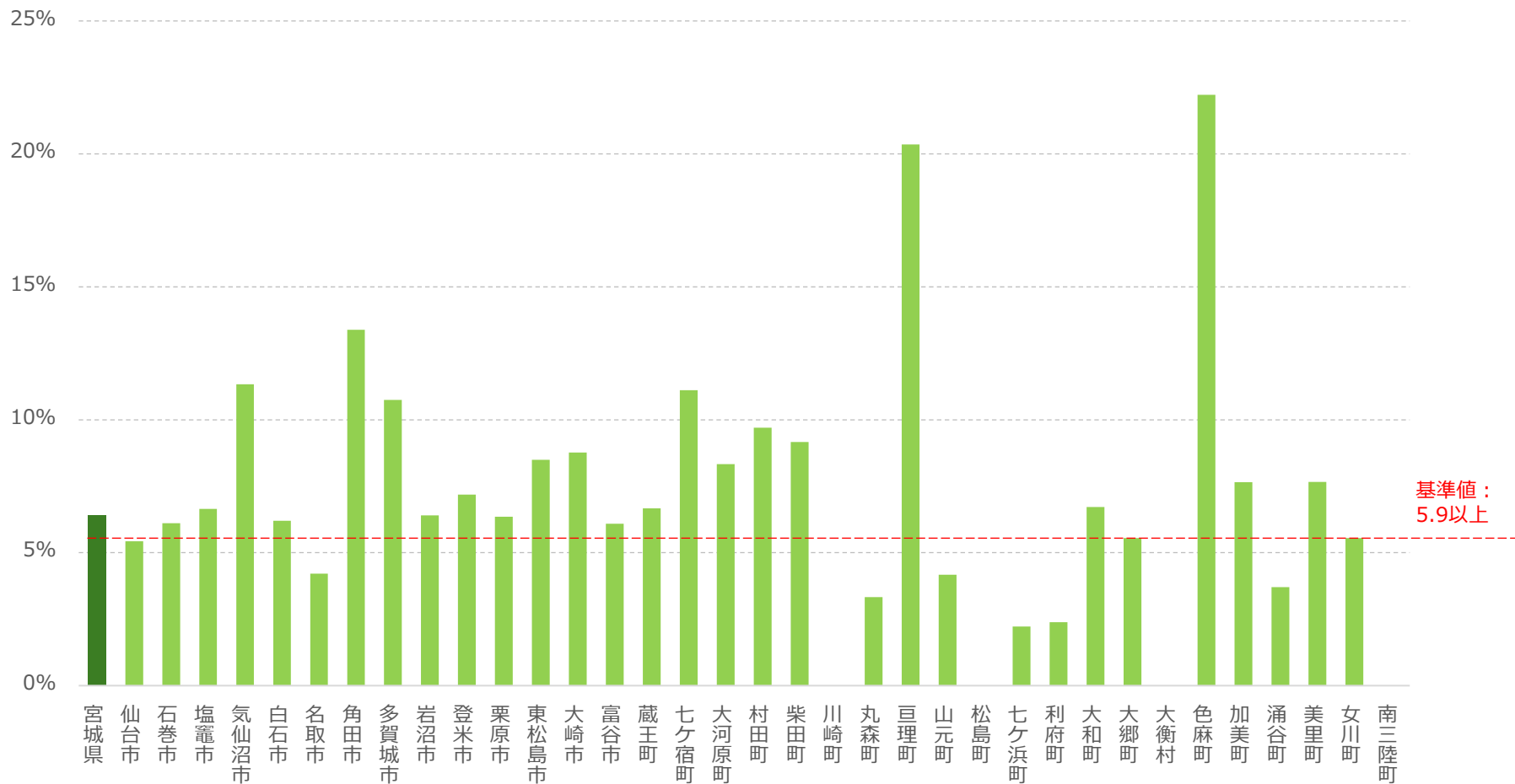
子宮頸がん検診 CIN3 以上 がん発見率（2020-2022（3 年平均）、20-74歳、女性、市町村別）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第33-1表 令和2～4年度における子宮頸がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標④（陽性反応適中度） 3年平均

子宮頸がん検診 CIN3以上 陽性反応適中度（2020-2022（3年平均）、20-74歳、女性、市町村別）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第33-1 令和2～4年度における子宮頸がん検診受診者数… から県で計算

市町村の各プロセス指標

3年平均 (2020-2022年度)

子宮頸がん	精検受診率	要精検率	がん発見率※	陽性反応適中度※	受診者数(20～74歳)	要精検者数	精検受診者数	異常なし	がん(転移性以外)	A I S	C I N 3	C I N 2	C I N 3、2 区別不能	C I N 1	疑い又は未確定	がん以外の疾患
仙台市	96.1%	2.02%	0.109%	5.43%	34546.3	699.0	671.3	389.0	4.0	7.0	26.7	49.3	0.7	185.0	8.7	1.0
石巻市	96.7%	1.14%	0.069%	6.11%	11071.0	127.0	123.3	18.3	2.3	0.7	4.7	14.0	0.0	44.0	0.7	38.7
塩竈市	89.0%	1.23%	0.079%	6.64%	2508.0	30.7	27.3	0.0	0.7	0.0	1.3	4.7	0.0	8.7	0.0	12.0
気仙沼市	96.2%	1.20%	0.136%	11.33%	3684.0	44.3	42.7	0.0	1.7	0.3	3.0	5.0	0.0	11.3	2.0	19.3
白石市	92.4%	0.85%	0.054%	6.20%	2515.0	21.3	19.7	0.0	0.0	0.0	1.3	2.7	0.0	7.0	0.0	8.7
名取市	98.4%	1.30%	0.055%	4.21%	4852.0	63.0	62.0	0.0	0.7	0.0	2.0	6.7	0.0	24.0	0.0	28.7
角田市	96.9%	1.18%	0.166%	13.39%	1797.0	21.3	20.7	0.0	0.3	0.7	2.0	2.7	0.0	5.3	0.0	9.7
多賀城市	94.0%	1.14%	0.115%	10.75%	3423.0	39.0	36.7	0.0	1.0	0.3	2.7	6.3	0.0	13.3	0.0	13.0
岩沼市	97.7%	1.37%	0.087%	6.41%	3479.3	47.7	46.7	0.0	0.3	0.0	2.7	6.0	0.0	16.3	0.0	21.3
登米市	93.6%	0.75%	0.052%	7.19%	7981.7	63.0	59.3	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7	0.0	17.7	0.0	28.7
栗原市	95.6%	0.82%	0.052%	6.35%	4498.0	37.0	35.3	0.0	0.0	0.3	2.0	4.3	0.0	12.3	0.0	16.3
東松島市	98.3%	1.19%	0.117%	8.49%	2551.0	30.3	30.0	0.0	0.0	0.3	2.7	3.7	0.0	8.3	0.0	15.0
大崎市	96.3%	1.08%	0.096%	8.77%	8194.7	88.7	85.3	0.0	1.3	0.3	6.3	9.7	0.0	29.7	0.0	38.0
富谷市	95.6%	1.50%	0.095%	6.08%	4858.3	73.0	70.0	6.0	1.3	0.0	3.3	7.0	0.0	30.7	0.0	21.7
蔵王町	95.2%	0.67%	0.040%	6.67%	890.7	6.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	2.7	0.0	2.7
七ヶ宿町	100.0%	1.27%	0.249%	11.11%	129.3	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.0	0.7
大河原町	95.5%	0.89%	0.068%	8.33%	1461.3	13.0	12.3	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	4.7	0.0	4.7
村田町	93.3%	1.11%	0.126%	9.70%	768.3	8.7	8.3	0.0	0.3	0.3	0.3	1.3	0.0	2.7	0.0	3.3
柴田町	97.2%	1.03%	0.091%	9.17%	2571.7	26.3	25.7	0.0	0.0	0.3	2.0	3.0	0.0	9.7	0.0	10.7
川崎町	100.0%	0.61%	0.000%	0.00%	759.0	4.7	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.3	1.0	1.3
丸森町	93.3%	0.83%	0.040%	3.33%	845.7	7.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.3	1.0	0.0	1.0	0.0	4.3
亘理町	93.2%	0.73%	0.150%	20.35%	2005.0	14.7	13.3	0.0	0.7	0.0	2.3	1.7	0.0	4.3	0.0	4.3
山元町	100.0%	0.95%	0.045%	4.17%	780.3	7.3	7.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	3.7	0.0	3.3
松島町	88.0%	0.75%	0.000%	0.00%	933.7	7.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	3.3	0.0	1.7
七ヶ浜町	92.5%	1.30%	0.022%	2.22%	1373.0	17.3	16.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	7.3	0.0	7.7
利府町	96.3%	0.90%	0.028%	2.38%	2368.3	21.3	20.7	0.0	0.3	0.0	0.3	3.0	0.0	4.0	0.0	13.0
大和町	98.4%	0.97%	0.069%	6.72%	1884.3	18.3	18.0	0.0	0.0	0.0	1.3	4.0	0.0	7.7	0.0	5.0
大郷町	94.4%	0.59%	0.056%	5.56%	553.3	3.3	3.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.7
大衡村	88.9%	0.68%	0.000%	0.00%	450.0	3.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.0	0.0	1.3
色麻町	96.3%	0.93%	0.110%	22.22%	575.7	5.3	5.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.7	0.0	2.3	0.0	1.3
加美町	97.2%	1.67%	0.119%	7.66%	1103.7	18.3	17.7	0.0	0.3	0.0	1.0	3.0	0.0	4.7	0.0	8.7
涌谷町	96.3%	1.07%	0.038%	3.70%	899.7	9.7	9.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	3.3	0.0	5.0
美里町	93.8%	0.95%	0.080%	7.66%	1646.3	15.7	14.7	0.0	0.7	0.0	0.7	2.3	0.0	3.7	0.0	7.3
女川町	95.2%	1.56%	0.073%	5.56%	448.7	7.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	1.0	0.0	5.0
南三陸町	81.1%	1.43%	0.000%	0.00%	994.3	14.3	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	3.3	0.0	8.0
県総計	95.8%	1.35%	0.087%	6.42%	119401.7	1615.3	1547.3	413.3	16.3	11.0	76.7	157.3	0.7	486.7	12.3	373.0


出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第33-1表から県で3年平均を計算 ※ CIN3以上(がん+AIS+CIN3)

プロセス指標のまとめ

- 精密検査受診率は高く、精密検査の未受診率・未把握率は全国より低く推移している。
- 要精検率は、全国より低く推移し、がん発見率も、全国より低く推移している。



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見をお願いします

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
-  4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

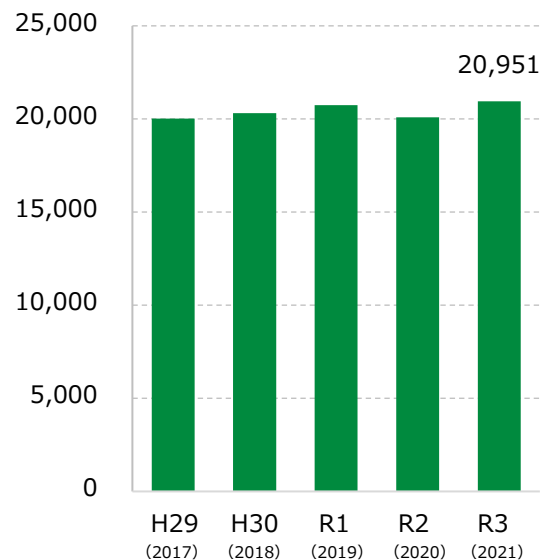
がん罹患数の推移 全部位（宮城県）

罹患数 男女計 全部位（上皮内がん含む）

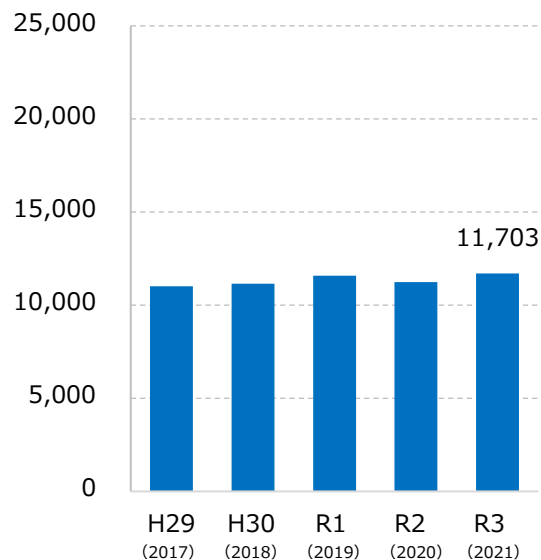
（参考）全国

宮城県	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
計	20,015	20,316	20,736	20,092	20,951	1,107,555
男	11,022	11,153	11,575	11,237	11,703	609,955
女	8,993	9,163	9,161	8,855	9,248	497,600

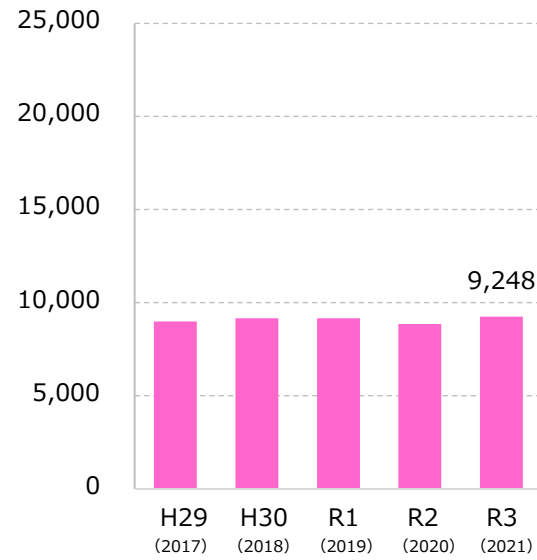
総数（男女計）



男性

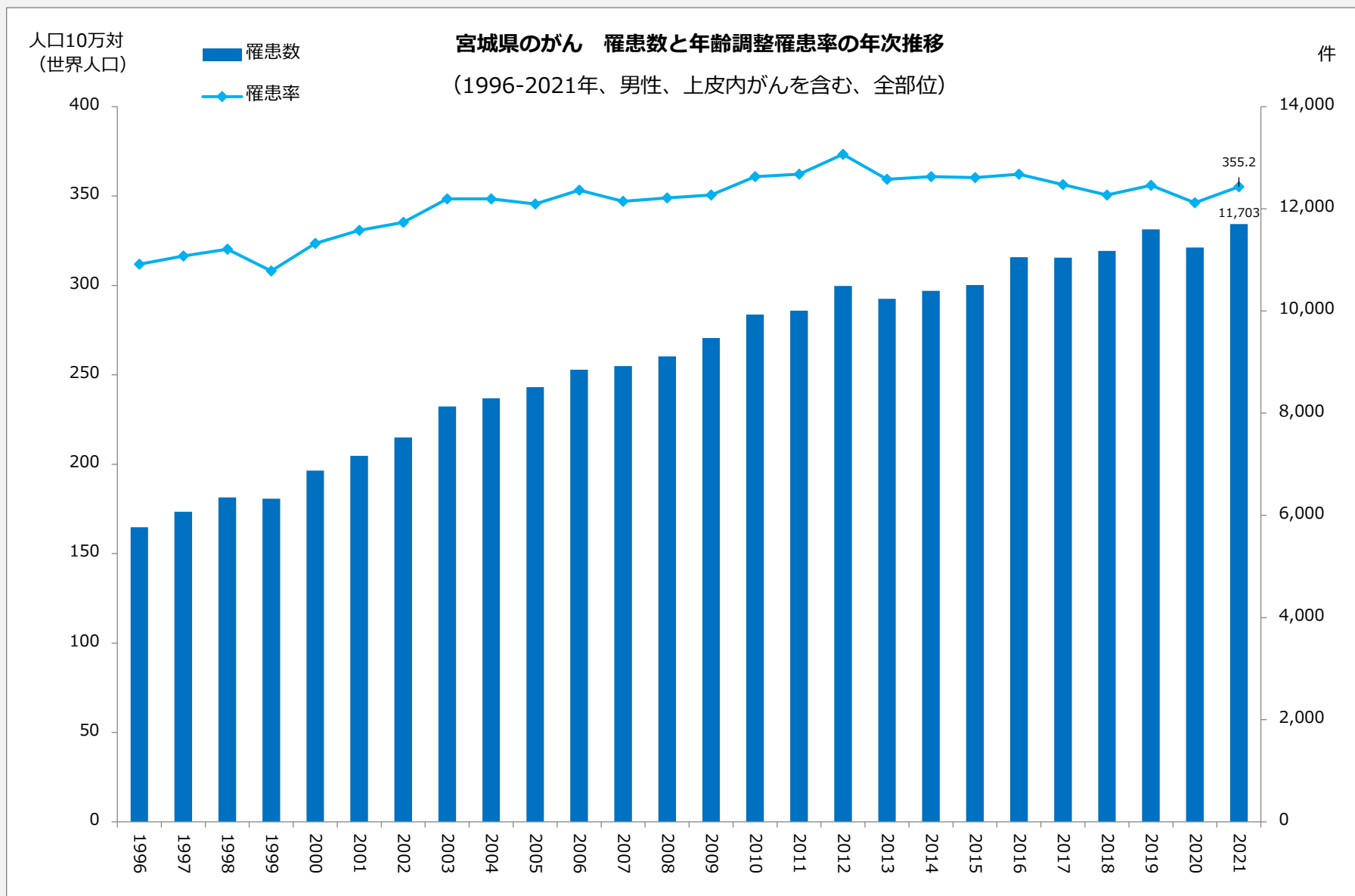


女性



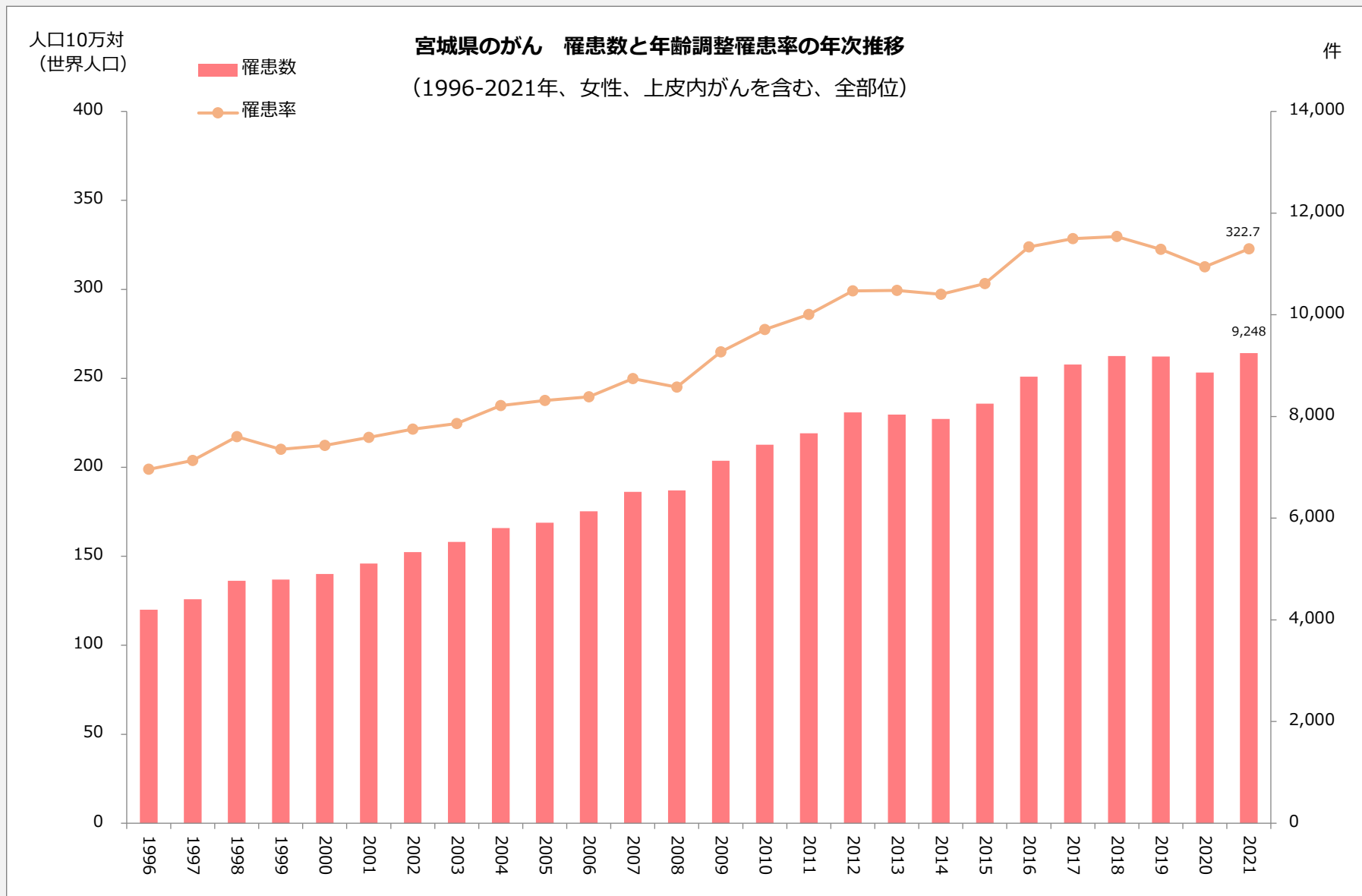
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率2017年-2021年

罹患数と年齢調整罹患率の年次推移 (宮城県・男性・全部位)



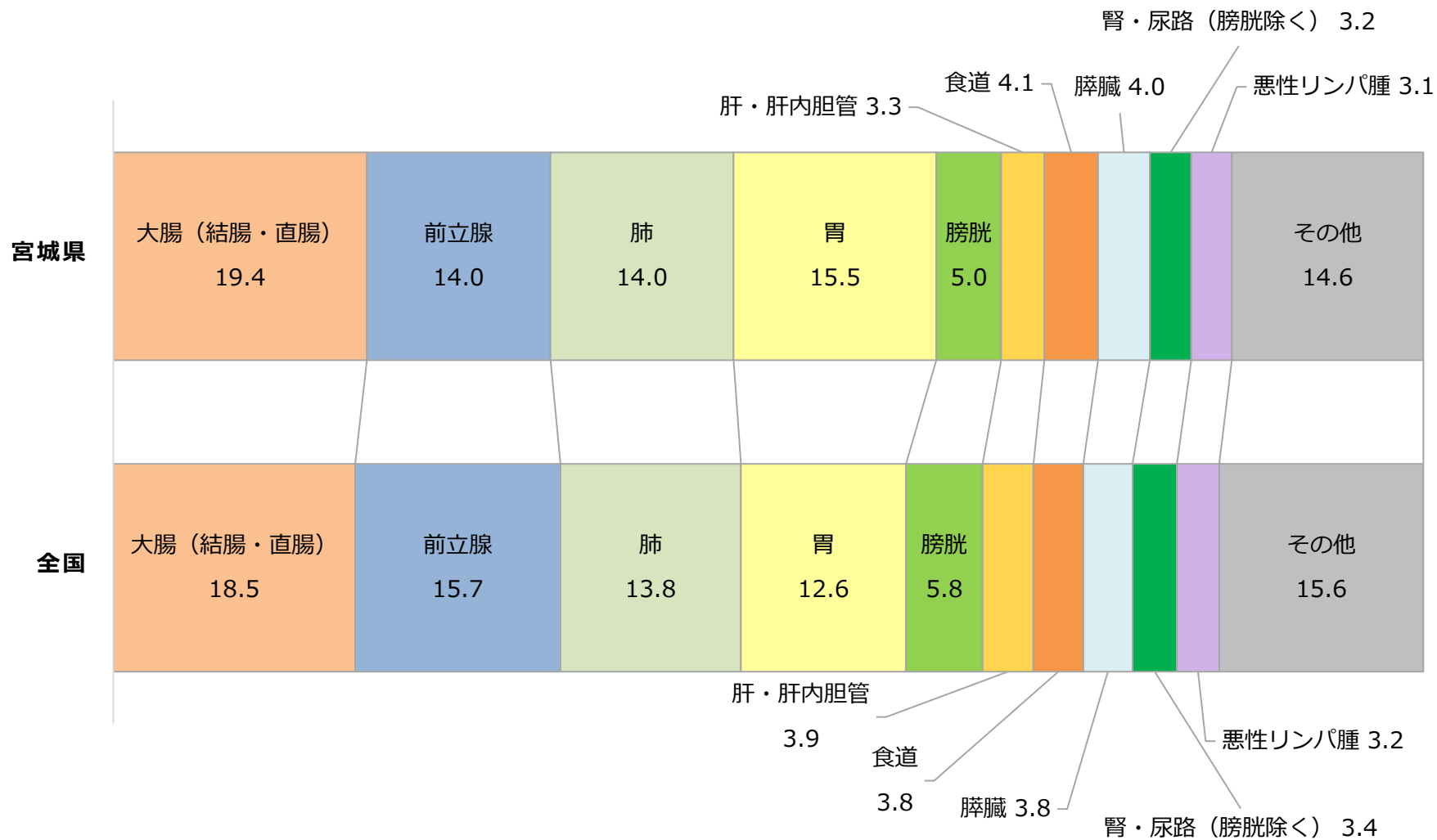
出典： 宮城県がん登録情報（宮城県がん登録室集計・再集計値）

罹患数と年齢調整罹患率の年次推移（宮城県・女性・全部位）



部位別がん罹患割合 男性（全国と宮城県）

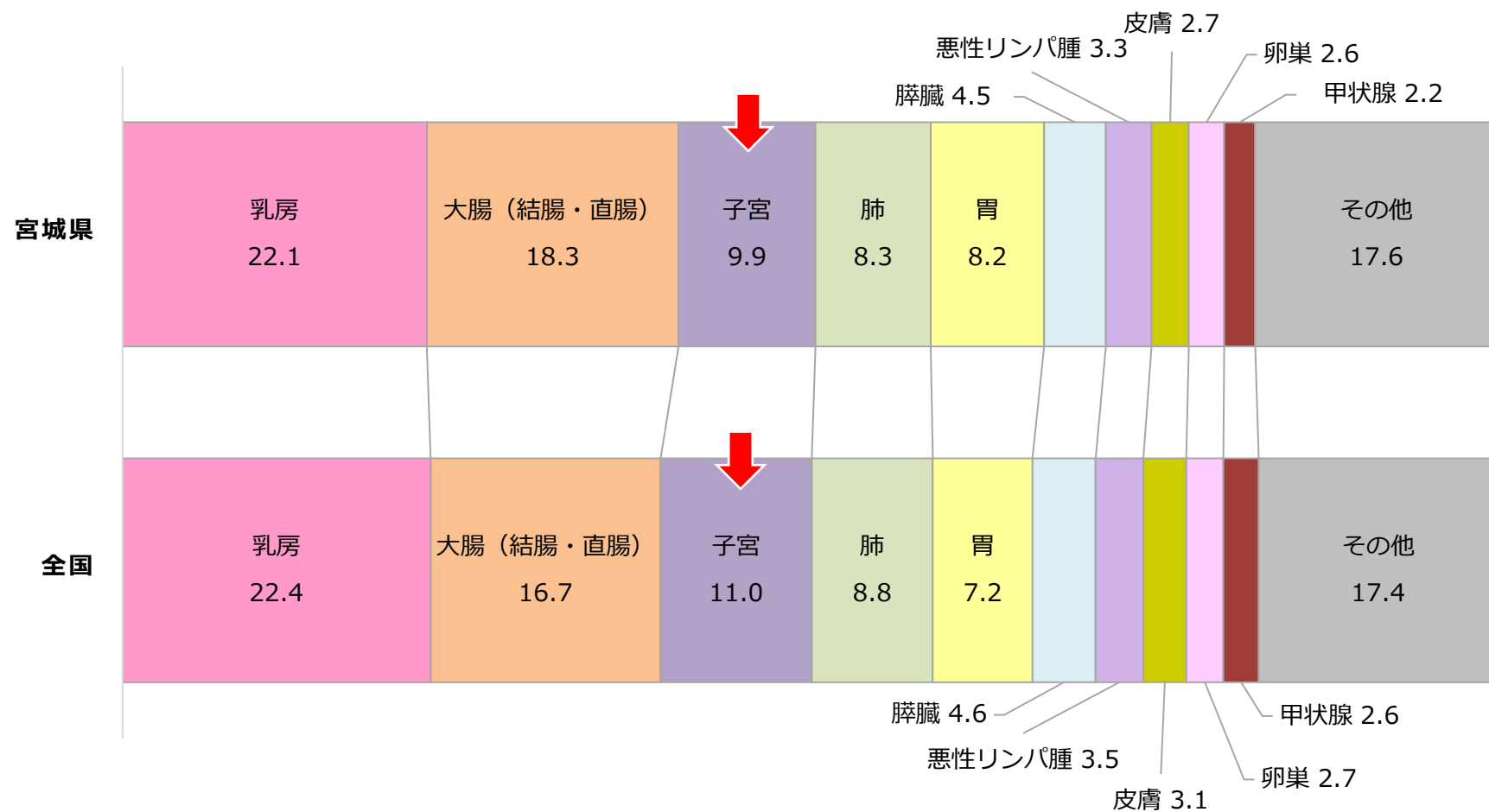
がんの発生割合（2021年 男）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

部位別がん罹患割合 女性（全国と宮城県）

がんの発生割合（2021年 女）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

部位別のがん罹患数（全国と宮城県）

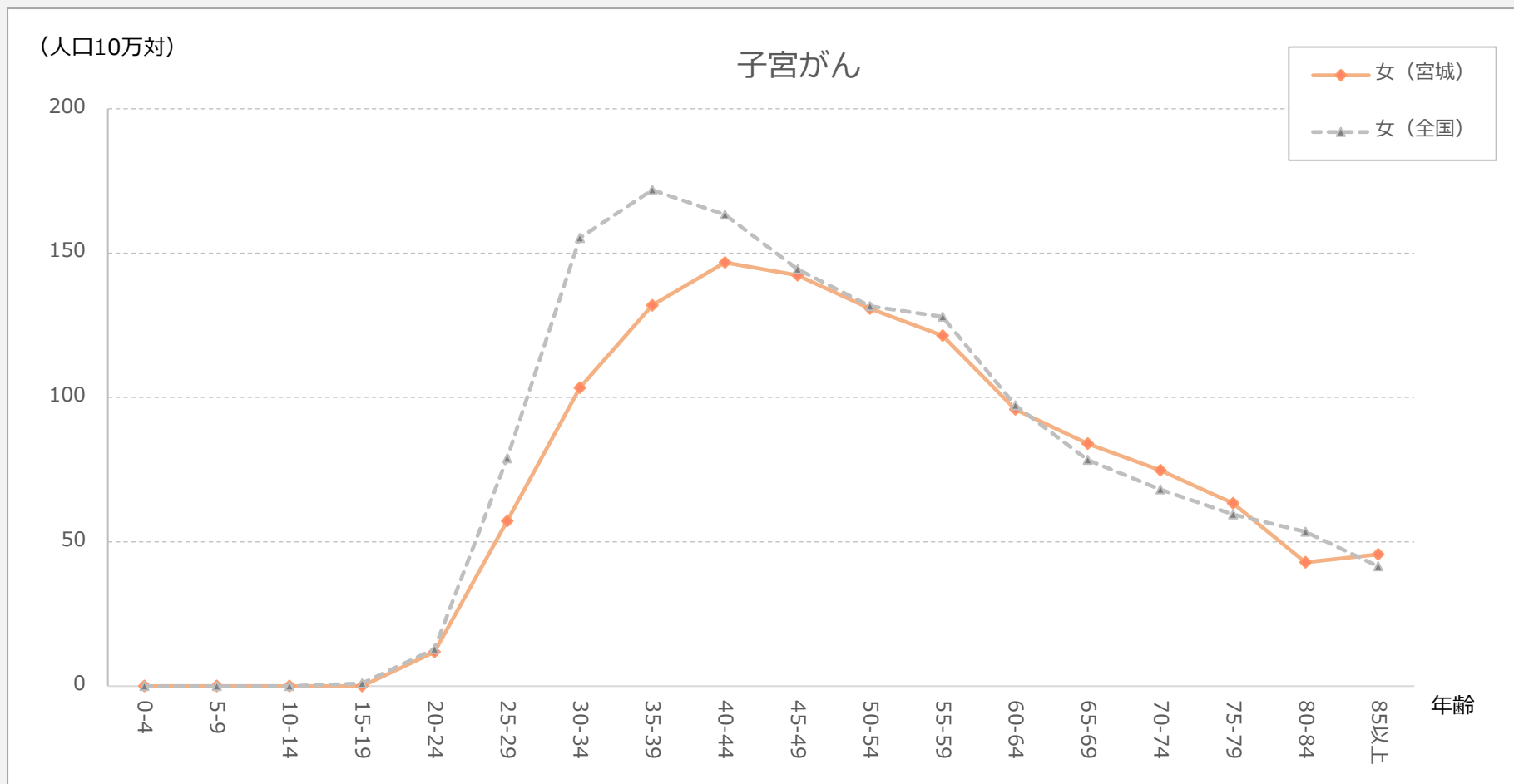
部位別罹患数（R3（2021）年）（上皮内がん含む）

部位	全国				宮城県			
	男		女		男		女	
	罹患数	%	罹患数	%	罹患数	%	罹患数	%
口腔・咽頭	16,037	2.6	6,744	1.4	278	2.4	121	1.3
食道	23,209	3.8	5,571	1.1	480	4.1	119	1.3
胃	76,828	12.6	36,053	7.2	1,811	15.5	761	8.2
大腸（結腸・直腸）	112,587	18.5	83,227	16.7	2,265	19.4	1,688	18.3
肝・肝内胆管	23,677	3.9	10,998	2.2	385	3.3	205	2.2
胆のう・胆管	11,729	1.9	9,888	2.0	260	2.2	199	2.2
膵臓	22,950	3.8	22,869	4.6	463	4.0	414	4.5
喉頭	4,359	0.7	412	0.1	80	0.7	9	0.1
肺	84,051	13.8	43,816	8.8	1,635	14.0	772	8.3
皮膚	15,750	2.6	15,492	3.1	254	2.2	250	2.7
乳房	719	0.1	111,492	22.4	9	0.1	2,040	22.1
子宮	-	-	54,684	11.0	-	-	918	9.9
卵巣	-	-	13,456	2.7	-	-	237	2.6
前立腺	95,584	15.7	-	-	1,641	14.0	-	-
膀胱	35,669	5.8	9,928	2.0	580	5.0	192	2.1
腎・尿路（膀胱除く）	20,628	3.4	9,995	2.0	370	3.2	194	2.1
脳・中枢神経系	3,124	0.5	2,617	0.5	49	0.4	50	0.5
甲状腺	4,727	0.8	12,807	2.6	73	0.6	208	2.2
悪性リンパ腫	19,713	3.2	17,268	3.5	362	3.1	306	3.3
多発性骨髄腫	4,197	0.7	3,559	0.7	80	0.7	56	0.6
白血病	8,597	1.4	6,211	1.2	153	1.3	99	1.1
その他	25,820	4.2	20,513	4.1	475	4.1	410	4.4
全部位	609,955	100.0	497,600	100.0	11,703	100.0	9,248	100.0

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

子宮がん 罹患率（年齢階級別）（全国と宮城県）

年齢階級別罹患率 2021（R3）年（上皮内がんを含む）



子宮頸部	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85—
女（宮城）	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9	57.1	103.3	131.9	146.8	142.4	130.8	121.4	95.9	84.0	74.7	63.3	42.9	45.7
女（全国）	0.0	0.0	0.0	0.9	12.9	79.0	155.2	171.9	163.3	144.5	131.6	128.0	97.2	78.3	68.2	59.5	53.5	41.5

各部位 年齢階級別罹患数（上皮内がんを含む）男性（2021，宮城県）

	男性	0-14歳	15-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
口腔・咽頭	278	0	0	5	15	42	86	89	41
食道	480	0	0	0	4	42	115	202	117
胃	1,811	0	0	1	22	85	395	810	498
大腸（結腸・直腸）	2,265	0	6	14	101	243	581	828	492
肝・肝内胆管	385	0	0	0	10	29	101	135	110
胆のう・胆管	260	0	0	2	3	8	44	84	119
膵臓	463	0	1	0	12	27	94	187	142
喉頭	80	0	0	0	1	5	27	32	15
肺	1,635	0	1	2	23	82	349	678	500
皮膚	254	0	0	4	6	11	38	75	120
乳房	9	0	0	0	0	0	2	6	1
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前立腺	1,641	0	0	1	4	74	393	715	454
膀胱	580	0	0	2	11	34	126	210	197
腎・尿路（膀胱除く）	370	0	1	3	15	41	98	120	92
脳・中枢神経系	49	2	3	2	4	6	11	12	9
甲状腺	73	0	2	7	9	13	19	17	6
悪性リンパ腫	362	5	5	4	20	22	96	113	97
多発性骨髄腫	80	0	0	0	3	8	17	31	21
白血病	153	6	3	8	11	22	26	44	33
その他	475	3	15	23	42	63	102	132	95
全部位	11,703	16	37	78	316	857	2,720	4,520	3,159

各部位 年齢階級別罹患数（上皮内がんを含む）女性（2021，宮城県）

	女性	0-14歳	15-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
口腔・咽頭	121	0	1	6	11	13	26	28	36
食道	119	0	0	0	5	8	30	35	41
胃	761	0	0	8	23	33	113	273	311
大腸（結腸・直腸）	1,688	0	3	23	68	171	318	499	606
肝・肝内胆管	205	0	0	2	2	11	25	55	110
胆のう・胆管	199	0	0	0	0	10	22	43	124
膵臓	414	0	1	4	8	18	64	130	189
喉頭	9	0	0	0	0	0	2	4	3
肺	772	0	0	3	15	50	148	272	284
皮膚	250	0	0	0	8	13	23	56	150
乳房	2,040	0	8	88	382	392	416	469	285
子宮	918	0	39	153	234	187	138	106	61
卵巣	237	3	5	15	47	53	57	39	18
前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膀胱	192	0	1	1	6	11	34	45	94
腎・尿路（膀胱除く）	194	1	0	2	7	11	36	66	71
脳・中枢神経系	50	1	0	0	4	8	9	8	20
甲状腺	208	0	7	19	41	39	41	36	25
悪性リンパ腫	306	0	5	10	13	23	61	99	95
多発性骨髄腫	56	0	0	1	0	3	4	22	26
白血病	99	7	4	2	8	12	19	20	27
その他	410	3	5	10	33	54	79	101	125
全部位	9,248	15	79	347	915	1,120	1,665	2,406	2,701

主な部位別のがん罹患数の直近の年次推移（宮城県）

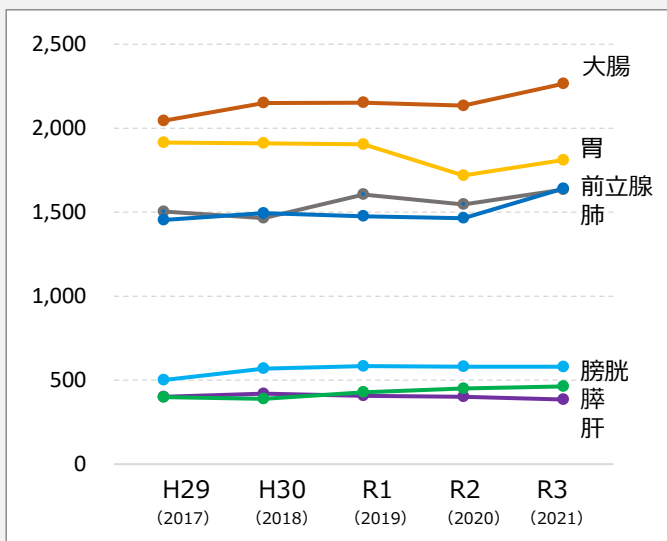
部位別がん罹患数の推移（男）

男	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
胃	1,915	1,911	1,904	1,719	1,811
肺	1,504	1,465	1,606	1,547	1,635
肝臓	401	420	407	402	385
膵臓	399	389	428	450	463
大腸	2,045	2,151	2,153	2,135	2,265
前立腺	1,454	1,494	1,476	1,465	1,641
膀胱	501	569	584	581	580

令和3(2021)年
部位別がん罹患数の順位（男）

順位	宮城県	全国
1位	大腸がん	大腸がん
2位	胃がん	前立腺がん
3位	前立腺がん	肺がん
4位	肺がん	胃がん
5位	膀胱がん	膀胱がん

部位別がん罹患数の推移（男）



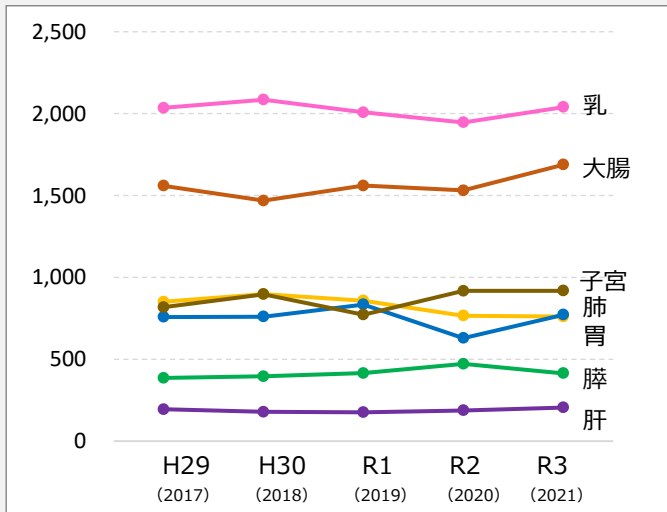
部位別がん罹患数の推移（女）

女	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
胃	851	898	858	766	761
肺	758	760	834	629	772
肝臓	194	179	176	188	205
膵臓	386	396	415	472	414
大腸	1,559	1,469	1,560	1,531	1,688
子宮	818	897	772	917	918
乳房	2,035	2,085	2,008	1,946	2,040

令和3(2021)年
部位別がん罹患数の順位（女）

順位	宮城県	全国
1位	乳がん	乳がん
2位	大腸がん	大腸がん
3位	子宮がん	子宮がん
4位	肺がん	肺がん
5位	胃がん	胃がん

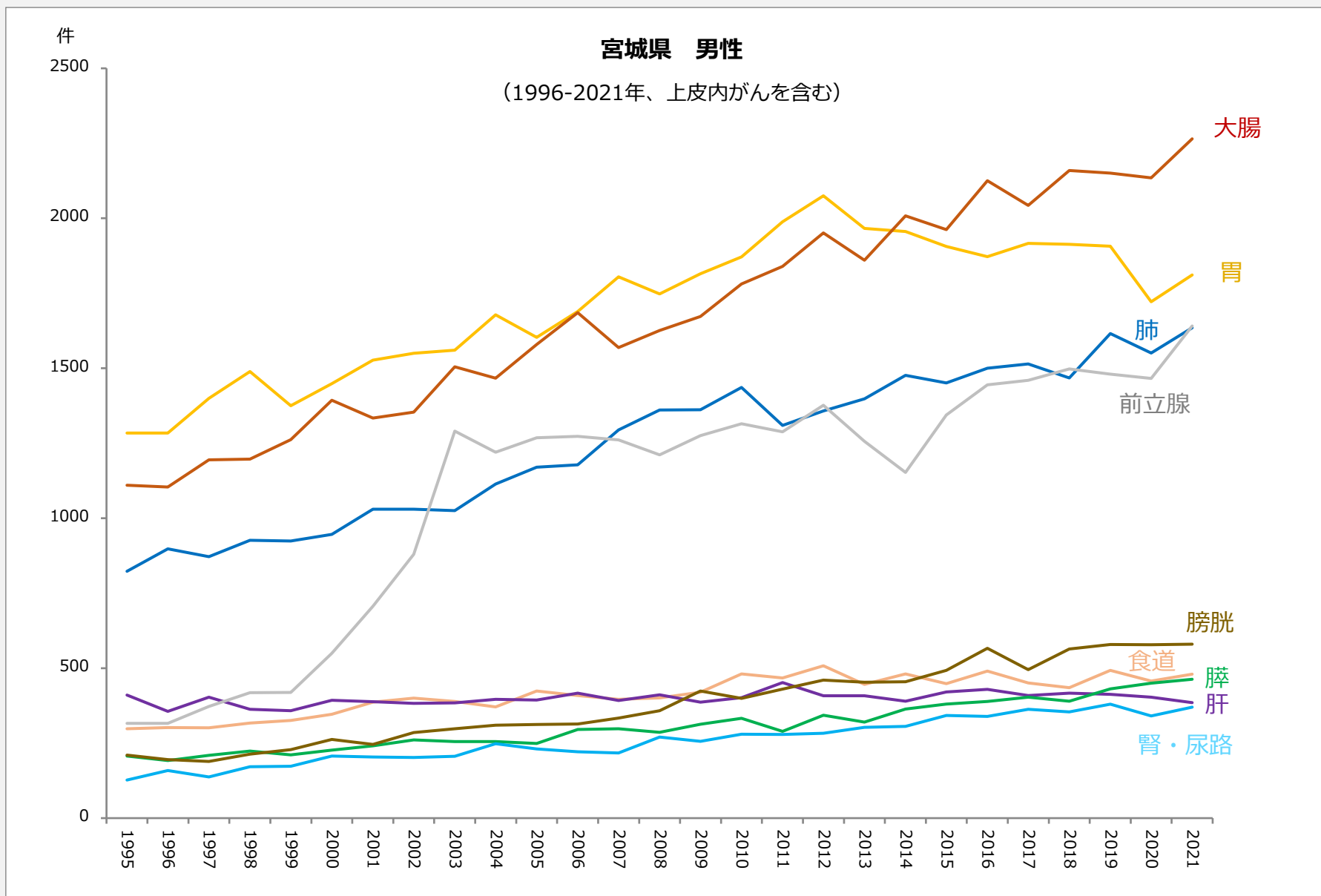
部位別がん罹患数の推移（女）



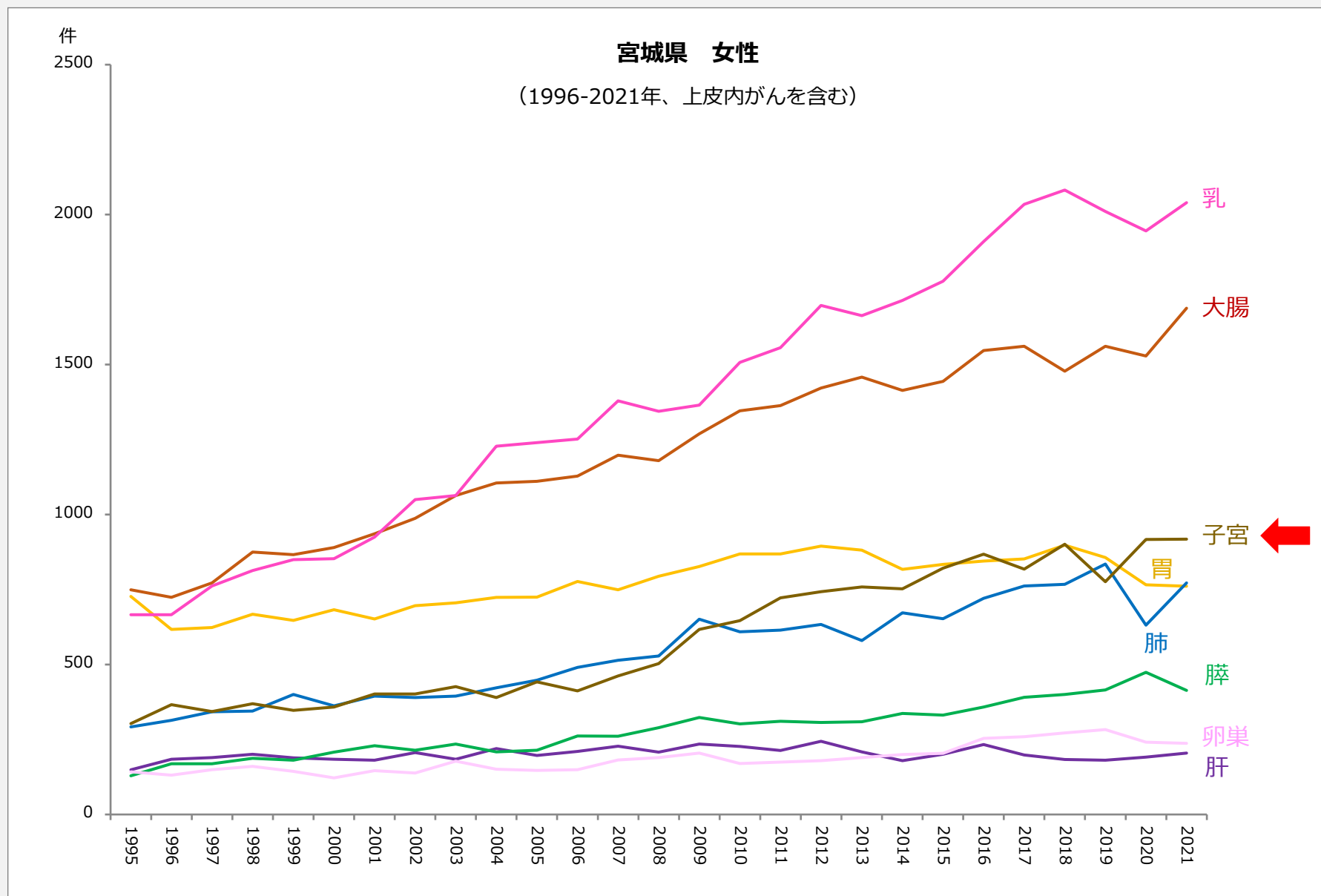
出典：
国立がん研究センターがん情報サービス
「がん統計」（全国がん登録）

(余 白)

部位別のがん罹患数の年次推移（宮城県・男性）

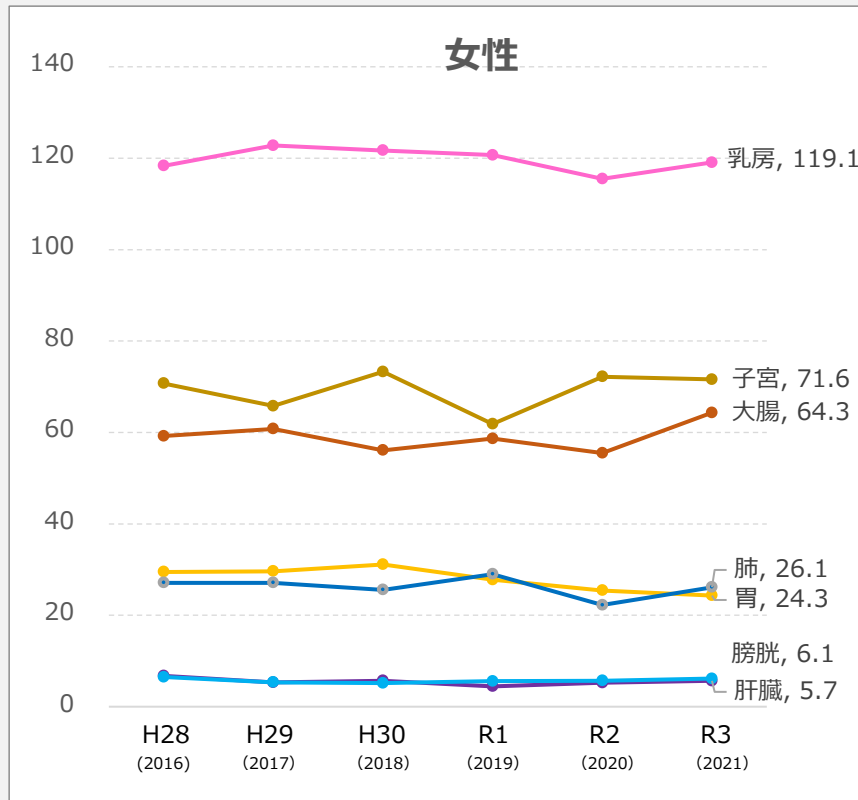
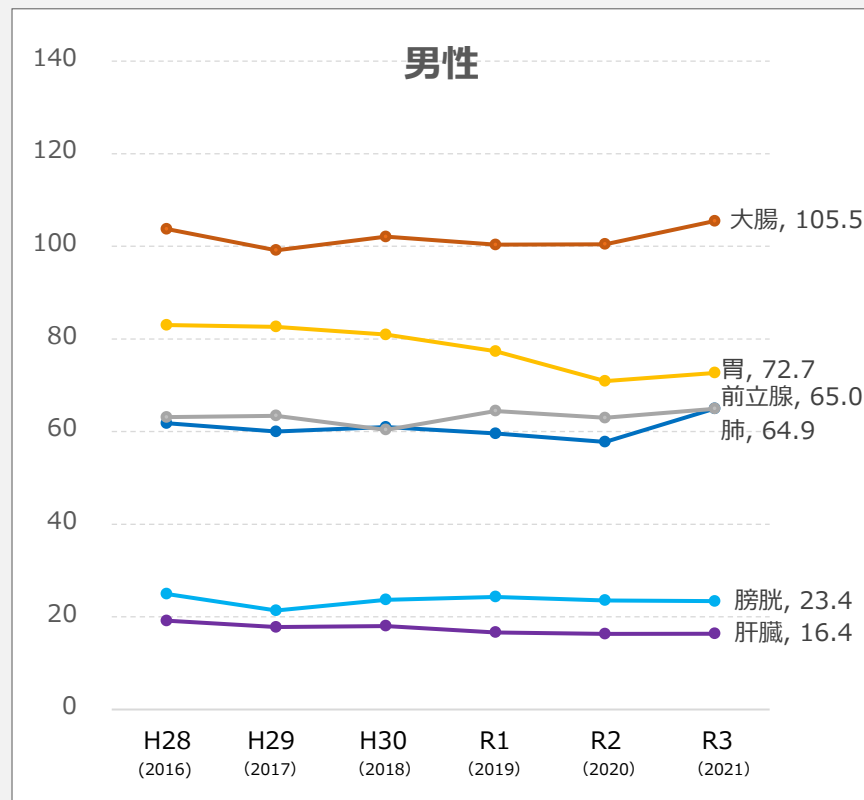


部位別のがん罹患数の年次推移（宮城県・女性）



主な部位別 年齢調整罹患率の年次推移 男女別（宮城県）

部位別 年齢調整罹患率（人口10万人対）（男女別）、宮城県



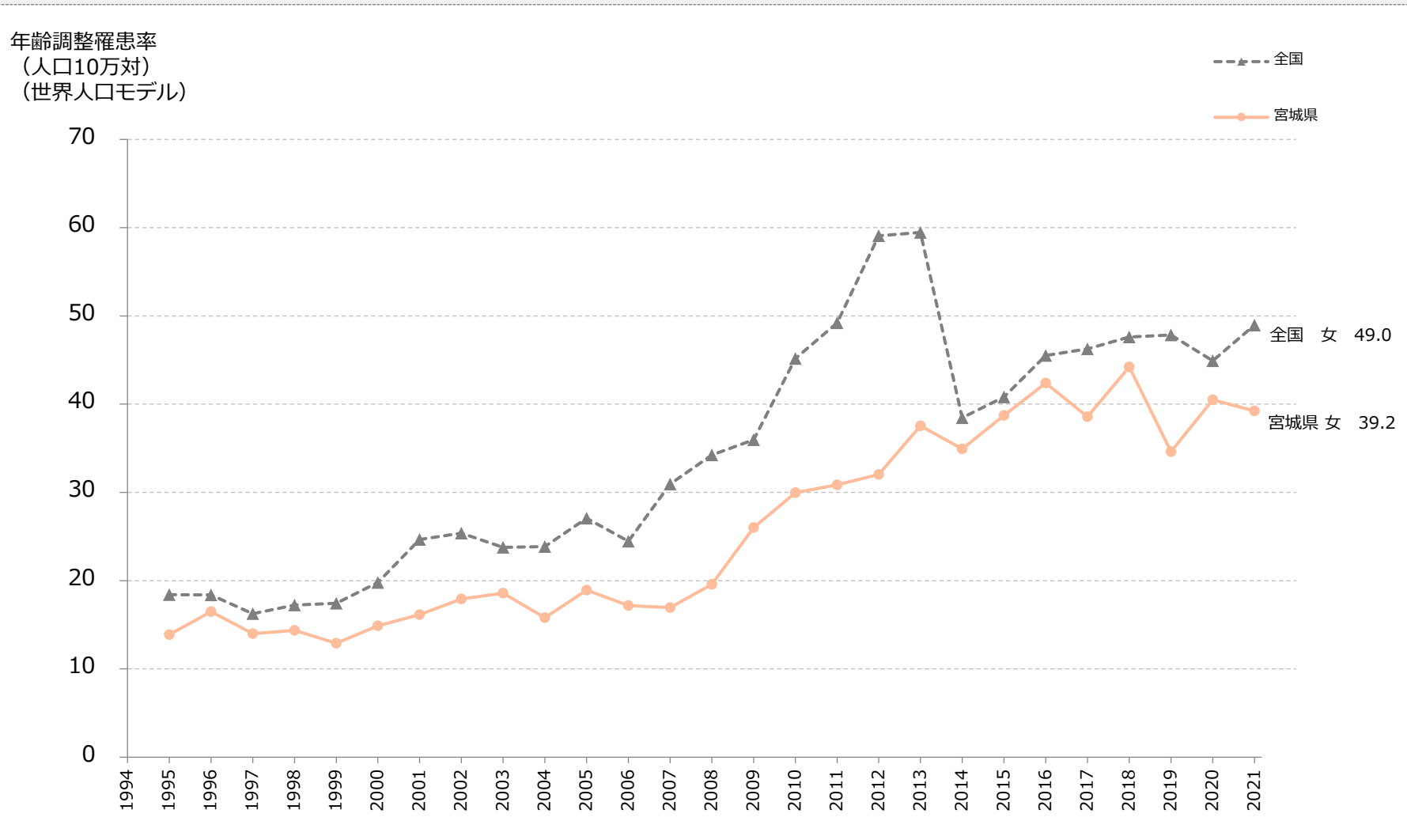
男性	宮城県						全国
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
胃	83.0	82.6	80.9	77.3	70.9	72.7	55.5
肝臓	19.2	17.8	18.0	16.6	16.3	16.4	17.2
前立腺	61.8	60.0	61.0	59.6	57.8	65.0	67.9
肺	63.1	63.4	60.4	64.5	63.0	64.9	60.6
膀胱	25.0	21.4	23.7	24.3	23.6	23.4	25.4
大腸	103.7	99.2	102.1	100.4	100.5	105.5	95.2

女性	宮城県						全国
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
胃	29.5	29.6	31.1	27.8	25.4	24.3	20.7
肝臓	6.7	5.3	5.7	4.4	5.2	5.7	5.4
肺	27.1	27.1	25.6	29.0	22.2	26.1	26.9
乳房	118.3	122.8	121.7	120.7	115.5	119.1	117.5
子宮	70.7	65.8	73.3	61.8	72.2	71.6	81.9
膀胱	6.5	5.3	5.2	5.6	5.7	6.1	5.4
大腸	59.2	60.8	56.1	58.6	55.5	64.3	57.0

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
（昭和60年日本人モデル人口）

子宮頸がん 年齢調整罹患率の推移 (全国・宮城県)

子宮頸がん 年齢調整罹患率 年次推移 (1995-2021, 男女別)



出典 全 国 : 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録・地域がん登録全国実測値・高精度地域実測値・全国推計値)

宮城県 : 宮城県がん登録情報(宮城県がん登録室集計・再集計値)

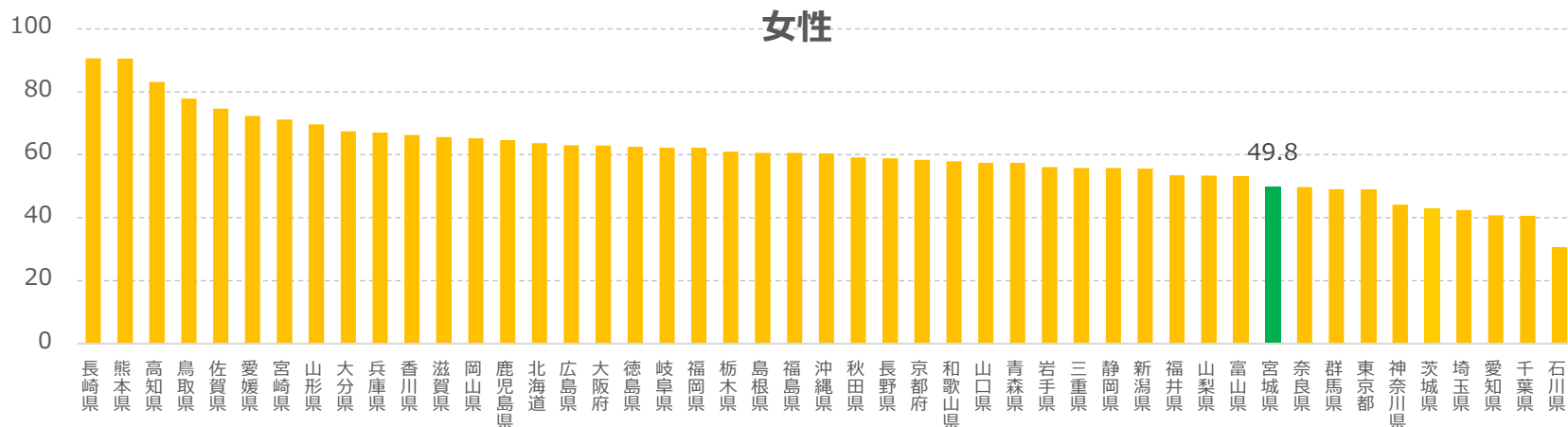
注意 上記グラフで、前ページの年齢調整死亡率の値と異なる理由は、世界人口モデルで計算しているため(長期的な傾向を把握するため)

子宮頸がん 年齢調整罹患率（女性） 都道府県別

2020（R2）年（子宮頸がん 年齢調整罹患率）

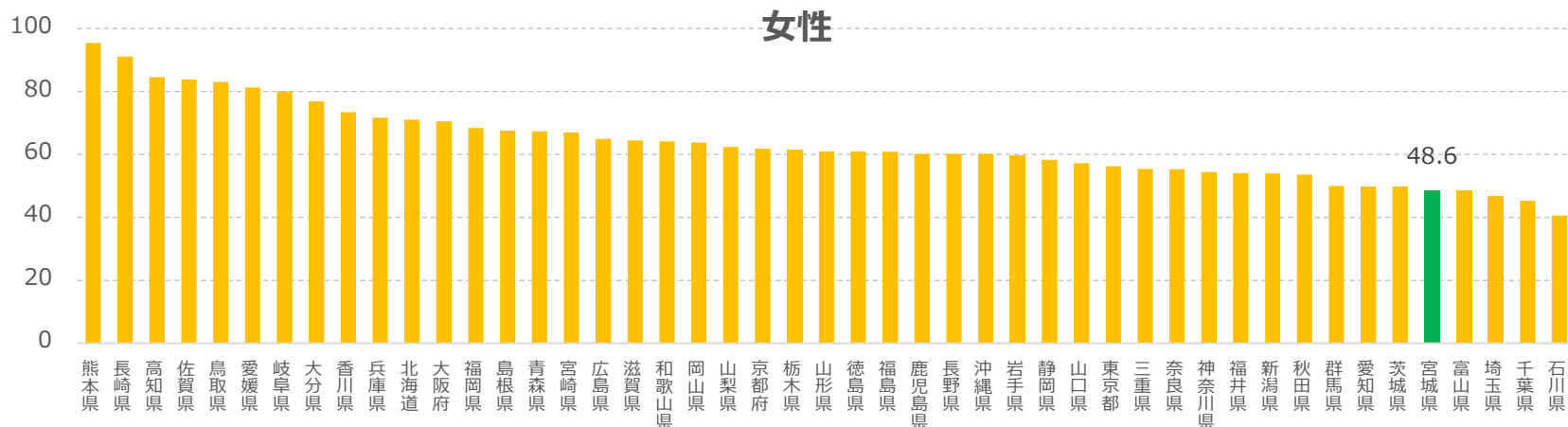
年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）

2020
（R2）



2021（R3）年（子宮頸がん 年齢調整罹患率）

2021
（R3）



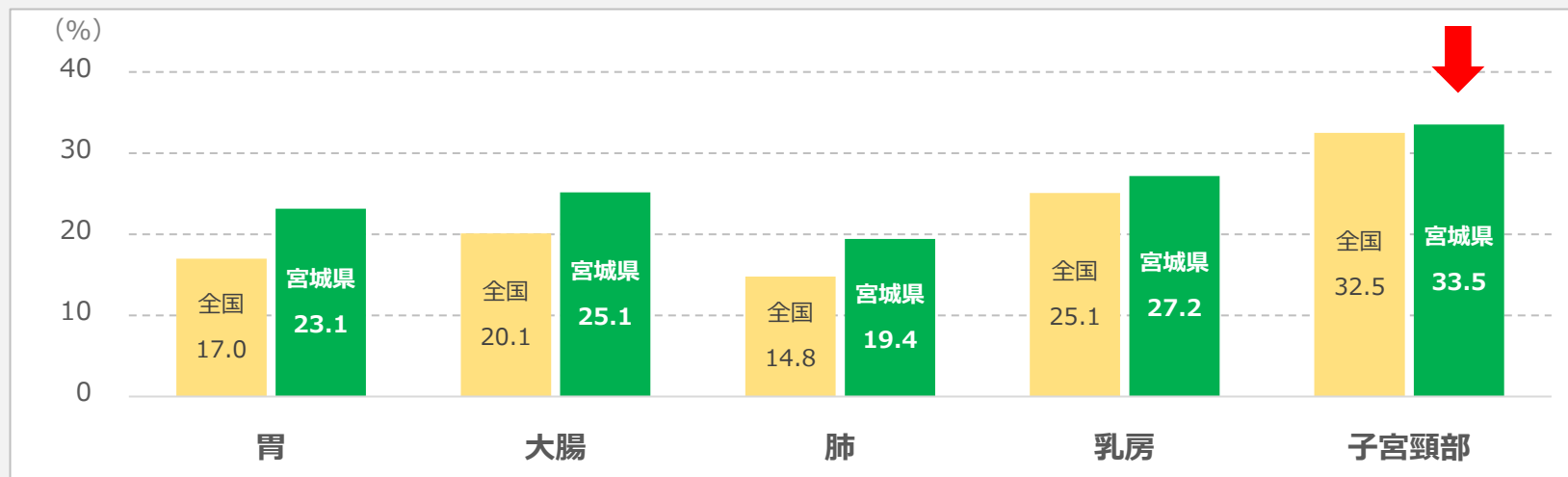
(余 白)

がん検診発見割合（全国・宮城県）

2020（R2）年（全国・宮城県，男女計）

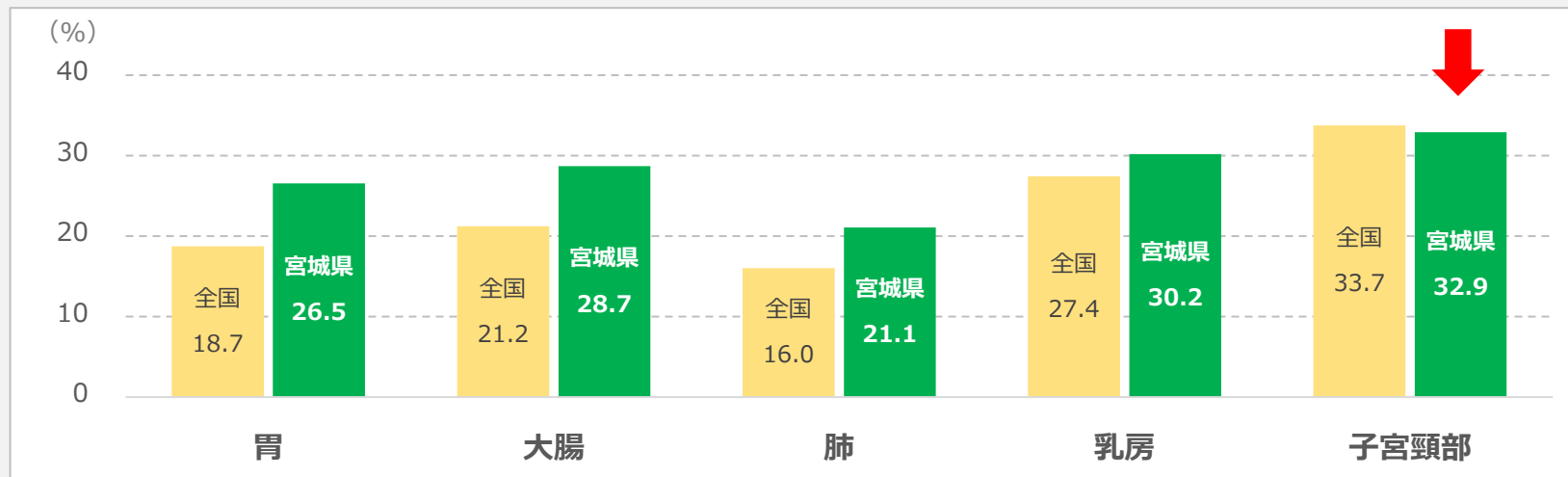
（上皮内がんを含む DCO：死亡情報のみで登録された症例を除く）

2020
(R2)



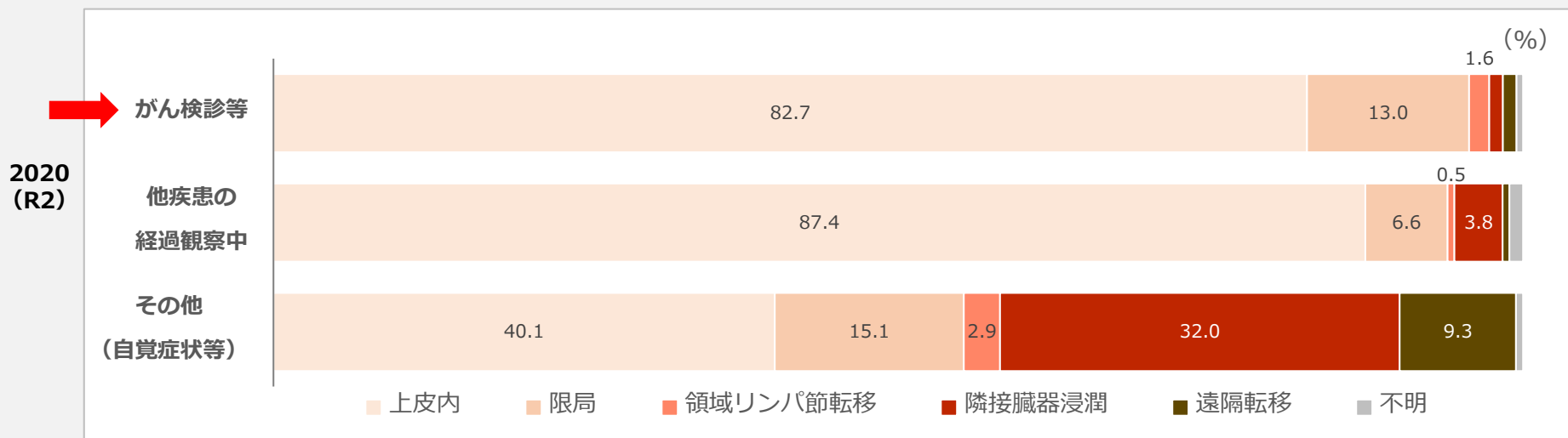
2021（R3）年（全国・宮城県，男女計）

2021
(R3)

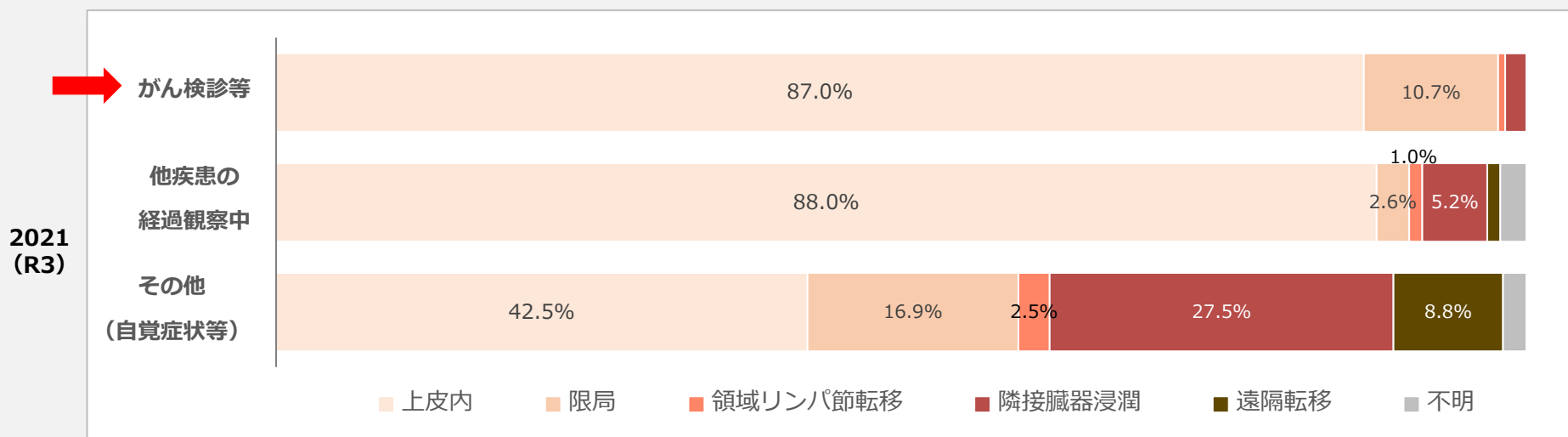


子宮頸がんの発見経緯と進展度 女性（宮城県）

2020（R2）年（子宮頸がん 宮城県，女性）

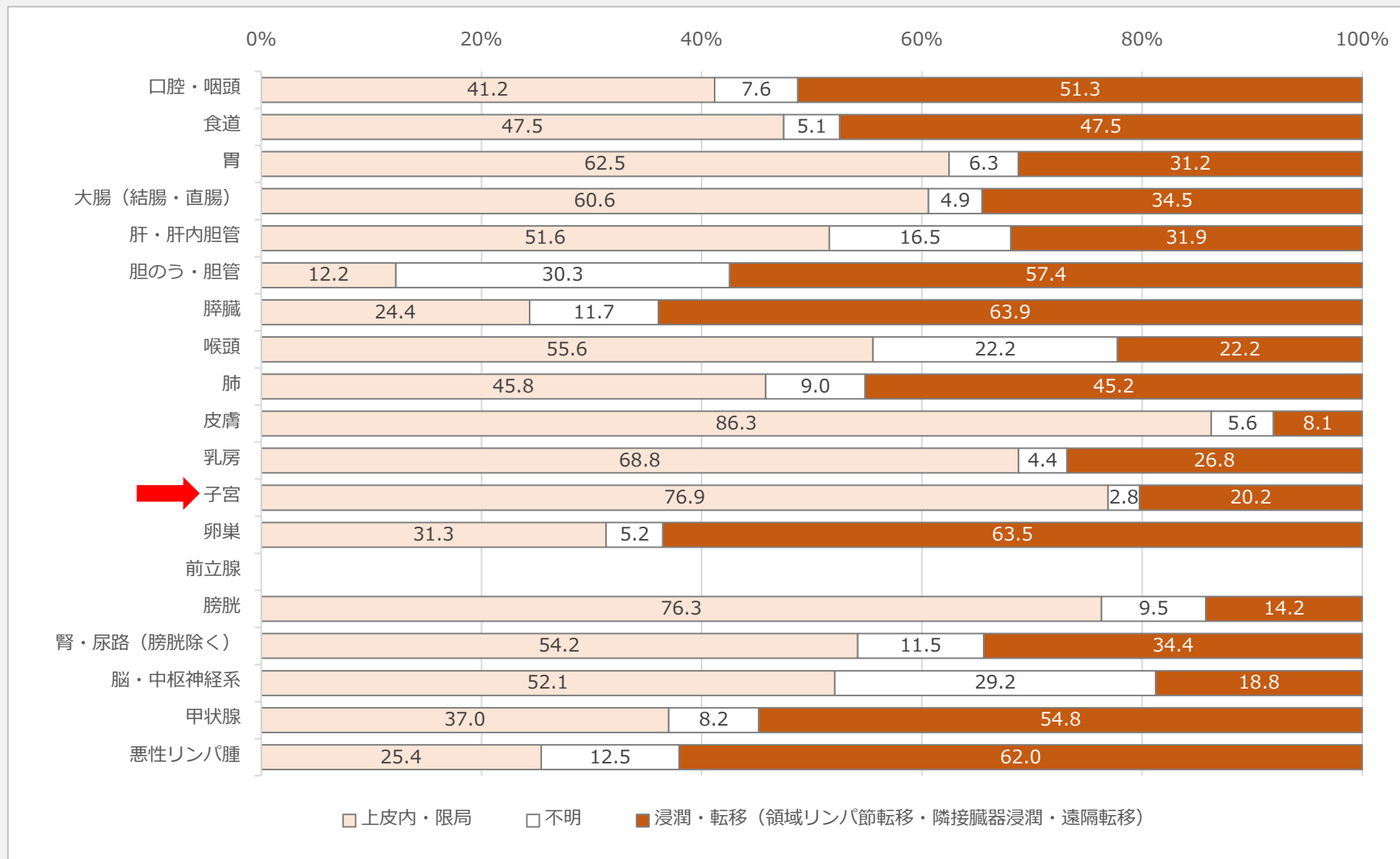


2021（R3）年（子宮頸がん 宮城県，女性）



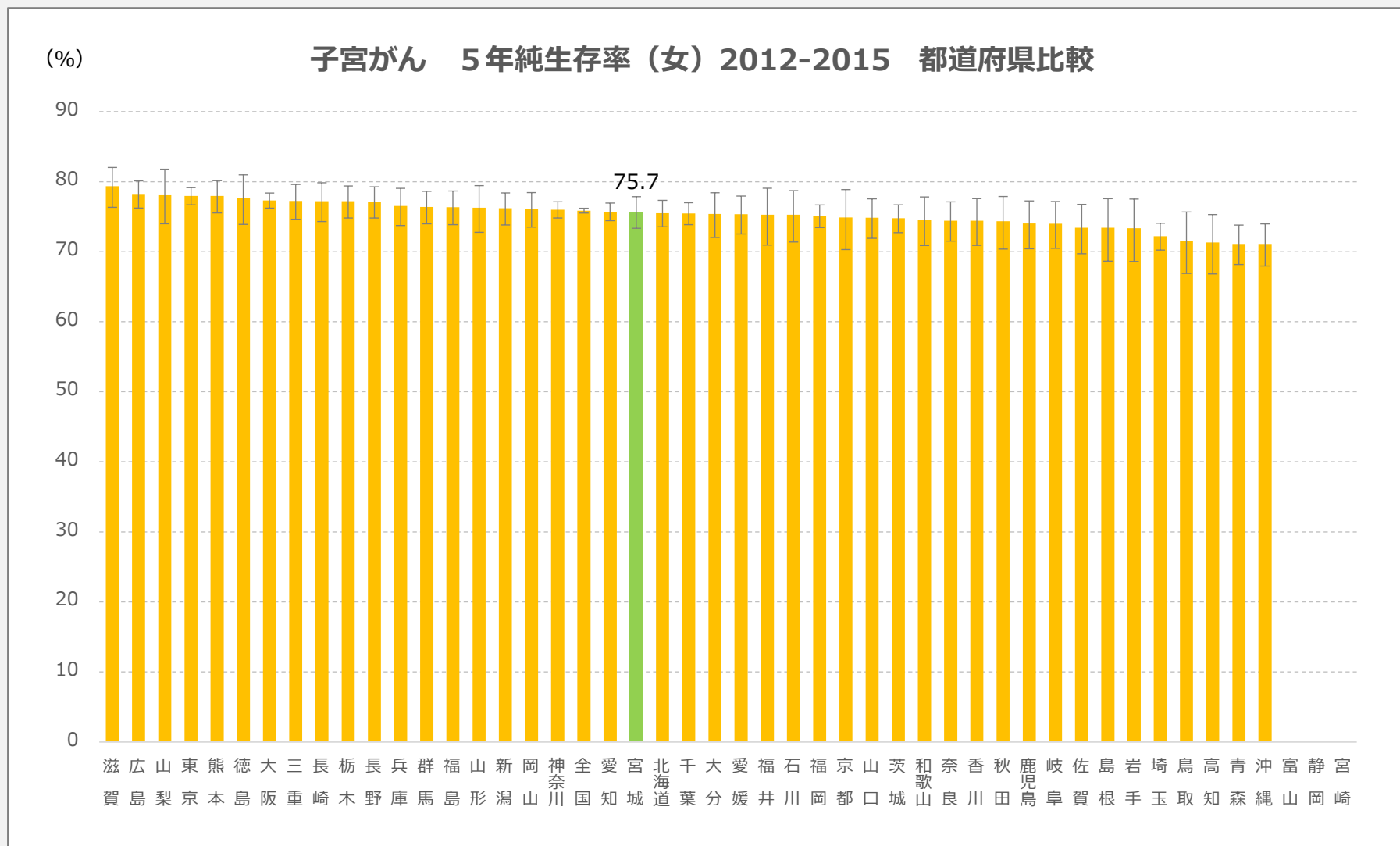
部位別 進展度（女性）

がんが発見されたときの進み具合（2021（R3），宮城県，女性）



(余 白)

子宮がん 5年純生存率 都道府県順位



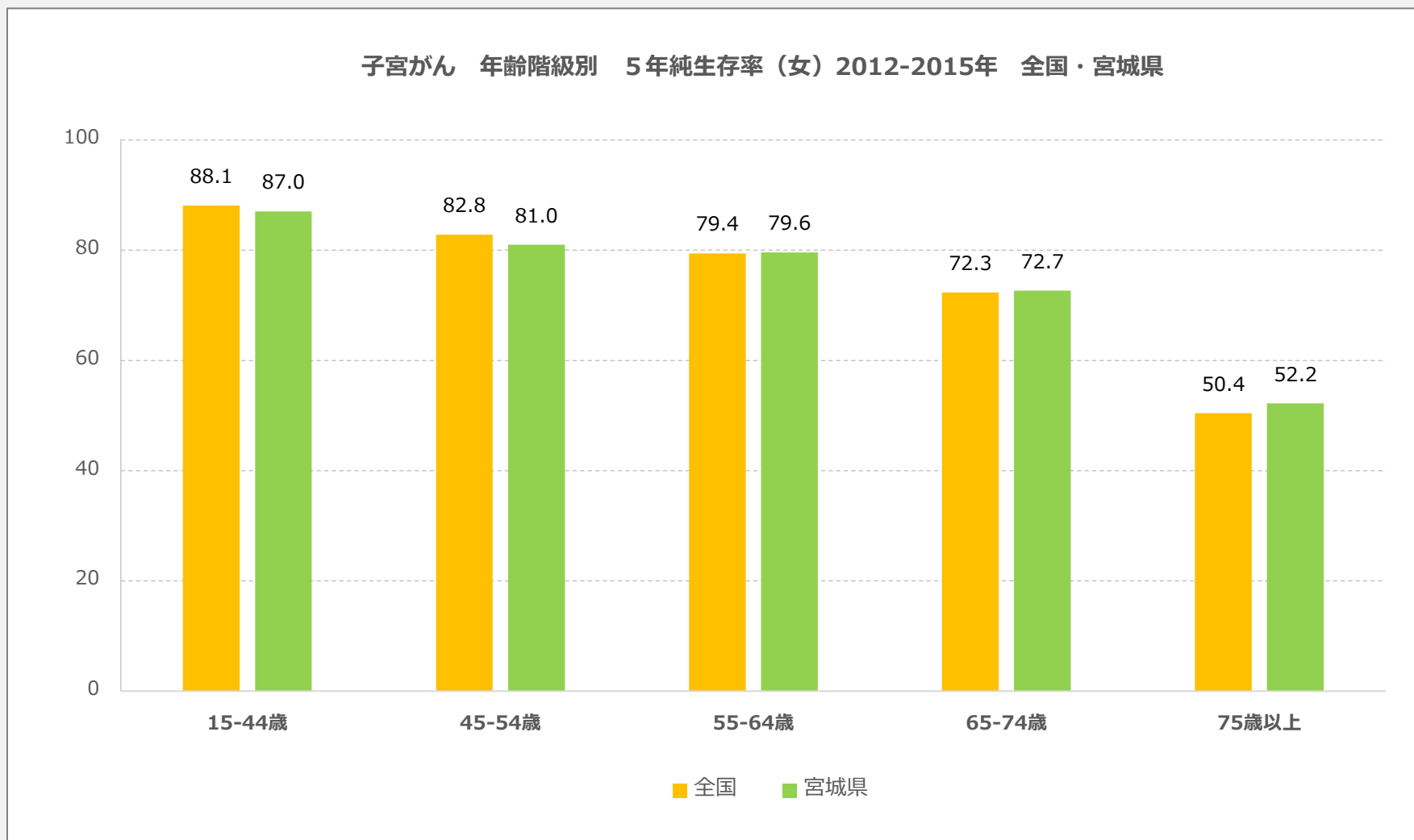
出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）

（富山・静岡・宮崎はデータなし）

表42. 年齢調整5年純生存率（%）：都道府県別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

参考：集計対象者数（女性） 全国：74,127、宮城県：1,690

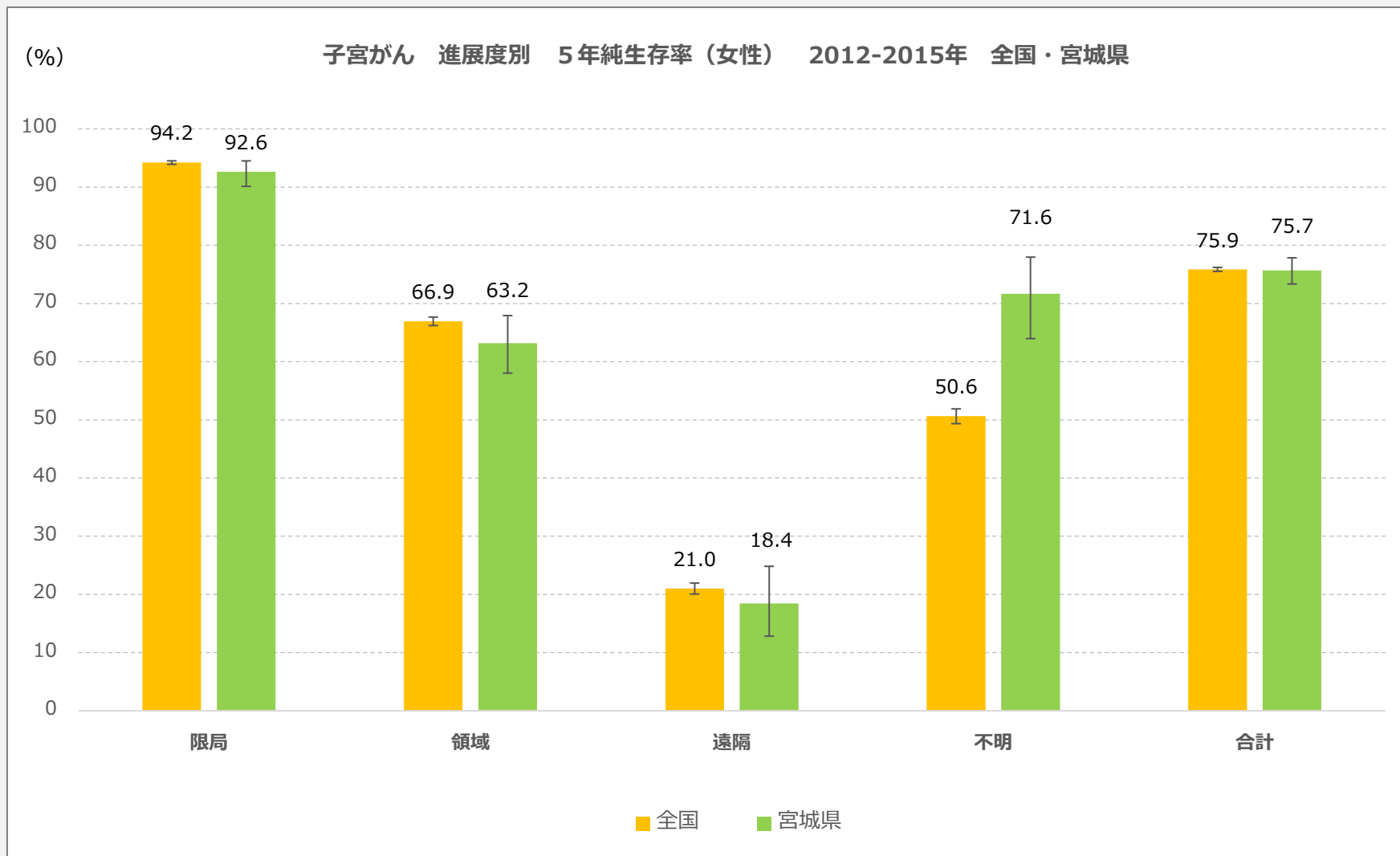
子宮がん 5年純生存率 年齢階級別（全国・宮城）



出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）

表14. 5年純生存率（%）：主要部位別、性別、年齢階級別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

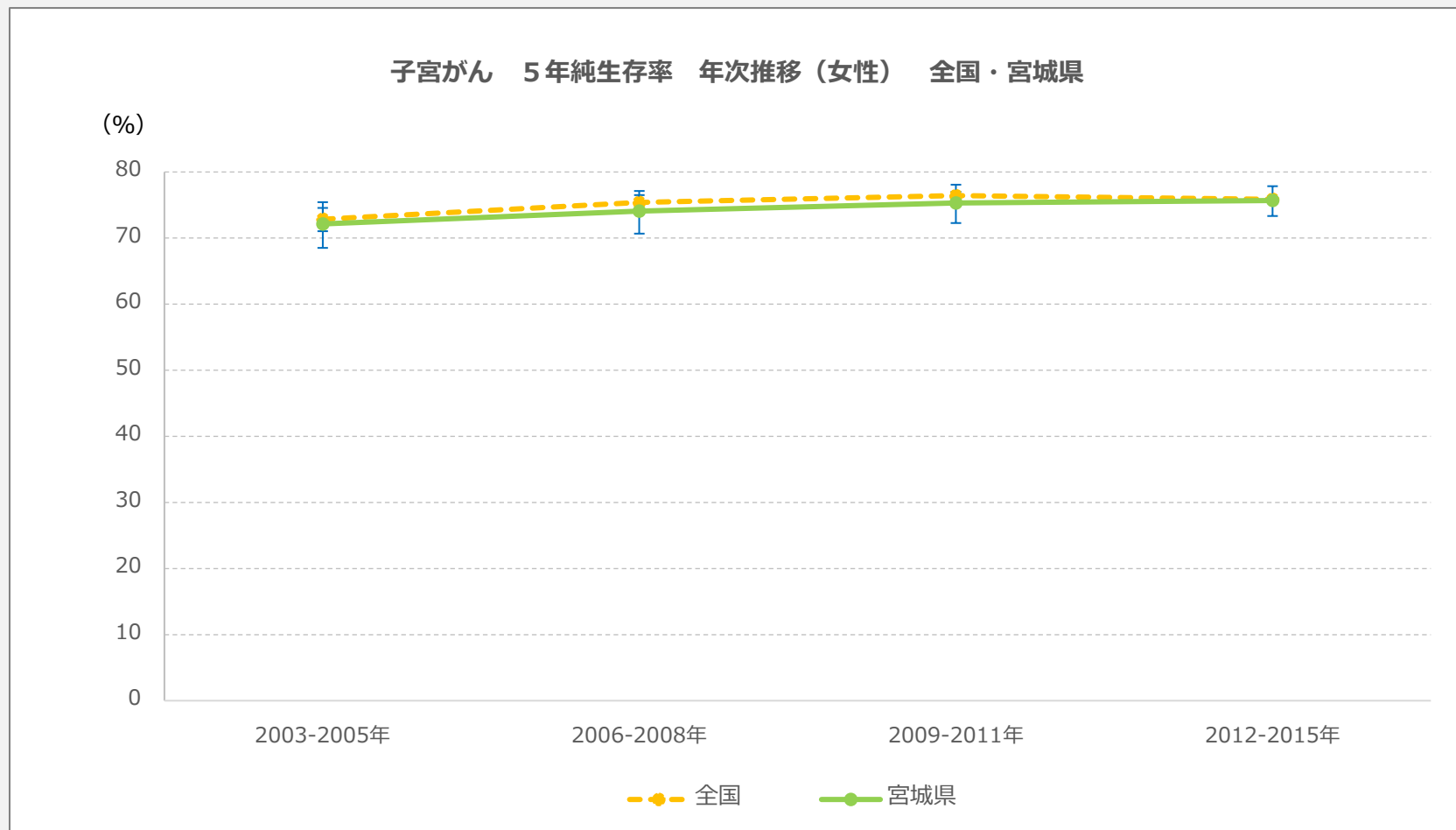
子宮がん 5年純生存率 進展度別（全国・宮城）



出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）

表13. 5年純生存率（%）：主要部位別、性別、進展度・総合別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

子宮がん 5年純生存率 年次推移（全国・宮城）



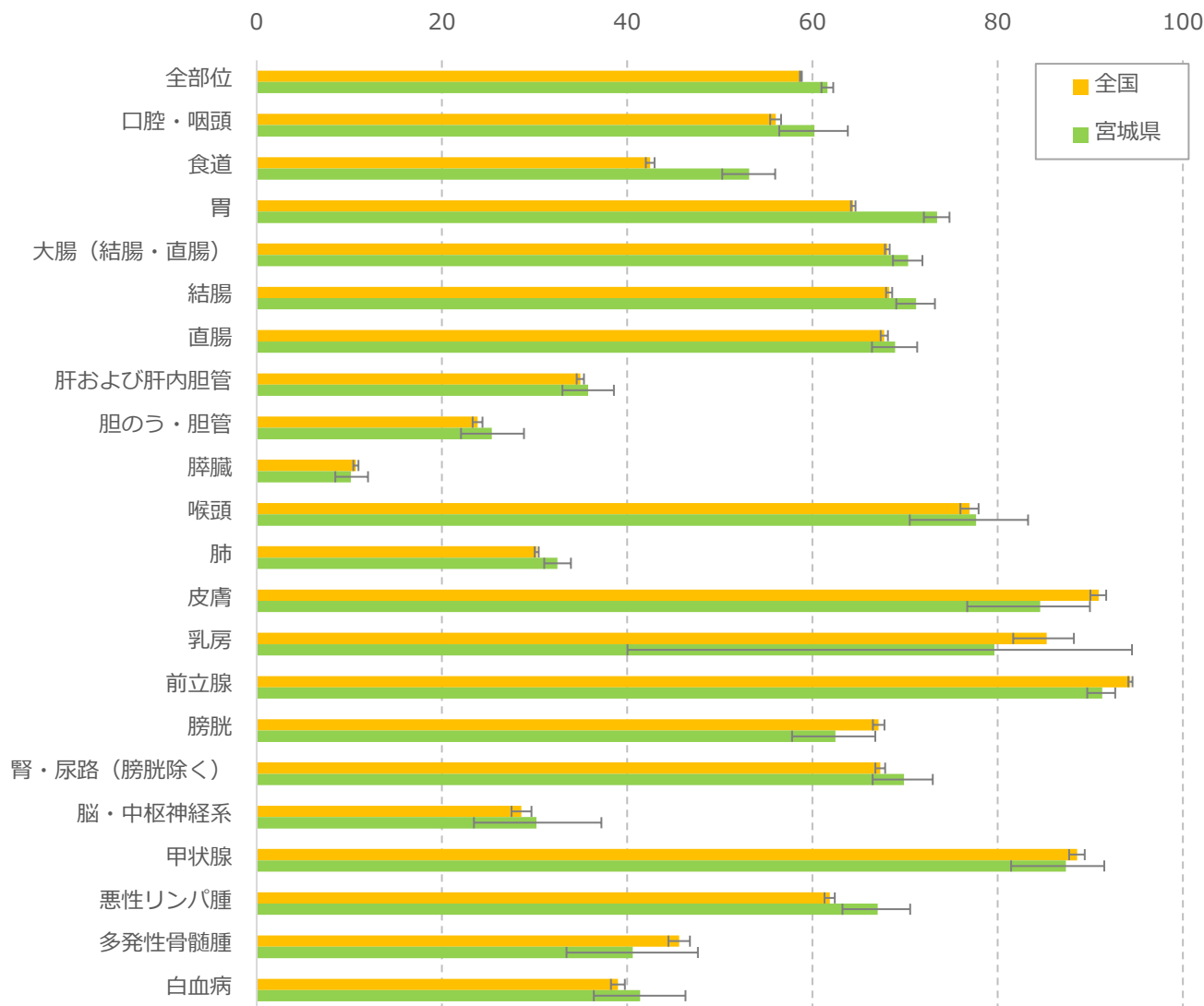
	2003-2005年	2006-2008年	2009-2011年	2012-2015年
全国	72.8	75.4	76.4	75.9
宮城県	72.1	74.1	75.3	75.7

出典：全国がん罹患モニタリング集計 生存率報告（国立がん研究センター）

表12. 5年純生存率（%）： 部位別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

各部位の5年純生存率 男性（全国・宮城）

各部位の5年生存率（男性）2012-2015 全国・宮城県



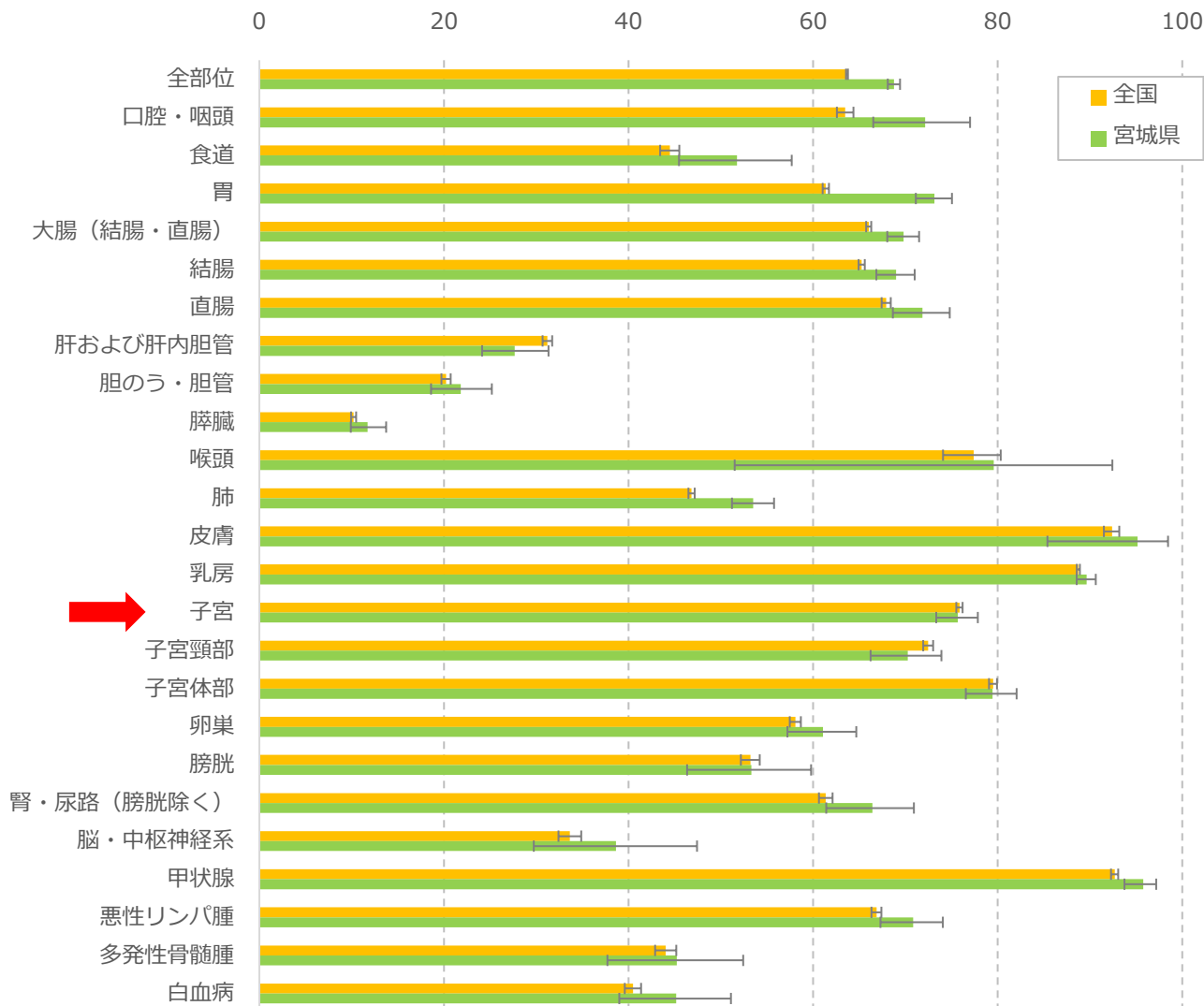
男性	全国	宮城	全国差
全部位	58.8	61.6	2.9
口腔・咽頭	56.0	60.2	4.2
食道	42.5	53.2	10.7
胃	64.4	73.4	9.0
大腸（結腸・直腸）	68.1	70.3	2.2
結腸	68.3	71.2	2.9
直腸	67.8	68.9	1.2
肝および肝内胆管	34.9	35.8	0.8
胆のう・胆管	23.8	25.4	1.6
膵臓	10.7	10.2	▲ 0.5
喉頭	77.0	77.7	0.7
肺	30.2	32.5	2.3
皮膚	90.9	84.6	▲ 6.3
乳房	85.3	79.7	▲ 5.6
前立腺	94.3	91.3	▲ 3.0
膀胱	67.2	62.5	▲ 4.7
腎・尿路（膀胱除く）	67.3	69.9	2.6
脳・中枢神経系	28.6	30.2	1.6
甲状腺	88.6	87.4	▲ 1.2
悪性リンパ腫	61.9	67.1	5.2
多発性骨髄腫	45.6	40.6	▲ 5.0
白血病	39.0	41.4	2.4

出典：全国がん罹患モニタリング集計 生存率報告（国立がん研究センター）

表12. 5年純生存率（%）：2012-2015 部位別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

各部位の5年純生存率 女性（全国・宮城）


各部位の5年生存率（女性）2012-2015 全国・宮城県



女性	全国	宮城	全国差
全部位	63.7	68.8	5.1
口腔・咽頭	63.5	72.2	8.7
食道	44.5	51.8	7.3
胃	61.4	73.1	11.8
大腸（結腸・直腸）	66.0	69.8	3.8
結腸	65.3	69.0	3.7
直腸	67.9	71.9	3.9
肝および肝内胆管	31.2	27.7	▲ 3.5
胆のう・胆管	20.2	21.8	1.6
膵臓	10.2	11.7	1.5
喉頭	77.4	79.6	2.2
肺	46.8	53.5	6.7
皮膚	92.4	95.2	2.8
乳房	88.7	89.6	0.9
子宮	75.9	75.7	▲ 0.2
子宮頸部	72.5	70.3	▲ 2.2
子宮体部	79.5	79.5	▲ 0.0
卵巣	58.1	61.1	3.0
膀胱	53.2	53.3	0.1
腎・尿路（膀胱除く）	61.4	66.4	5.0
脳・中枢神経系	33.6	38.6	5.0
甲状腺	92.7	95.8	3.1
悪性リンパ腫	66.9	70.8	4.0
多発性骨髄腫	44.0	45.2	1.2
白血病	40.5	45.2	4.7

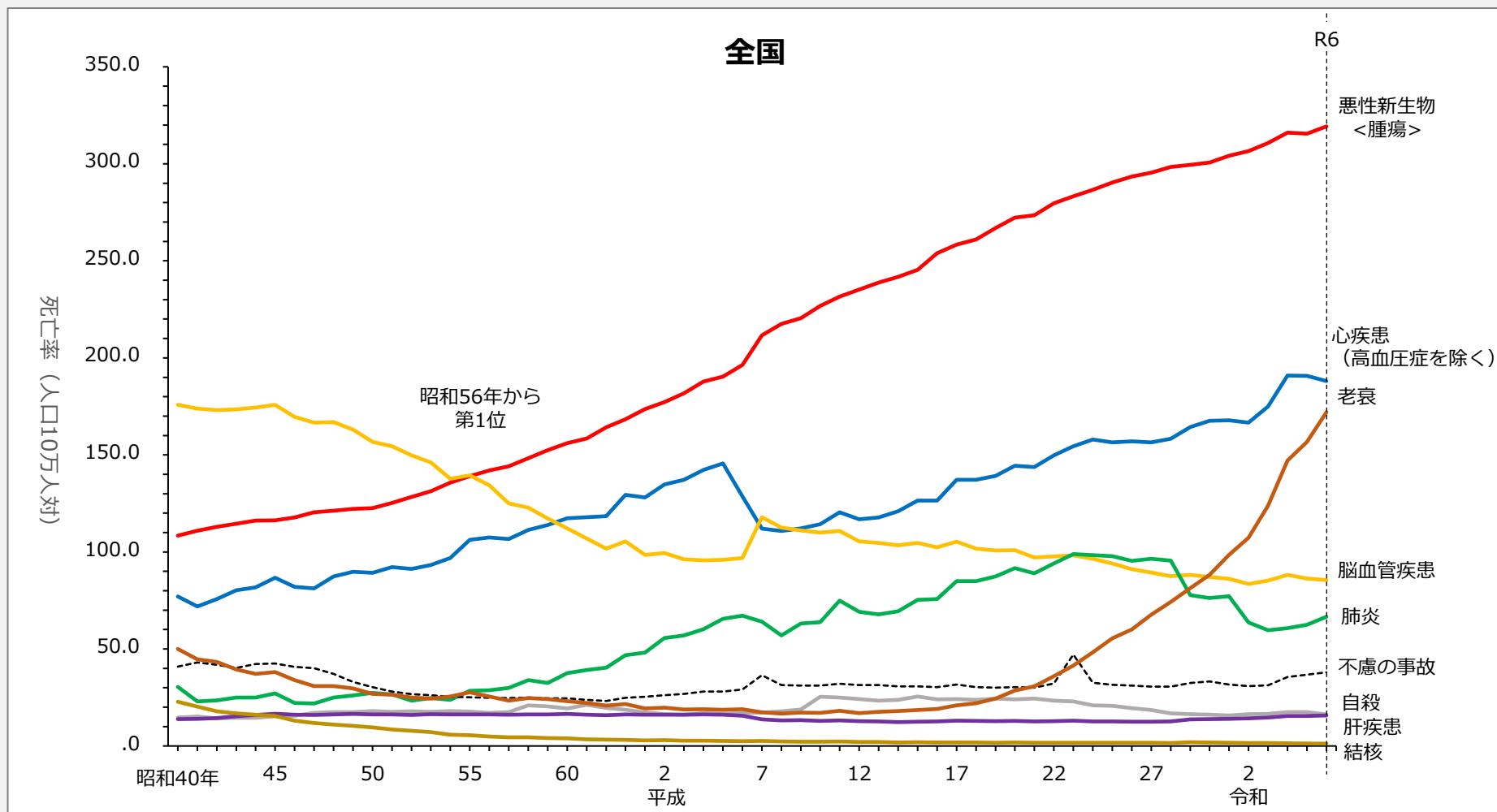
出典：全国がん罹患モニタリング集計 生存率報告（国立がん研究センター）

表12. 5年純生存率（%）：2012-2015 部位別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
-  4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

(余 白)

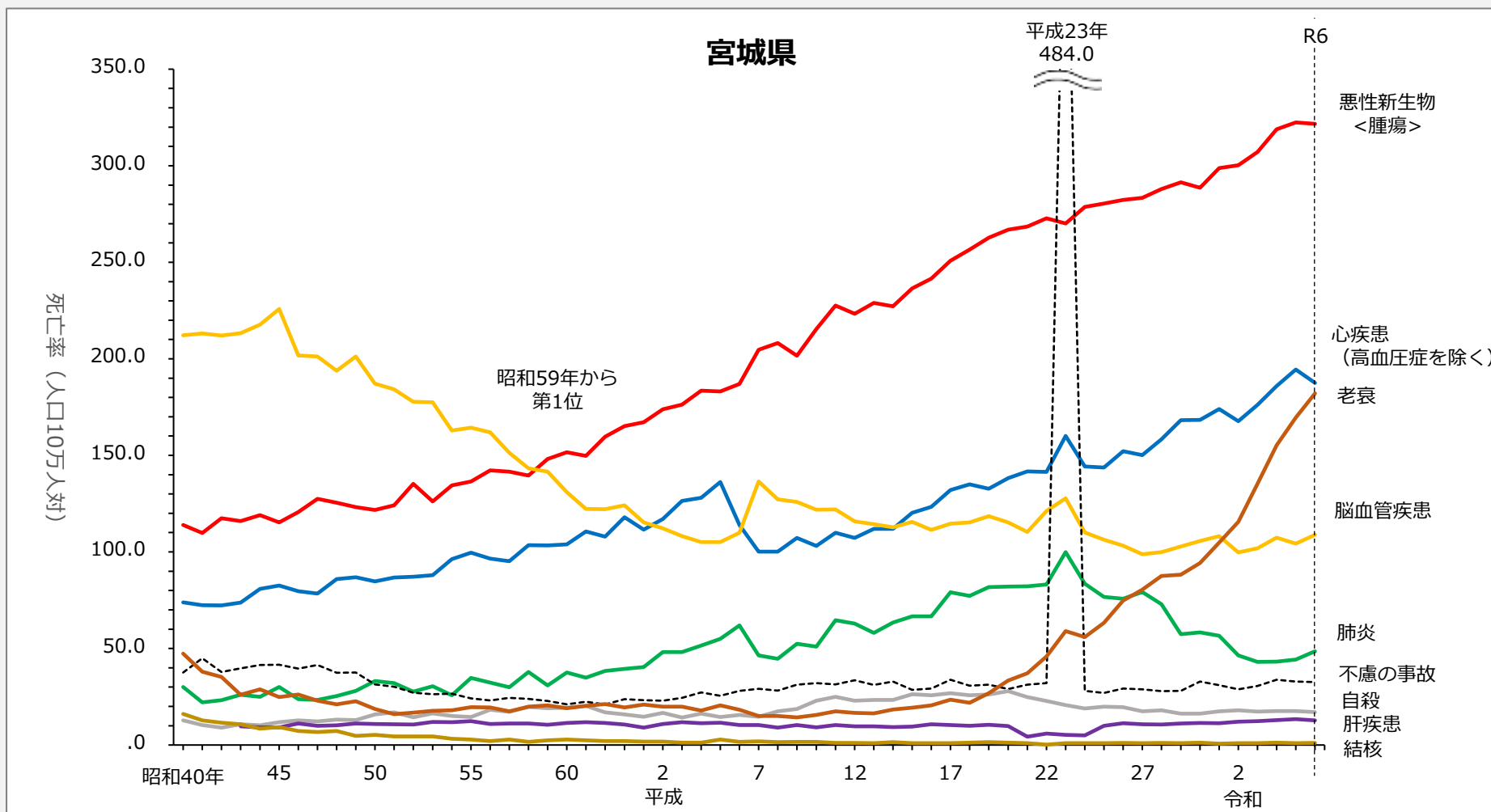
【全国】主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血圧症を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
2021 (R3)	310.7	174.9	123.8	85.2	59.6	31.2	16.5	14.7	1.5
2022 (R4)	316.1	190.9	147.1	88.1	60.7	35.6	17.4	15.5	1.4
2023 (R5)	315.6	190.7	156.7	86.3	62.5	36.7	17.4	15.4	1.3
2024 (R6)	319.3	188.1	172.0	85.5	66.6	38	16.3	15.7	1.2

出典：
厚生労働省
人口動態統計
(確定数)

【宮城】 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血圧症を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
2021 (R3)	307.1	176.2	135.3	101.9	43.1	30.6	17.3	12.3	0.9
2022 (R4)	318.9	185.9	155.3	107.4	43.2	33.8	17.6	12.9	1.2
2023 (R5)	322.4	194.5	169.6	104.2	44.2	32.9	17.6	13.4	0.9
2024 (R6)	321.7	187.5	182.1	108.9	48.6	32.6	17.1	12.8	1.1

出典：
厚生労働省
人口動態統計
(確定数)

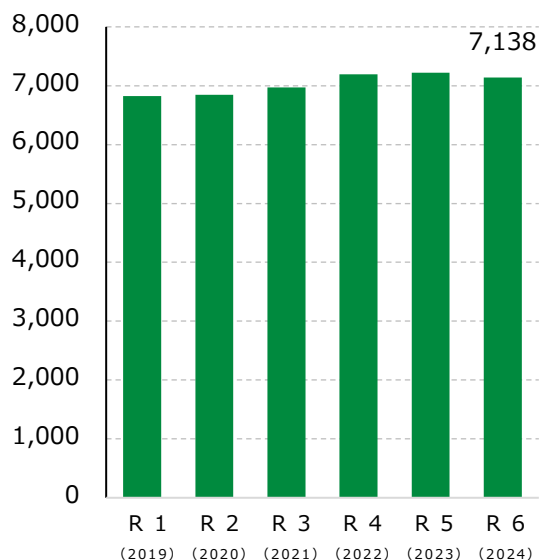
がん死亡数の年次推移 全部位（宮城県）

がん死亡数の推移（宮城県）

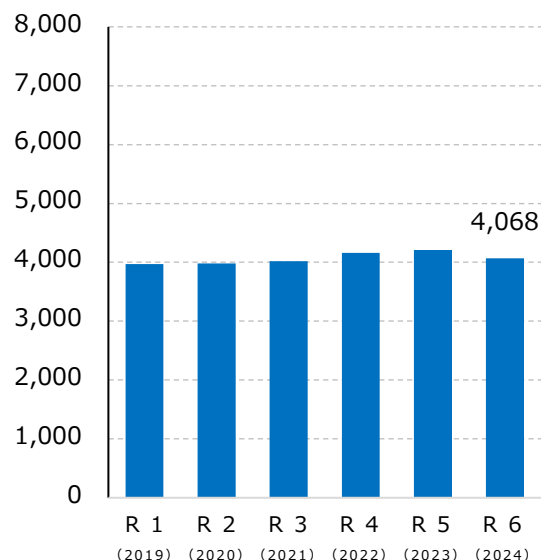
（参考）全国

宮城県	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2024（R6）
計	6,822	6,845	6,969	7,195	7,219	7,138	384,111
男	3,968	3,982	4,017	4,158	4,210	4,068	221,786
女	2,854	2,863	2,952	3,037	3,009	3,070	162,325

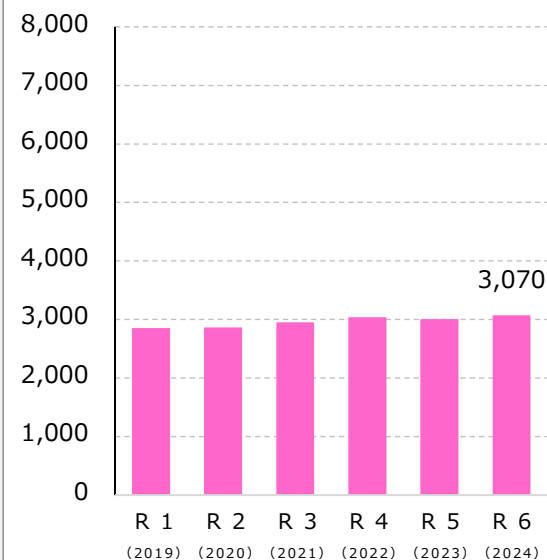
総数（男女計）



男性



女性



主な部位別のがん死亡数の年次推移（宮城県）

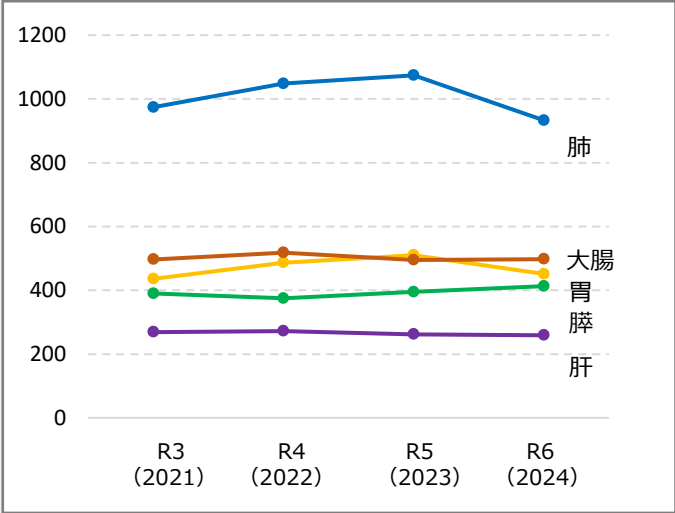
部位別がん死亡数の推移（男）

男	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
胃	436	487	510	451
肺	974	1048	1074	933
肝臓	269	272	262	259
膵臓	390	375	395	413
大腸	497	518	495	498

2024（R6）年
部位別がん死亡数の順位（男）

順位	宮城県	全国
1位	肺がん	肺がん
2位	大腸がん	大腸がん
3位	胃がん	胃がん
4位	膵臓がん	膵臓がん
5位	肝臓がん	肝臓がん

部位別がん死亡数の推移（男）



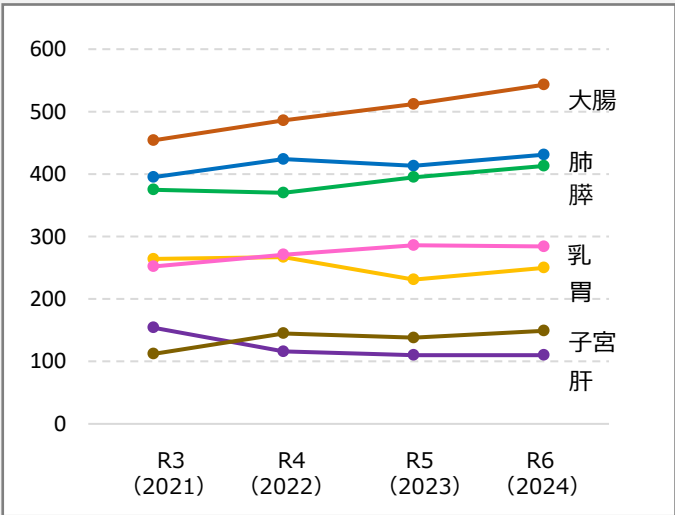
部位別がん死亡数の推移（女）

女	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
胃	264	267	231	250
肺	395	424	413	431
肝臓	154	116	110	110
膵臓	375	370	395	413
大腸	454	486	512	543
子宮	112	145	138	149
乳房	252	271	286	284

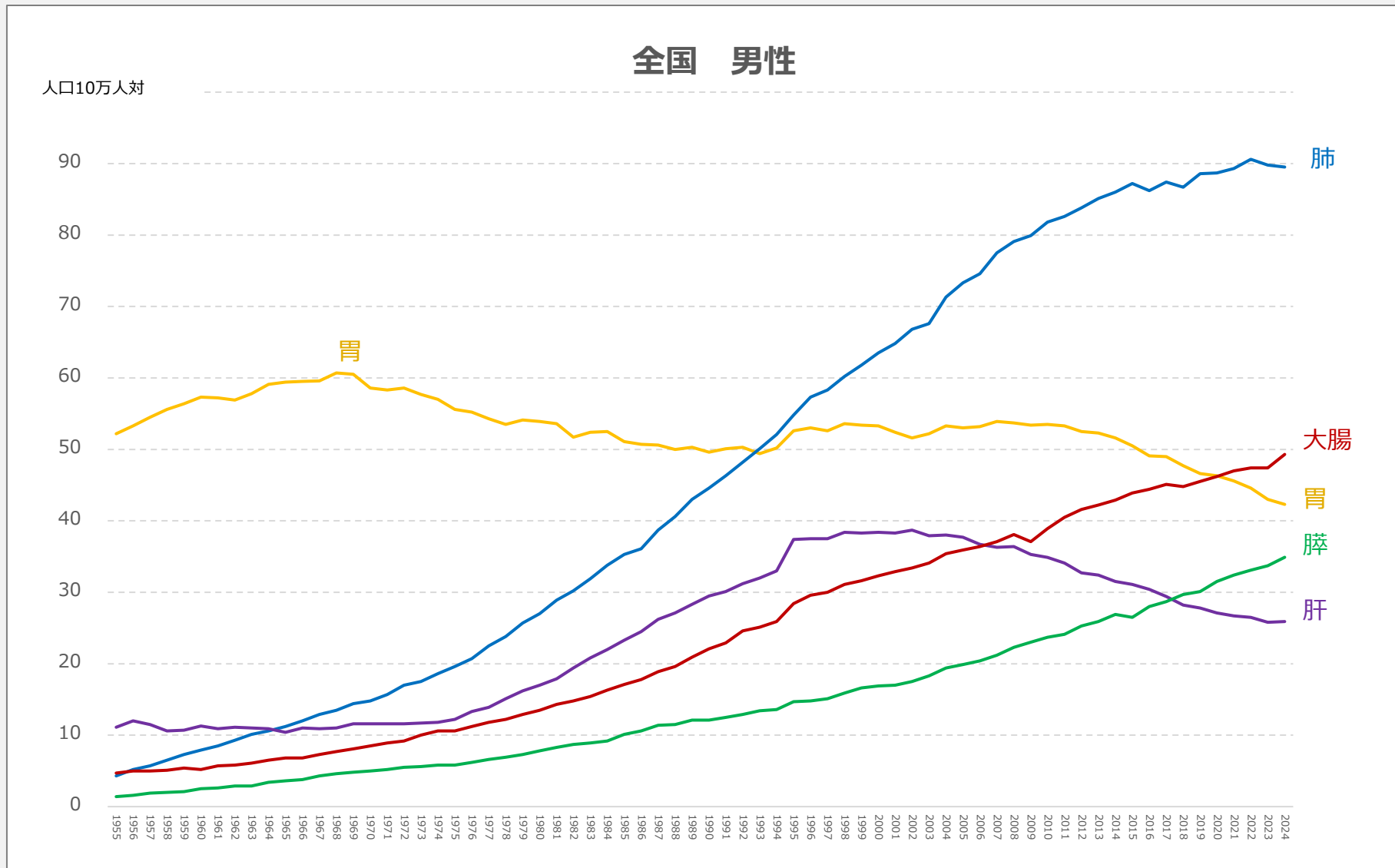
2024（R6）年
部位別がん死亡数の順位（女）

順位	宮城県	全国
1位	大腸がん	大腸がん
2位	肺がん	肺がん
3位	膵臓がん	膵臓がん
4位	乳がん	乳がん
5位	胃がん	胃がん

部位別がん死亡数の推移（女）

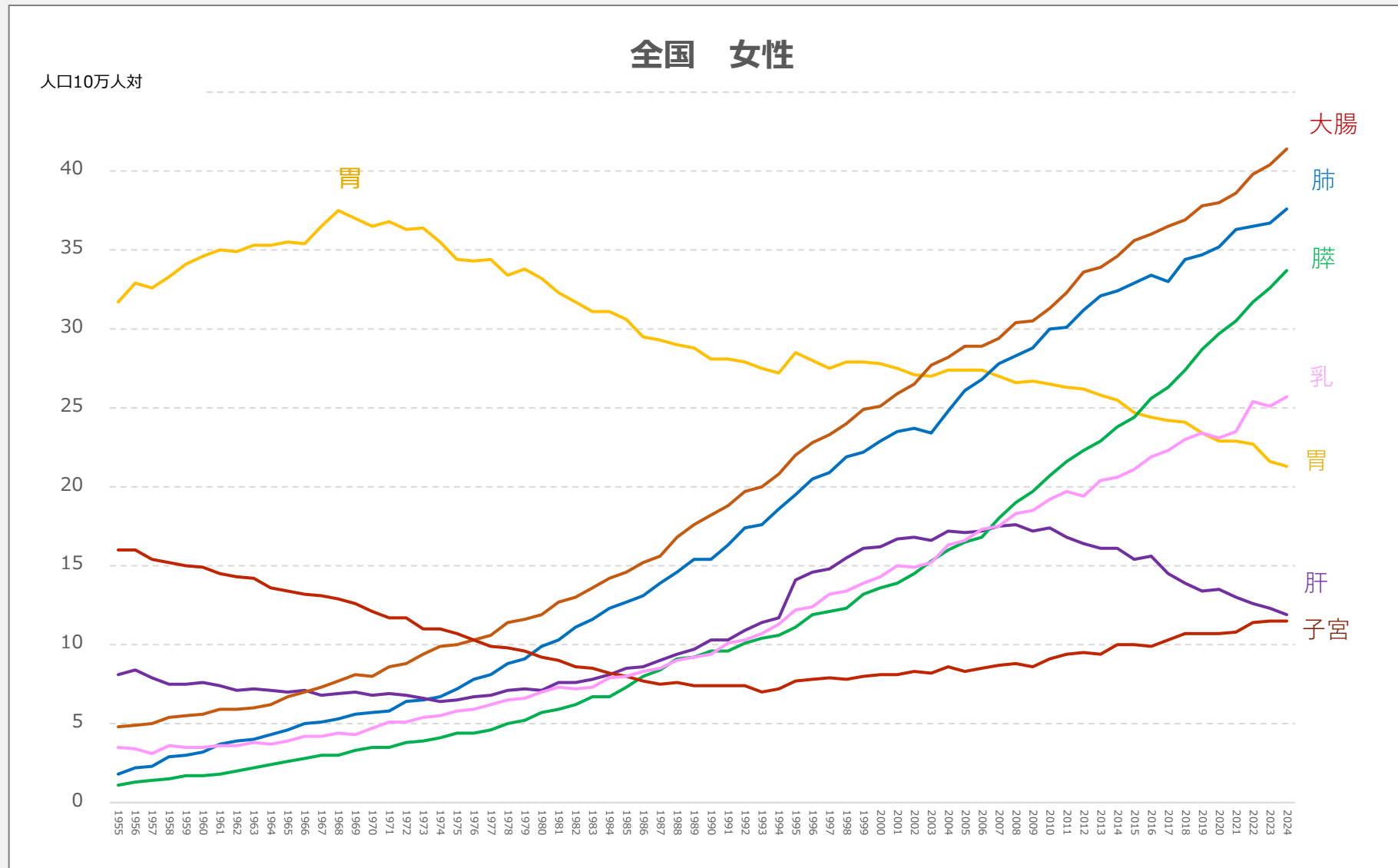


主な部位の死亡率の年次推移 男性（全国）



出典：厚生労働省 令和6年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況

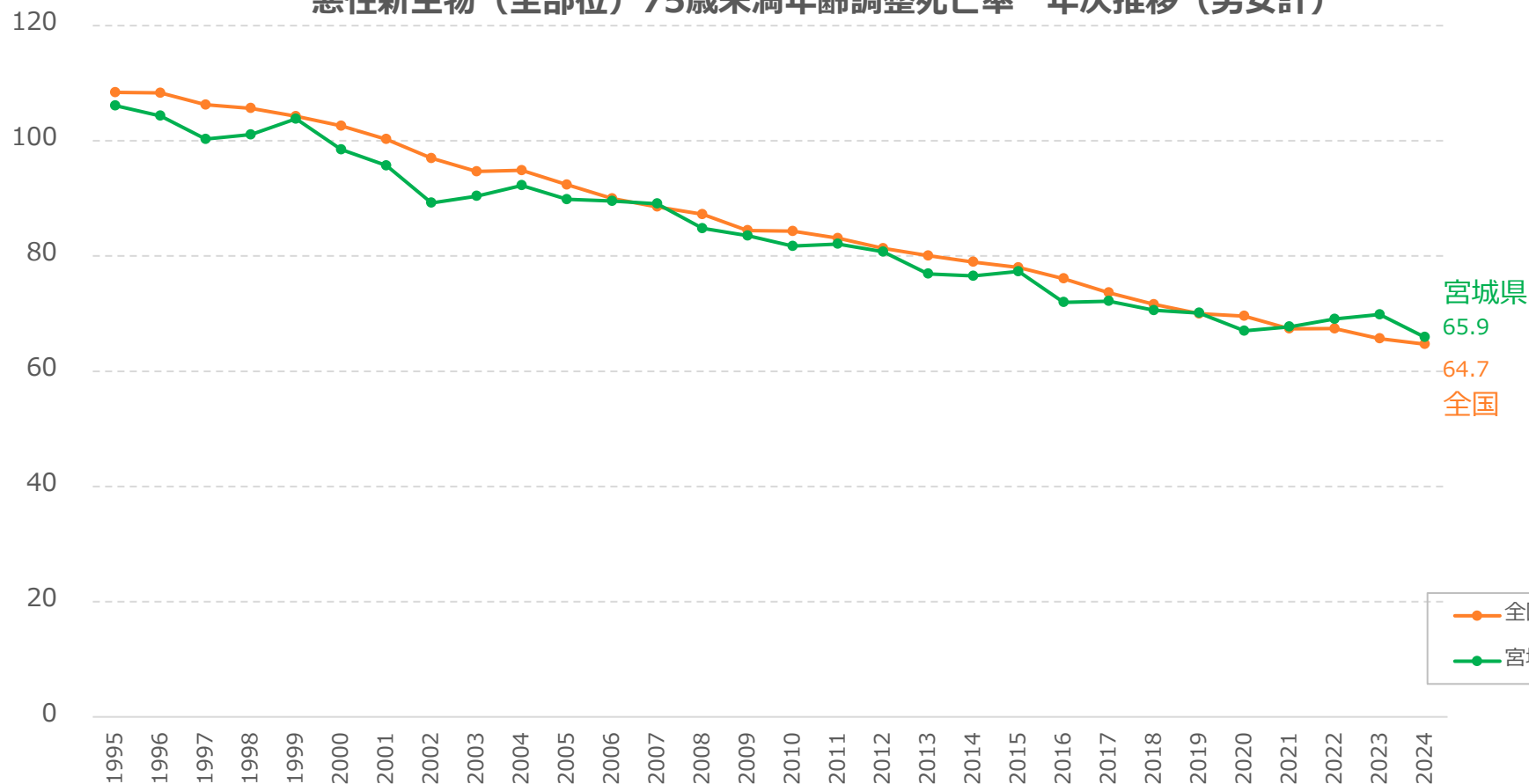
主な部位の死亡率の年次推移 女性（全国）



出典：厚生労働省 令和6年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況

全部位 年齢調整死亡率の推移（全国・宮城県）

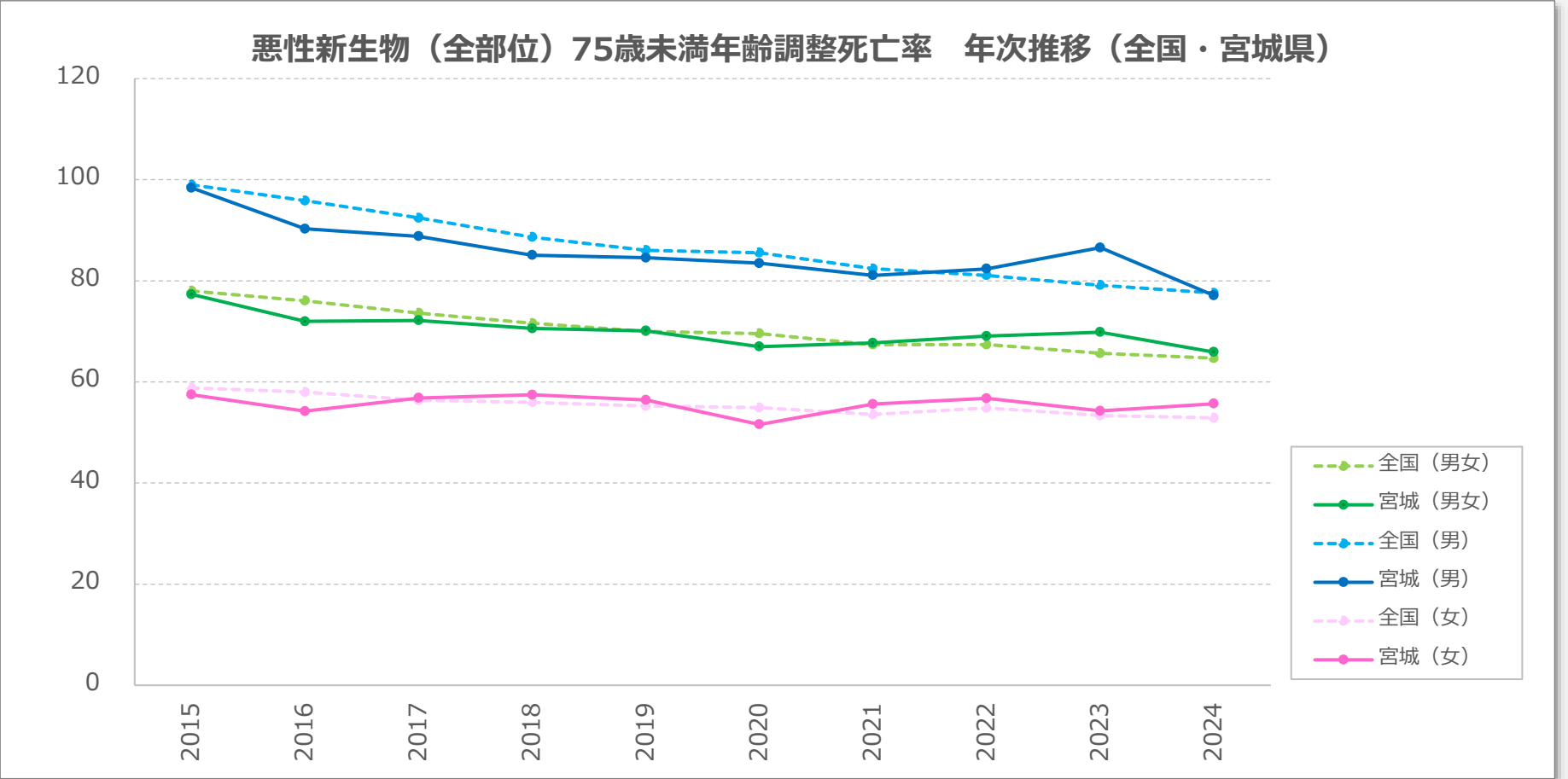
悪性新生物（全部位）75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（男女計）



男女計	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
全国	76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4	67.4	65.7	64.7
宮城県	72.0	72.2	70.6	70.1	67.0	67.7	69.1	69.8	65.9

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率から県でグラフ化
 （注）基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用

全部位 年齢調整死亡率の推移（男女別）（2016-2024年）

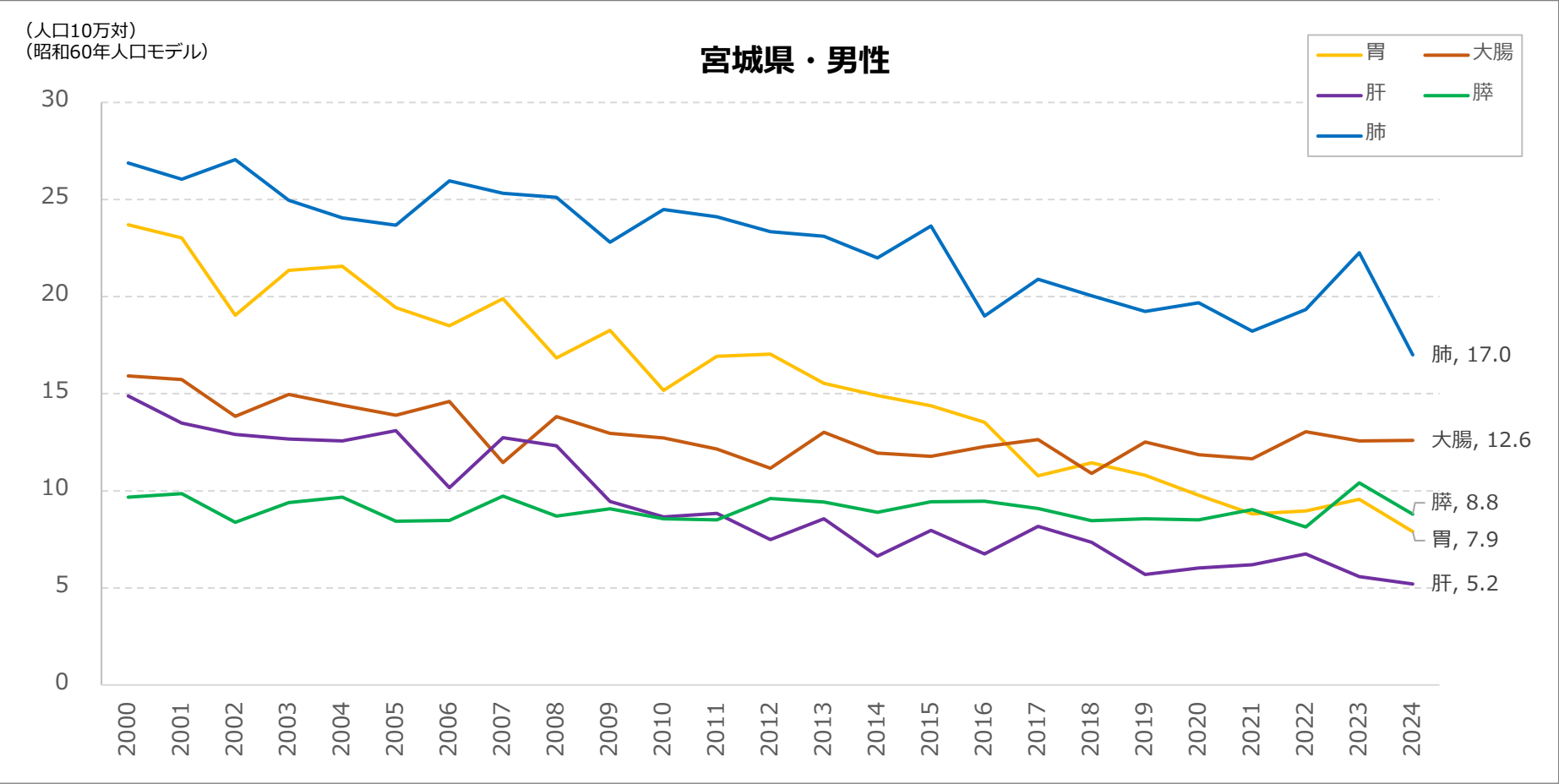


性別	都道府県	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
男女計	全国	76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4	67.4	65.7	64.7
	宮城県	72.0	72.2	70.6	70.1	67.0	67.7	69.1	69.8	65.9
男	全国	95.8	92.5	88.6	86.0	85.6	82.4	81.1	79.1	77.6
	宮城県	90.3	88.8	85.1	84.6	83.5	81.1	82.4	86.6	77.1
女	全国	58.0	56.4	56.0	55.2	54.9	53.6	54.9	53.3	52.9
	宮城県	54.2	56.8	57.4	56.4	51.6	55.6	56.8	54.3	55.7

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率から県でグラフ化
（注）基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用

主な部位の年齢調整死亡率
 部位別の推移
 男性（宮城県）

悪性新生物
 部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）
 年次推移（2000-2024，宮城県，男性）

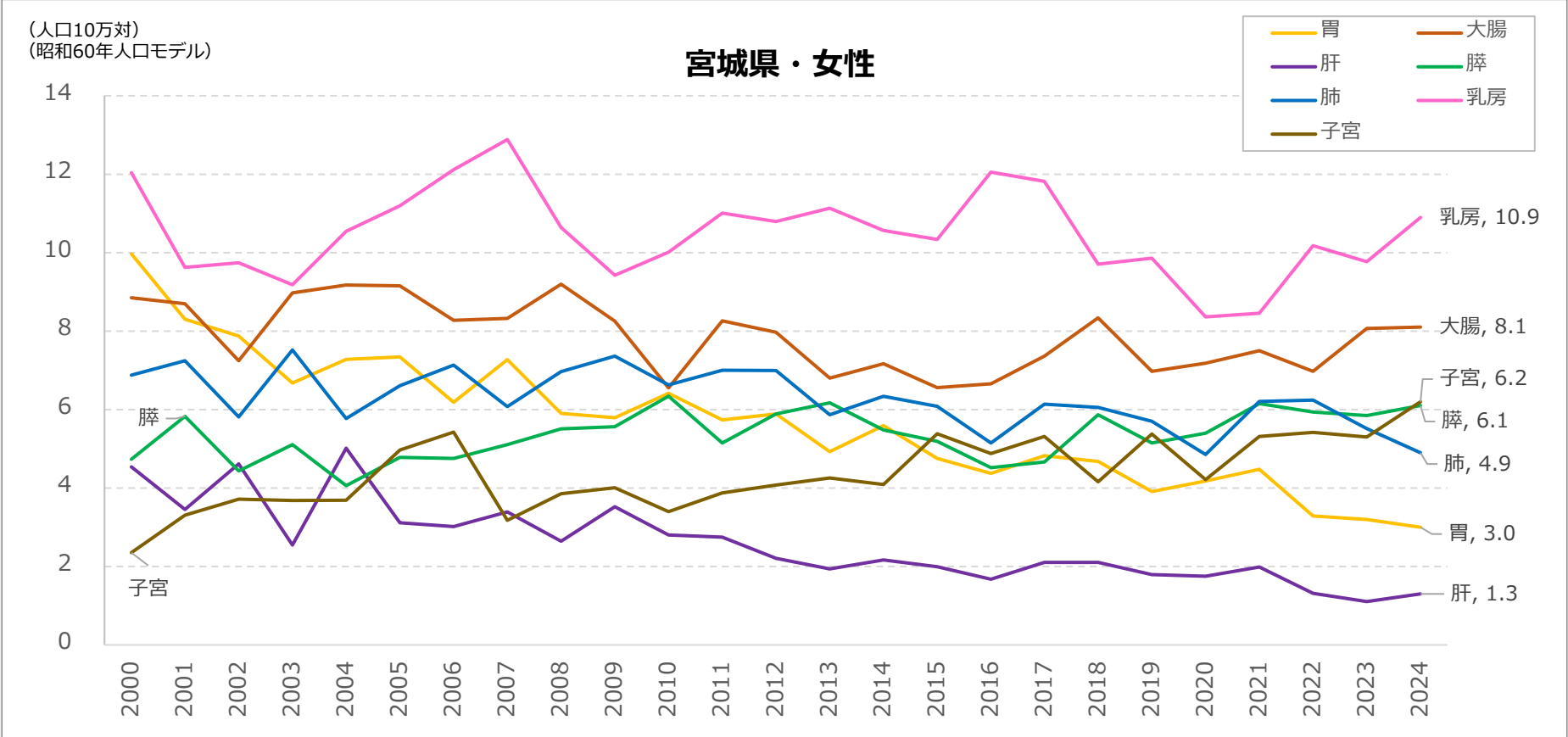


部位 (男性)	宮城県						全国
	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2024 (R6)
胃	10.8	9.8	8.8	9.0	9.6	7.8	7.9
大腸	12.5	11.9	11.6	13.0	12.6	12.8	12.6
肝	5.7	6.0	6.2	6.8	5.6	4.6	5.2
膵	8.6	8.5	9.0	8.1	10.4	8.7	8.8
肺	19.2	19.7	18.2	19.3	22.3	17.0	17.0

出典
 国立がん研究センターがん情報サービス
 「がん統計」(厚生労働省人口動態統計)
 都道府県別、年別、性別、悪性新生物部位別
 75歳未満年齢調整死亡率(人口10万人対)

主な部位の年齢調整死亡率
 部位別の推移
 女性（宮城県）

悪性新生物
 部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）
 年次推移（2000-2024，宮城県，女性）



部位 (男性)	宮城県						全国
	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2024 (R6)
胃	3.9	4.2	4.5	3.3	3.2	3.0	3.2
大腸	7.0	7.2	7.5	7.0	8.1	8.1	7.2
肝	1.8	1.8	2.0	1.3	1.1	1.3	1.3
膵	5.1	5.4	6.2	5.9	5.8	6.1	5.6
肺	5.7	4.9	6.2	6.2	5.5	4.9	5.3
乳房	9.9	8.4	8.5	10.2	9.8	10.9	10.0
子宮	5.4	4.2	5.3	5.4	5.3	6.2	4.9

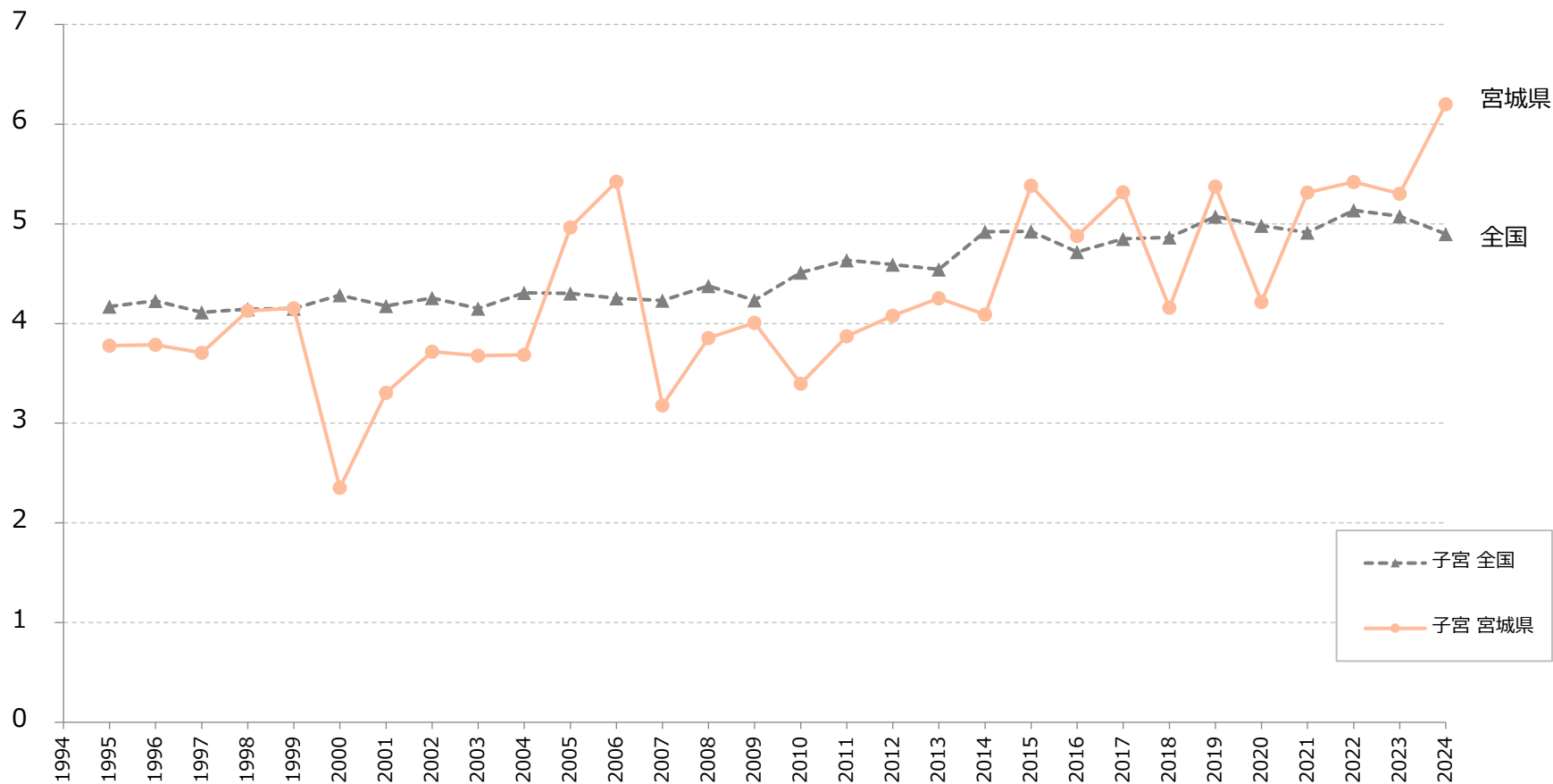
出典 国立がん研究センターがん情報サービス
 「がん統計」（厚生労働省人口動態統計）
 都道府県別、年別、性別、悪性新生物部位別
 75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）

子宮がん 年齢調整死亡率（女性 年次推移（全国・宮城県）

75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（1995-2023, 女性）

75歳未満年齢調整死亡率
(人口10万対)
(昭和60年人口モデル)

子宮がん 女性

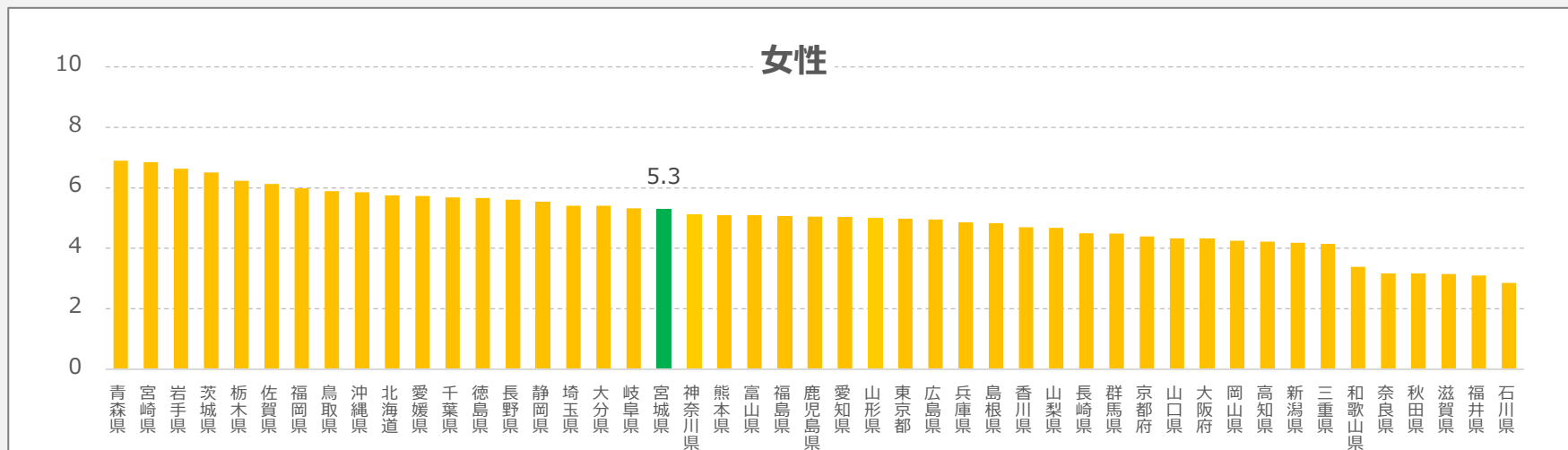


子宮頸がん 年齢調整死亡率（女性） 都道府県別

2023（R5）年（子宮頸がん75歳未満年齢調整死亡率，女）

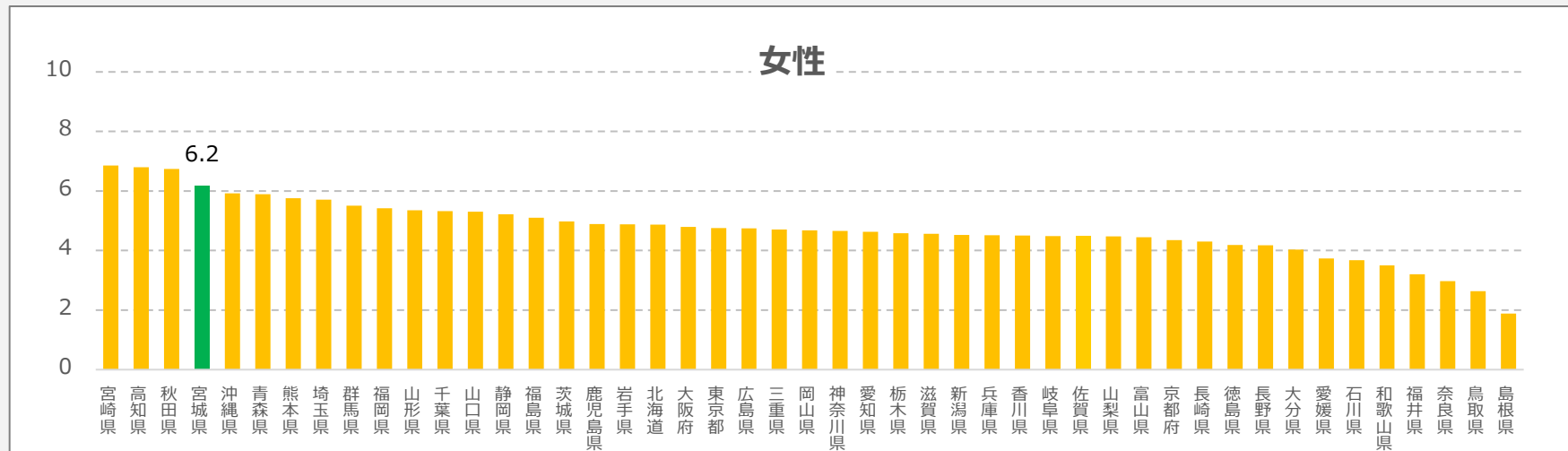
年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）

2023
(R5)



2024（R6）年（子宮頸がん75歳未満年齢調整死亡率，女）

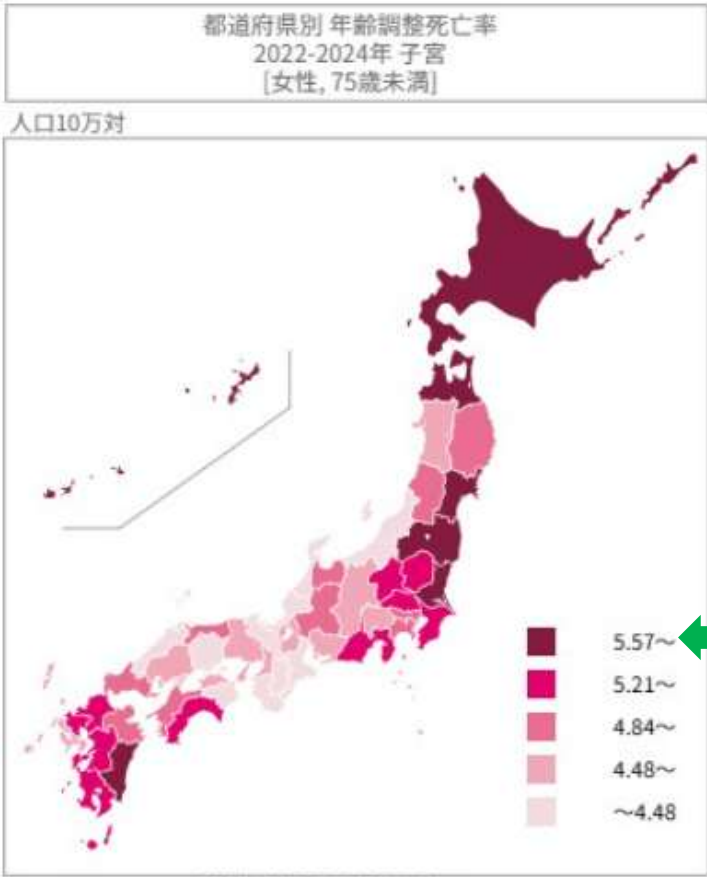
2024
(R6)



(参考) 子宮がん 死亡率 全国マップ

75歳未満年齢調整死亡率

3年平均 2022 (R4) -2024 (R6) 年

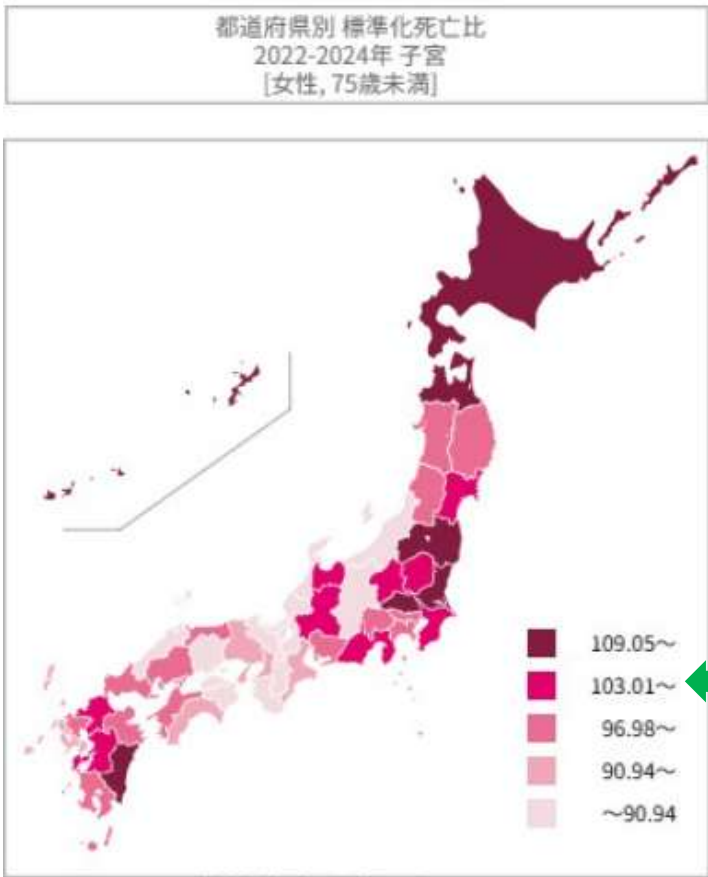


資料:国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

宮城県	年齢調整死亡率
女性	5.62

標準化死亡比

3年平均 2022 (R4) -2024 (R6) 年



資料:国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

宮城県	標準化死亡比
女性	108.31

出典 : 国立がん研究センターがん情報サービス
都道府県別75歳未満 標準化死亡比 全部位「グラフデータベース」

標準化死亡比 (standard mortality ratio (SMR)) とは
標準化死亡比が100より大きい都道府県は全国平均より死亡率が高く
100より小さい場合は全国平均より死亡率が低いことを意味する。

アウトカム指標のまとめ

(罹患数や死亡率への影響は、市町村が実施するがん検診によるものではないが)

- 罹患率は、横ばい傾向で、近年は、全国値よりやや低くなっている。
- 年齢調整死亡率は、ほぼ全国と同じ値で推移しているが、近年は、全国値よりやや高くなっている。



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見を申し上げます